

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-81)、
廃棄物管理施設(56)、MOX燃料加工施設(2-43))」

2. 日時：令和5年8月2日(火) 10時00分～12時00分
15時30分～18時25分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、小野安全審査官、武田安全審査官、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX設工認総括副責任者 他6名

九州電力株式会社

テクニカルソリューション統括本部 土木建築本部 副本部長

三菱重工業株式会社

原子力セグメント 安全高度化対策推進部 主幹プロジェクト統括

株式会社大林組 原子力本部 設計第一部 担当部長

東電設計株式会社 土木部 耐震技術部 担当職

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年7月27日、8月1日及び当日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・竜巻防護の設計に係る考え方の整理
- ・地震波干渉法による岩盤部分の減衰定数検討の進捗状況

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

○竜巻防護の設計に係る考え方の整理

- ・竜巻の影響を考慮する施設について、構造設計等を説明する上での分類を整理するとともに、竜巻防護設計の考え方、設計上の配慮事項等を整理し

て説明する。その際、MOX施設における設計思想との相違点等も整理した上で説明する。

○地震波干渉法による岩盤部分の減衰定数検討の進捗状況

- ・令和5年7月28日のヒアリングにおいて、地震波干渉法による減衰定数の検討状況を本日のヒアリングで説明することとしていたが、提示した資料には東側及び西側地盤の検討状況についての記載をせず、中央地盤についても結果の提示にとどまり検討の方針、方法等を具体的に説明する資料として不十分であると認識した。今後の資料作成にあたっては、結果を示す以前に、日本原燃としての方針、方法等を明確にする。
- ・検討にあたっては、技術的知見を有する関係者の意見も踏まえて方針を明確にし、担当者はしっかり認識した上で必要な内容を整理して検討を進める。
- ・令和5年7月31日に提出した資料についても説明が不足しており、検討の方針等を整理した上で今後のヒアリングで説明する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

「地震波干渉法による岩盤部分の減衰定数検討の進捗状況について」

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
 「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
 「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
 「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
 「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
 「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html
- ・ 令和5年7月27日
 「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和5年7月28日
 「日本原燃（株）の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設(2-79)、廃棄物管理施設(54)、MOX 燃料加工施設(2-41)）」
<https://www.nra.go.jp/data/000443447.pdf>
- ・ 令和5年7月31日
 「日本原燃（株）再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和5年8月1日
 「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

る資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	録音を開始しました。
0:00:07	規制庁横山です。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:12	本日のヒアリングは、令和4年12月26日に申請があった、再処理施設及び廃棄物管理施設、
0:00:20	令和5年2月28日に申請があったMOX燃料加工施設について、
0:00:25	8月1日提出の資料をもとにヒアリングを行うものになります。
0:00:30	規制庁側の出席者は、本庁からコサク、
0:00:34	タジリ、
0:00:35	オノ、
0:00:36	ヨコヤマ、
0:00:37	WEBからの出席がオオオカ。
0:00:40	フジワラタケダ以上となります。
0:00:44	それでは日本原燃から出席者の紹介をお願いします。
0:00:49	はい。日本原燃事務局中浜でございます。
0:00:52	日本原燃側の出席者を紹介いたします。
0:00:56	Steeringチームより、イシグロタカヤ、あとサポートメンバーといたしまして、タナカ、
0:01:04	MOX及び田井処理の事務局参加させていただいております。
0:01:08	以上でございます。
0:01:13	はい。規制庁横山です。それでは資料の確認済みますので、説明をお願いします。
0:01:20	はい。日本原燃の石黒です。
0:01:24	今回ですね資料を昨日にもちょっと提示させていただいてるんですけども、7月27と、昨日と2回に分けて資料を提示させていただいております。
0:01:35	昨日提示させていただいたものを、
0:01:38	はですね別紙123というふうにあるんですが、別紙1と2というものにつきましては、7月27に提出したテンプ宇都さんと、
0:01:48	いうものをリバイスした形のものになってございますので、説明の際には、
0:01:53	昨日の別紙1と2というものを用いる形にしたいというふうに考えております。

0:02:00	別紙 3 につきましては、昨日資料の別紙 3 につきましては、こちら、
0:02:07	ボックス数の再処理施設の竜巻防護風土のところについて、どのような違いがあるのかといったところを、
0:02:16	まとめさせていただいた形になります。
0:02:19	説明としましては、まず、
0:02:24	添付 1 ですね 124 ページものにかかるところから、えっとさ、説明したいと思うんですけどももうあっさりと、必要な箇所だけちょっと話したいというふうに思います。
0:02:36	で、
0:02:37	資料の方ですけども、8 月 1 日の方の資料を務めていただきたいんですけれども、
0:02:43	この 124 ページのものにつきましては、5 分類に分けて、基本設計方針を横軸に設備の構造について説明したものでございます。
0:02:56	この中で一つ説明するつもり全くなくてですね、先日ちょっと説明型ヒアリングでご指摘いただきましたように、バーの箇所、これが多数ある状況じゃなくて、
0:03:06	読みにくい資料になってるというのは認識しております。
0:03:09	この分類の A と 2 資料分けてですね、バーになっている業務については、あのような箇所については削除してですね、表ノムラを排除したと。
0:03:20	というような資料を作成し、することを考えておまして、
0:03:26	また別途、提出させていただきたいというふうに考えております。
0:03:30	こちらの 114 ページの資料につきましてはですね、まだまだ記載は充実させていけないといけないというふうに認識でございまして、
0:03:42	ちょっと簡単に申し上げますと、8 月 1 日の
0:03:47	補足の資料ですね、これ様の頭になってますけれども、今後の記載の充実等というところで、また条文からの要求を受けて、開口を設ける必要が生じた場合の、
0:03:58	考え方等ですね、等構造の要求を満足することを確認するために必要な評価内容についての記載といったようなところが、
0:04:08	まだまだちょっと記載が足りないかなというふうに思っておりますので、またちょっと充実した資料を提示して、させていただきたいと、いうふうに思っております。
0:04:19	資料 1 のに関してはちょっと補足としてはしましては以上となりますが、この時点で中身について、ご質問等ありましたら、委託できるかと思っておりますがいかがでしょうか。規制庁の田尻です。

0:04:32	中身というかまず何を仕事してるかっていうせ、その前にまず状況の確認なんですけど、最後に何か他条文との関係とか、内容充実っていう話をされたんですけど、
0:04:44	それは記載の話ですかねそれとも中身の検討をまだしてるから書けてないって話ですかね。
0:04:51	衛藤。
0:04:52	日本原子炉です。そういう意味では両方だというふうに思っております、今回ダビングの資料の説明させていただく、後からありますけれども、
0:05:03	そういった話を受けた上で、
0:05:06	記載の充実っていうのも当然ありますし、今の時点でも、その書けてないところがあるという認識ですので、
0:05:13	そういうそういう意味ではですね技術的な検討を詰めた上で、さらに率がいるという認識でございます。以上です。
0:05:21	規制庁の渡です。竜巻に関しては、共通 12 に行く前に、設計思想とかそういうものの大きな方向性確認しましょうねと言ってこの事前にやる形の事前というか、共通 12 の流れに乗る前にヒアリングをやってるんですけど。
0:05:37	そういったこと等を話せるものの検討は終わってるでいいんですよ。そうしないと何かこのヒアリングの位置付けがよくわかんなくなってきたらちょっと状況確認なんですけど。
0:05:47	はい。日本原燃の石黒です。
0:05:51	そうですね技術的な話について準備をしたものをお出ししているという認識ですので、はい
0:05:59	終わってるという、
0:06:02	個別論とかいろいろあるでしょうけれども、
0:06:05	現時点では、一通り終わっているという認識をしております。一部検討中って書いてあるものがあるんであるので、それ細かい目で見れば見ればですね、完全に終わってるってわけじゃないんですけども、
0:06:16	一旦議論できるレベルにあるのではないかというふうに考えております。以上です。
0:06:20	規制庁の 2 人です。多分今検討中と言われたのはパワーポとか図のところ、細かな部分を検討中って言われてるところだと思んですけど。
0:06:29	まず、頭の部分の方カラーの設計思想とかどういうふうに設計しようと S AFER の考え方っていうのが固まってるかの話なんですけど。

0:06:38	例えば今回 8 月 1 日付けの資料で補足という形で、一、二ページに書かれているものは、
0:06:46	これ設計思想ではなくて、基本設計方針のごく一部を抜粋して書いただけだと思ってるんですけど、
0:06:54	こちらが言っていた設計思想って何かっていうと、
0:06:57	最終的に言うと共通中に資料 3B3 のところで、図の前のところでこういうふうに作りますよっていうものを書く形になると思うんですけど。
0:07:08	あそこの、あそこに綺麗な言葉としてはそこに書けるレベルにないとしても、あそこに向けた設計の考え方が固まって、
0:07:15	いう状況だと思っていてその考え方を聞きたいっていうのがまず前提にあったんですけど、ここの理解はまず一緒でしたかね。
0:07:27	はい、日本原電、石黒です。すいません。
0:07:34	我々、
0:07:36	思っていたのはですね、
0:07:39	確かにおっしゃるようにこれ設計思想というか、基本設計方針について書かれている、上位概念を明示した上で、それぞれどういうふうに記載しているかといったところを、
0:07:50	書くのかなというふうに思っておりまして、
0:07:54	できました。ちょっとそういう意味では、
0:07:58	少しちょっと認識が、
0:07:59	合ってなかったのかなというふうに、はい。今考えているところです。そういう意味ではすいません。認識が違っていたということになります。
0:08:09	清町の二見です。認識の下別加えは戦没の方が悪く、良くなかったところもあると思うところなんですけど、
0:08:17	原燃は、この 1 ページを示して何につなげようとしてたんでしたっけ。
0:08:27	日本原燃石黒です。すいません、音声が悪くて、もう一度お願いします。ごめんなさい。規制庁の谷井です。8 月 1 日付の資料で、認識がずれてたのはすみませんこちらは僕の伝え方が良くなかったところがあつてすいませんなんですけど、
0:08:40	12 ページで、元としてこれを示すことで、何かの説明につなげたかったんだと思うんですけど、ここから何につなげようとしてたんでしたっけ。
0:08:51	日本原燃の椎野です。こちらこの資料は、共通 12 の資料 3 なり資料 2 なりのエッセンスとなるものなので、
0:09:04	ここの記載をしっかりと作り込むことが、共通 12 のところに繋がるものだというふうに考えてます。

0:09:12	それを作り込む上で、
0:09:18	どういったところに今、我々これできてるとはまだ思っていないので、どういった考え方で今作っていて、それが作ろうとしているところを含めてですけども、
0:09:31	一旦ですね、規制庁さんとの間認識の違いがないといったところを確認しながら作り込んでいく必要があるのかなというふうに思っております、その辺の認識を合わせるものとして、用意したというのが我々の意図でございました。
0:09:47	城戸医師成長の2人です。ちょっとじゃね僕の認識がずれてるかもしれないんですけど。
0:09:53	共通12で、資料123とあって、1は、要は設備のリストみたいな形になっていてその分類の話が書かれていてとか、になると本部の添付とかとの繋がりも出てきて、
0:10:05	三瓶構造設計とずっとの関係も、綺麗にできてきてっていう形のものになると思うんですけど、そちらの検討とかそちらの、
0:10:13	言葉の精査がいいよ言葉の精査置いとくとして、少なくとも資料1にあたりって、普通はこの資料2の端っこの方の構造設計どう書くかってとこ置いとくとしたら、
0:10:25	どうやってできてるもんだと思ってたんですけどそこまで何もやってないでしたっけ。
0:10:35	資料1と2につきましても
0:10:40	日本原燃のイングロですけども、資料一位につきましても、完成しているわけではなくて、
0:10:48	作業途上という認識でございます。すいません。規制庁コサクです。作業途上なのはそれは共通中にまだ出してないんだからそうですよねとは思うんですけど。
0:10:58	一方この議論わあ、その次共通中に持ってくっていうための作業であって、そうすると共通12でこういうふうにしたいからこういうふうな検討をしますって説明をするんじゃないんですか。
0:11:14	日本原燃の石黒でございます。小崎さんおっしゃっているところがまさにその通りで、
0:11:22	今回整理表に記載している中身というのは、共通12の資料の特に資料2と3の画面になってくるのかなとはちょっと思っていたんですけども、

0:11:33	そのエッセンスになるものだったので、その中身をですね、しっかり作り込むことがその共通受理に繋がるというふうな理解のもとで作業させていただいていたという、はい。そういう理解でございます。
0:11:46	はい。規制庁コサクです。資料 23 が中心だと思いますけどっていうのを根本的に間違ってる気がしてですね。
0:11:55	まずは、資料 1 で言うところの分類をちゃんとしましょうっていうのがスタートなわけですよ。そこまで、そこも含めてできてないと。
0:12:04	いう状況で、なので、その点をちゃんと、新居さんも含めて整理作業をしていく中で、
0:12:12	市にフィードバックをして分類がこれで大丈夫だということを説明してくれと。
0:12:19	いう話をしている、
0:12:21	その前段なので、あんまりその精緻に言う必要はないんですけど、
0:12:27	昨日提出の資料で言えば、2 歩通能添付 1 っていう書いてあることが、資料 1 に相当するんですね。
0:12:38	まずわあ、基本設計方針でこういう分類で話をしているので、で、なおかつ、その中での方針を踏まえるところは 5、
0:12:51	合体できそうなのでというようなことで話をされるのはもうこれはこれでいいと思うんですよ。ただ、これがその資料 1 の分類に繋がっていくんだという認識をちゃんと言っていたかということと、
0:13:03	その対応関係を資料 23 を踏まえて、整理中ですかっていうようなことで、説明をしていただくと。
0:13:14	いいのかなと思ってましたけど、まず、2 ポツの資料 1 関係っていうところでは認識よろしいですか。
0:13:23	はい。日本原燃の石黒です。はいまさにおっしゃる通りですいません、ちょっと資料の 124 ページの中身の
0:13:34	話にちょっと目が行き過ぎてですね、全学で分類が増えてるのが、資料 1 の作業に通ずるというのはこちらにも認識しておるので、認識の違いはございません。ありがとうございます。
0:13:46	以上です。はい。規制庁コサクです。
0:13:50	表現の違いだろうなと思っていたのでその認識をちゃんと持って表していただきたいなと思います。それた規制庁というだけじゃなくてですね。
0:14:02	エンジンチームの人たちが迷わず 2、ちゃんとゴールに向かって仕事をするという上でも、ちゃんと明示するっていうことは大事だと思うので、そういった意識をSteeringチームとしては、

0:14:14	持っていただきたいと思います。
0:14:16	2 ポツの関係でいうと、
0:14:19	す。今の資料 1 に、
0:14:23	向けてって関係からは、(1)で建屋と言ってる中に、建屋内に収納する施設も含むと言ってるのは何ぞやっていうことなんですよ。
0:14:36	で、おそらくこれは廃棄設計なり何なり、資料 3 で説明する際には、あわせて説明した方が合理的だと思うからこうしてるんですよ。
0:14:50	日本原燃の石黒です。おっしゃる通りです。木戸さんを意識して、
0:14:55	入ったというのが実態でございます。
0:14:57	はい。規制庁コサクです。なんだろうなと推測をしますけど、
0:15:03	それはちゃんと言っていたか等、伝わらないか、何だろう、先ほど言ったようにエンジンチームも含めてって意味だと伝わらないかなと。
0:15:12	思うのでよろしくお願いします。
0:15:16	で、資料 2 の方にいくと、3 ポツの方に入ってくると思うんですけど、
0:15:24	散歩通現況書いてある 3 ポツは先ほど田尻が言ったように基本設計方針でしかなくて、これは資料 2 の一番左の列でしかない。
0:15:35	資料 2 のポイントは左ではなくて右だと。
0:15:39	ということなので、何にも役に立っていないと。
0:15:42	ということです。
0:15:44	それが 4 ポツの方に行って、
0:15:50	1 通。うん。一つ目ポツじゃないか、全体か。
0:15:55	整理中なんですってということなんですけど。
0:15:59	整理中なんですというだけで、今日何をたいのかっていうのがさっぱりわからないんですよ。
0:16:05	で、
0:16:06	この後の図面関係も、
0:16:10	その表で、どういうことがポイントなのかという整理をするために、
0:16:15	具体イメージを持って話をするためについてるんであって、図を見たいわけじゃないんですよ。
0:16:22	とすると、この整理をしてない時点で、今日ヒアリング意味ないんですよ。
0:16:30	そこを何、何をしたかったんですかっていうので、タジリが聞いているんです。

0:16:36	なんでこれ表つくれなかったのか、まだ検討中なんですって言うんですけど検討してから来てくださいよってことになるんですけど、この時期にヒアリング設定こちらがしたのは、
0:16:48	完成してから聞くということじゃなくて、検討中でもいいから、どういう受検討状況であって、何が悩み事項なのかとかっていうことを聞かないとこちらと、
0:17:01	合っていないことを時間費やしてもしょうがないのでっていうことで漸移で早めにヒアリング設定をしているんですね。
0:17:09	そちらがそれを説明する気がないっていうんだったらヒアリングおくらせますけど、どうします。
0:17:19	日本原燃の石黒です。
0:17:22	はい。ヒアリングは、おくらせる必要おくらせないように、キャッチアップさしていきたいと思います。
0:17:33	ただちょっと今回ですね今回これ以外にも、別紙、日当、
0:17:39	1と2という形で、AWSの話を持ってきてはいるので、その辺の議論はさせていただきたいなというふうに考えております。
0:17:48	どうぞ。
0:17:49	規制庁コサクです。ラビリンスの話はっていうためにも、
0:17:54	表でラビリンスって何ですか。
0:17:57	開口部って何ですか。
0:17:59	何の意図があってあげなきゃいけないところをどうしますかっていう、いう話をしなきゃいけないから、表でサッとまとめて、議論のポイントを明確にしながら話をしましょうねってお話してたんですけど。
0:18:16	日本原燃の石黒です。
0:18:20	足困りました。そのところはすいませんちょっと私の認識不足でして、
0:18:28	別紙、今日の紙、昨日出した資料の、別紙1のところ、ラビリンスコードの基本的な考え方といったところで、文字にしたことですね、この具体の話をするつもりをしていたので、
0:18:40	さらにちょっと導入からの整理をもって説明させていただく必要があるというふうにちょっと認識を改めましたので、
0:18:50	ミヤマにそこは、
0:18:51	用意させていただきたいなというふうに思います。
0:18:55	はい。失礼いたしました。
0:18:58	規制庁のタジリです。用意していただく用意していただくでいいんですけど、ちょっと少し会話をしていかないと何かまた同じような

0:19:07	ミラウ気がするので少し話をしていければと思うんですけど。
0:19:11	ちょっと、本来は建屋のさっきの(1)のところからやっていこうかと思ったんですけど、今とりあえずそこというよりは元の中では対策設備ところだけ焦点当てながらってことっぽいので、そこをまずベースに話をしてみたいと思うんですけど。
0:19:25	まず、対策設備の基本的な考え方からまず始まると思っていて、
0:19:30	基本屋外のものメインだと思うんですけど、僕の場合の防護対象を基本全部覆いますよってというのが対策設備の考え方でいいんですかねまず基本的な。
0:19:42	日本原燃の仕事ですよ、基本的な考え方という意味では。おっしゃる通りです。はい。規制庁渡です。全部大井たいんだけど、それができないところがきつとを生じるし、
0:19:52	ていうことだと思っていて、それが開口だっていう話なんだと思うんですけど、その開口ってのは何で生じるのっていうところはなんか、後の詰めとか見ると、抽出してきてると思うので、
0:20:04	そこに考え方がもうあるのかなと思ってんですけど、その開口ってというのはどういう時に生じるかっていうのは整理済みですか。
0:20:15	はい。日本原燃の石黒です。
0:20:19	開口ができています。
0:20:21	陸斗については、この成立日ではあります。
0:20:24	ただしですねちょっとえっと、
0:20:27	お断りしておく必要あるのかなと思うのは、昨日の資料の別紙3で言っているようなところの開口部ってというのは、
0:20:37	施工上開け、
0:20:38	施工した結果として、開いてて、それについては、
0:20:46	理由が明確なものでないものもあったので、適切に埋めさせていただくというものになっておりますので、
0:20:55	今空いてるものについて、いずれもすべての理由があるというものでなかったというところはちょっと、一言ちょっと申し上げたいなというふうに思っております。以上です。これまでできてなかったやつを1回置いときましょうか。
0:21:07	前面として、それだとちゃんと設計の基本設計方針とか許可とも整合しなくて説明できないから、どういう設計にするっていうのを整理して、こういうところを埋めますよとかってちょっと埋める形が格好になる動向がその先としてはいるんですけど。

0:21:22	なんで、今の原燃として、開口これは第3はどうかを別として、詳細設計を示す上での開口っていうのがどういうところに生じるかって言ったら、もう特定できてるでいいんですよ、考え方も。
0:21:35	読んでない仕事です。はい。おっしゃる通り、決定できてるという認識です。であればまずそこを言って欲しくて、
0:21:44	今まで話してきたその耐震のためとかどこでもいろいろあると思うんですね。なんでまずその開口の登場人物ってどういうやつがいますっていうのを、別に4ページところでいい形ってのがよくわかんないのでこれ言っちゃってるんですけど。
0:21:58	4ページのやつを使い8月1日資料の4ページの、何か表みたいなのやつを使うとかでもいいんですけどそこをまず言っていた方がいいですか。
0:22:08	はい。日本原燃の石黒です。
0:22:11	はい。4ページのの記載に整理させていただいてる通りですね、
0:22:19	大きくは三つの理由だというふうに考えておまして、一つは、上にも書いてますここに書いてますように、メンテナンス、人員解雇人がアクセスするための対抗。
0:22:33	それと、上からやってるところでいくつか書いてますけれども、そのうち一部は、建屋とかドアの
0:22:41	相対変位ですね、クリアランスを設けておく必要があるという部分。それと、下の方にいつ幾つかフード部っていうふうに書いてありますが、
0:22:51	空気のアノは吸排気ですね、ために開けておく部分といったような、三つのジャンルがあるという認識でございます。以上です。
0:23:02	はい。規制庁田井です。荒田常務の要求にっていうふうにかかれてるところは、地震地盤の条文の絡みで相対変位の話があって、安全機能を有する施設の条文の保守点検の話のメンテナンスとかの話があって、あとは空気とかの話はちょっと閉じ込めとかがメインな気がするんですけど閉じ込め機能とかとの関係
0:23:20	で開けなければいけないものっていうので、結局他条文との関係で、他の設計要求を満たすために必要な対抗だけ書きますよっていうのはまずいですね。
0:23:32	4県の石黒です。おっしゃる通りです。
0:23:35	はい。規制庁鳥居です。その開口って言ったときなんですけど、開口って言うのもいっぱいあると思っていて、本当にミツイみたいな開口だったら言うかもしれないんですけど、開口をどこまで、要はどこまで異常おつき

	くない開口にっていうのがまず概念としてあるような気がするんですけどそこで整理されてますか。
0:23:55	丹日本イングリです。単純な開口という意味では、設計飛来物がそのまま侵入するような開口にはなっていないことということで、
0:24:13	具体的には、
0:24:14	40名以上の隙間は設けないと。
0:24:19	というような設計という認識でございます。
0:24:22	すいません規制庁コサクです。話がかみ合っていないようなので、ちょっと
0:24:28	ここまでの流れの中で私も確認したかったところを抑えつつなんですが、
0:24:33	4ページだと真ん中のところ投信貫通部。
0:24:38	鉄塔貫通部とか、
0:24:41	あとブロック間とかって書いてますけど、
0:24:43	これも相対変位ですか。
0:24:47	日本原燃石黒です。こちら相対変位になります。
0:24:51	その意味では投信貫通部鉄塔貫通部は、一体にしちゃってもいいような気はするんですけど、分けるっていう構造設計をしてるのはなぜですか。
0:25:19	日本原燃石黒です。相対変位という意味では、同じです。すいませんオノが違うので、ちょっと言葉をすいませんコサクです。言葉じりを言うてるんじゃないくて、
0:25:30	相対変位ですって言うてるところに、まだ検討が不足してると思っていて、
0:25:36	相対変位を考えて別構造体にすると、別構造体にするというコンセプトがあるから相対変位を見なきゃいけないっていうことになるので、
0:25:46	全部を一体にガチッとつくれれば別に相対変位いらんわけですよ。
0:25:51	それを別構造体にするというふうに設計した思想は何ですか。
0:25:58	日本原燃の石黒です。
0:26:00	こちらは竜巻の防護案と、答申っていうのは、
0:26:06	そもそも基礎が違う基礎から成り立っているものなので、古作です。それは正しくないと思いますよ。
0:26:16	排気塔周辺の基礎は三部3ブロックになっていて、
0:26:21	そもそも、
0:26:22	その3ブロックにそれぞれ

0:26:26	火、竜巻、
0:26:29	防護対策設備を設置するということですよね。
0:26:33	であれば、その、その基礎そのものは廃棄等のために作ってあるわけだから、
0:26:40	排気塔側と一体で設置するっていうのをそれぞれのブロックごとにやることは可能なんじゃないんですか。
0:26:50	ちょっと違う。
0:26:57	本当に、日本原燃石黒です。
0:27:00	少しだけちょっと事実関係確認するにお時間で一、二分いただけますでしょうか。申し訳ありません。うん。
0:27:07	規制庁コサクです。どうぞ。
0:28:24	日本原燃の石黒です。すいません。お待たせしました。
0:28:28	確かに、中央ブロックの竜巻防護対策設備につきましては、投信と同じ基礎にはなってるんですけども、投信自身が揺れると。
0:28:41	いうところ、それを制限するような形で竜巻防護対策すると、トーション側の方の耐震設計に影響するということで、それぞれが同じ木曾ながらですね、
0:28:53	独立に設置すると、というような設計方針をとっているために、
0:29:00	相談が発生すると有効だと、ということが確認できました。以上です。
0:29:06	コサクですけど、それもまだ答えが足りなくて、
0:29:10	影響を与えるから別にする。
0:29:13	て言いますけど、今回影響を改めて評価をするわけだから、
0:29:17	一体としての設計にして
0:29:21	許容値に入るように設計をすればいいじゃないかっていう考えはあり得るんですよ。
0:29:26	それを取らずに、分けた方がいいと判断した理由を聞いているので、ちゃんと整理をしておいてください。
0:29:34	そういったことが一ちゃんと原燃内認識をして検討して、この設計でいくんだねと。
0:29:44	いうことを合理的に説明ができるようにしてもらうために今の作業をしていて、
0:29:50	資料3までたどり着いたところで、そういうところを考えなきゃいけないね。

0:29:56	何でだっけっていうのを振り返り、こういうことでこうしたんだねというのをまとめていき、それが資料2の方にフィードバックをかけて、どこでの、
0:30:09	対応での検討だったのかと。
0:30:12	いうことで明文化をしていきと。
0:30:14	いうふうに作業していただくというのが共通12の心だと思っています。
0:30:20	そこまではご認識いただけました。
0:30:25	日本原燃の石黒医師。
0:30:27	はい。理解いたしました。
0:30:30	はい。補足です。なので、何も前提条件として決まってるなんてことは一つもなくでですね、一つ一つちゃんとかみ砕き、考え直すと。
0:30:40	いうことが必要なのでその点、Steeringチームとしてしっかりと考えてください。
0:30:47	その上で
0:30:51	はい。
0:30:52	その開口の理由っていうのを明確にしていった中、その開口がそもそもどれぐらいの大きさであるべきかと。
0:31:01	いうことの考えを聞いているので、
0:31:04	淡々とつけてるときの隙間の朝幅ということの説明しても何の意味もないと思うんですよ。
0:31:14	先ほどその40ミリって言われましたけど、フードの開口部40ミリなわけではないですよ。
0:31:21	ていうところで説明が断片的になりすぎてるっていうことをご認識いただけます。
0:31:30	日本原燃の石黒です。はい。で、
0:31:33	理解しました。はい。
0:31:36	ラビリンスにすると昨日その隙間の寸法の大きさ、要は相対変位が発生する場合にも吸収する場合はその必要な吸収量を確保するための寸法ということをちょっと説明すべきだったというふうに思い、
0:31:48	ております。理解しております。以上です。
0:31:53	はい。規制庁コサクです先ほど言われた40ミリの
0:32:00	甲斐海光っていうと、何か変だな。スズキ感覚っていうのは、相対変位に対して設計をする。
0:32:10	負債のラビリンス構造の
0:32:15	設計コンセプトとして40ミリ。

0:32:18	の隙間を上げるっていいことですか。
0:32:21	ただ 40 ミリだとぶつかる場所もあるんですね。
0:32:25	違う違うアノ 40 ミリと言っているのは、楽にするとか、無関係にも、通常に閉めておく、規制庁レベルの話。
0:32:36	それはもともとそうしてたのは聞いてますけど、それ妥当相対変位として持たないっていうところがあるっていいことだから、改めて設計コンセプトを整理し直すっていいことだったと思うんですけどそこはしないんですか。
0:32:52	日本原燃の石黒です。
0:32:55	そこは当然して、
0:32:57	しなければならぬ話であって、
0:33:01	はい、わかりました。規制庁コサクです。ごめんなさい。それで言うと、ちょっと 40mm を 1 回忘れた方がいいということですね。今回行っている開口部っていいことに対する話では全くなくて、
0:33:15	一般的な竜巻防護ネットだったり、防護盤だったりの設計の時に許容できる隙間っていいことの話をしていただけってことですね。
0:33:25	おっしゃる通りです。
0:33:27	規制庁丹です。なんで最初に話した、対策設備で覆いますって言ったときの、堀田っていいのが、何まで終わったって言うかっていいと、40 ミリか 40 未満かな、わかんないけどその隙間が空いてるもの以上のものが空いてない直ったっていいまず原則言いますよと。
0:33:45	そこにさっき、3 種類言われた開口部やつがいますよと。で、話も出てきたんですけどこの開口部っていい時に、これ一つ一つ一応確認していきなさいと思ってるんですけど、まず 1 番目のムタソウノさっきの相対変位のはなCなんですけど、
0:34:00	ここのコンセプトって結局決まったんでしたっけ。先ほど長さんの方からも話あったんですけど、今までいくつか例示して今まで 40 床だったやつ 60 とか 100 とか、なんかいろいろ使ってるまで見てるんですけど、
0:34:14	結局のところこって、耐震の話がまだ解決してないから、ぎりぎりを攻めようとするのと取るのか取らないのかもわからぬところが正直あると思ってるんですけど、可能性としては
0:34:25	もう、もうその検討結果がどう、多少揺らいたとしても大丈夫なぐらいおっきいかけちやいますよと、ラビリンスにするんで置き換えてたとしても結局とらぬようにするんですよっていいしまうと、

0:34:36	あと、どうとるかわかんないですけどこの評価結果出るまで、微妙な幅のところが固まってないままの説明を続けるかなんですけど、ここの辺りって今なんかどう考えておられるんでしたっけ。
0:34:49	日本原燃の首藤です。
0:34:52	そういう意味もあって、寸法データっていうのは、ちょっと一部書いてあったやつもありますけど、
0:34:59	書かないことを基本にしている、もちろんですね、地盤条件が変わることによって、相対変位変わることによって、この辺の寸法というのは、
0:35:11	許容できる寸法というのは変わってくるという認識です。
0:35:14	ただですねおりません。
0:35:17	はい。規制庁コサクです。話がまだかみ合っていないんですけど。
0:35:21	ぎりぎり攻めようっていう発想なのか、そうでないのかどっちですか。
0:35:33	今の、そういう説明だとぎりぎり攻めたいのでまだ数字は確定できませんみたいな言い方だったんですけど、
0:35:50	ぎりぎりかそうじゃないかっていう、
0:35:54	義理を攻めようという認識を持ってこの資料を作っているわけでは、
0:35:59	ありません。なので、寸法を変えてるわけじゃないということで、このような形でラビリンスを設置して、どこまでの、そのものを高角度のものを防ぐのかといったようなコンセプトをちょっと、
0:36:12	お見せするというのが、この趣旨でございました。
0:36:18	規制庁小阪です。
0:36:20	今の私なりの理解でいうと、ぎりぎりを攻めなくても済むようにラビリンス構造を設計していきますと、
0:36:31	いうことで余裕を持って、隙間をあけられる。
0:36:34	ようにする。
0:36:36	なんだけど、
0:36:39	構造設計上厳しいところがあって近づいてしまう場所がありますっていうのはちゃんと評価をして、接触しないことを確認していきます。
0:36:49	ていうことかなあと思いましたけど。
0:36:53	合ってます。
0:36:55	日本原燃石黒です。
0:36:56	その理解で全く問題ございません。
0:37:00	はい。規制庁コサクです。だとする等、その校舎側がどういうところなのか、なんでそこはそこまで接近させないといけない。

0:37:10	いけないのかもうちちょっと構造上のはい考慮で話せられないのかっていうところがポイントかなと思いますけど。
0:37:18	どうでしょう。
0:37:22	日本原燃の石黒です。もう少し話すって言うのは相対変位のところに余裕を持たせた形で、もっと空間上げて、仮に地震力が大きくなった場合でも当たらないというふうにいえるような、
0:37:37	僕をふやした方がいいんじゃないかというそういったご指摘ですかね。すいません確認ですまず、
0:37:42	はい。古作です。言いかえればそういうことになり、
0:37:47	かしこまりました。
0:37:51	これにつきましては、
0:38:00	現状、
0:38:05	余裕分け設けた形で
0:38:12	施行している。
0:38:15	というところもございますので、規制庁小阪です。ちょっと看過できない表現があったので、もう施工しちゃったんですか。
0:38:24	いえ。すいません。撤回します。これからの施工になりますので、裕度程度についてはしっかりと確認した上で、はい。
0:38:34	設定、
0:38:35	するものという認識でございます。
0:38:38	はい、古作です。今議論してるのはすでに施工しちゃったものから、ちゃんトラビリス構造をとることによって隙間をあけると。
0:38:47	いうことに対カー工事をしようとしているところでの議論だと思っておりますので、表現ぶりも気をつけていただければなと思います。
0:38:57	佐治さんどうぞ。
0:38:58	規制庁田尻です。具体の数値はともかく余裕を持ってっていうところまでは今聞けたんですけど、
0:39:05	この余裕を持ったようなところで一応確認しておきたいんですけど
0:39:09	なんか、相対変位でぶつからないっていう話をしてるのかってこのぶつからないっていうのも、建屋にはぶつからない板ならぶつからない加工ならぶつからないとか何か対象物によって昔分けてたような気もしつつなんですけど、どこまでの裕度の話をされてよっていう
0:39:25	対象物はドイツで今考えてんでしたっけ。
0:39:30	はい。日本原燃の石黒です。衝突という意味、構造物同士の衝突という意味では、現状、

0:39:40	その上位クラスと下位クラスだけじゃなくて、
0:39:44	防護板東Cについても衝突しないと。
0:39:46	というような設計にするというふうに考えてございます。
0:39:52	規制庁谷です。
0:39:54	ちょっと質問の趣旨と違った答えは最後に入れられた気がするんですけど、前までは要は構造物とかの加工部分とカーダと埋設自体が崩れない話になるけど、いた部分だけならっていうので許容してる部分があったけど、
0:40:08	今回に関しては相対変位によって、防護対象とか防護対策設備がぶつからないようにするっていうので、そこにはもう板野加工も関係なく、裕度をとりますよ。
0:40:18	ああいうっていか離隔というか、開口を取りますよってというのが方針ですかね。
0:40:24	日本原燃石黒です。その通りです。
0:40:28	はい規制庁トレースわかりました。
0:40:30	で、だから外へはなCは先々その耐震とかとの絡みが出てくるのでちゃんと整理して教えてくださいねっていうのでそう大変な話で、で、
0:40:41	今度
0:40:42	楽そうなんで神海溝の方メンテナンスの方なんですけど、
0:40:47	このところ、今までもラビリンス構造でって話をされてたと思うんですけど、
0:40:53	ちょっと後でと思ったんですけど、ラビリンス構造っていうのをどう説明していくかの花Cを結局最後しなきゃいけないんでちょっとすいませんこのタイミングで少し入らせていただくんですけど。
0:41:04	ラビリンス構造って言った時に今、
0:41:08	4 ペーへと 8 月 1 日資料と 4 ページのところ、
0:41:12	ちょっと意図がわかんなかっただけなんですけど進入角度を制限するとともに侵入する前に少なくとも設計飛来物が構造物に 1 度は衝突させるような設計とするっていうのが何者かはちょっとわからなくて、
0:41:23	ビリンス構造っていうと、その防護対策設備の
0:41:28	かえってところ入口部分ところに多少入ってくるけれど中には入ってかない設計のことを言ってるのかなと思ったんですけど、どういった意味になるんでしたっけラビリンス構造って。
0:41:39	日本原燃の石黒です。
0:41:43	中に入らないという基本コンセプト。

0:41:47	という
0:41:49	ことは考えているんですけども、ちょっと10ページの、
0:42:04	日本原燃の石黒です。
0:42:08	そのためにする、すいません、今一度は相当させるような設計というふう うに書いた。
0:42:14	趣旨を説明しようとしたんですけども、
0:42:19	質問はそうではなくて、ラビングって何ですかという質問。
0:42:25	ですかね。すいませんちょっと質問質問で返して申し訳ないです。どっち もある意味一緒かなと思ってんですけど、原燃の1. ラビリスってやつが、1 回ぶつかったら中に入ってってもいいですよっていうのがラビリススタート すると嫌だになっていうところなんですけど。
0:42:39	なんで、同じ結果になるような気がするんで別に10ページのやつでも いいんですけど、今日最初のところで、基本的には中に入れないように っていうのを言われた気がするんですけど、その入れがあるからなんか 言葉を濁すと4ページの表現になったんだらうと今推察はしたんです けど、
0:42:54	言ったかよくわからなかったので、10ページなら10ページを使っていい んで、説明をお願いします。はい。はい。日本原電の就労の数、ちょっと 具体例を見ながらのほうが、話しやすいと思うので、
0:43:06	1日の資料の10ページ、先ほどの答申のところとかのお話と同じ。
0:43:13	ところ、5ページの
0:43:15	真ん中の図をちょっと見ていただきたいんですけども、こちら
0:43:19	貫通部に対して、防護盤を傘のようにかぶせる形で、侵入防止を図って いるというものになります。
0:43:30	ただですね、この謀臣この防護盤をある程度のところまで広げたところ です、
0:43:38	角度はどんどんどんどん厳しくなってくるものの、
0:43:42	ある、制限された角度であるものの、この中に入ってくる来ようとするパ ターンというのは、存在するとすいません、規制庁コサクです。
0:43:52	現状の設計だとなっちゃうんでとかっていう言い訳は聞きたくなくて、
0:43:58	どういうコンセプトですかということなんです。
0:44:01	今みたいな話をして欲しくないから、MOXのときどういう説明してたんで したつけど。
0:44:09	いうことを言って、

0:44:11	それがまた理解いただけてないみたいですけど、今日だと、昨日提出の資料だと別紙3ということで、ただ、比較して、差異はありませんみたいなこと言ってますけど、
0:44:23	今の説明してること時点で差異があるんですよ。
0:44:27	差異があると認識してないことがすごい問題です。
0:44:34	D4ボックスは、
0:44:36	当たった等どう飛来物が最終的に落ちますか。
0:44:45	到達しますかと。
0:44:46	いうことを考えて、
0:44:48	安全等、
0:44:51	竜巻防護対象施設の
0:44:54	ある。
0:44:55	区域なり領域には到達しませんと。
0:44:59	しないように配置の考慮をしますと。
0:45:02	いうことを宣言をしていると。
0:45:05	いうことで、
0:45:07	それを
0:45:09	昨日提出の資料だと。
0:45:12	このページ、49ページですかね。
0:45:15	新居浅井はありませんと皆さん言ってるんですよ。だけど今の説明、差異があるんですよ。
0:45:20	どういうことですか。
0:45:24	日本原燃の石黒です。
0:45:26	この別紙3の話を使用するときに、ちょっと説明をしようとしていたところであつたんですけども、
0:45:35	呻吟を防止するという考え方に、
0:45:39	基本的な考え方には差異はないのかなっていうふうにここで書いてあるんですけども、確かにおっしゃるようになりますね、
0:45:47	僕の方ではですね、開口部から中を見渡したときに、守るべき設備、防護対象施設が見えない位置にあると。
0:45:58	というような配置をした上で、フード何をつけると、もしくは風を受け、
0:46:05	風除室をつけるというような形にしているので、見える見えないといったところについては、違っている。

0:46:14	考え違いがありますっていう説明をちょっと今日するつもりにはしていたというのが実態でございます。設置赤字です。もう複数見渡したらどうこの概念ではなかったと認識していて、
0:46:27	今言われた風土の話だとうアノフードの中に入ったとしてもその中に入った部分が前室みたいな部分になってるから、そこに飛来物起こしてきてもその中にいるやつは多少当たりませんよであるとか、
0:46:39	建屋に入ってきてしまうものに関しては、建屋から入ってきた部屋部分にはいなくて、そこから廊下グーッとといった先のところの、さらに曲がったところにいるんですみたいな、ぶつかり得るわけないですとか、さらにそこに部屋がありますとかいう説明をしてやったのであって、
0:46:54	見渡す動向が概念っていうのの認識がないんですけど、そこは南北認識ずれてます。
0:47:00	規制庁コサクですちょっと補足すると、
0:47:04	防護盤とかを設置するにあたり、まずは見渡せないように設置しますというのはあるんです。ただその先に先ほど田尻が言ったように、その次は、というときに、どういう配置上の考慮があるかと。
0:47:18	いうことの説明で追加で壁があるだとか、部屋があるで、その先に設置していると、というようなこととセットで説明をされていて、
0:47:28	それを方針としては、49 ページに書いてあるような表現になってると。
0:47:33	いうことであって、これもだから断片的に認識してるから話がこじれると。
0:47:38	ということで、原燃の悪いのは、そういった表面づらの表現だけで何とかごまかそうとしてるといふうに、
0:47:45	結果になっちゃってるっていうのを、それはごまかしになってるからちゃんとかみ砕けなきゃ駄目だと。
0:47:51	いうことは話をするのがSteeringチームの仕事です。以上です。
0:47:59	はい。荷揚げでイシグロです。疲れました。
0:48:05	規制庁、丹治です。それも踏まえた上で、10 ページは今までの設計動向とかを置いといたとして、何の話をされようとしたんですよ。何か今ちょっとよくわかんなくて、
0:48:18	規制庁コサクです。これで言うんですけどね、
0:48:23	何て言うんすかね。簿、先ほどの話でいうと、防護番わあ、
0:48:28	超えてしまいますと、
0:48:31	ただその先にどうあるから、
0:48:35	防護対象施設には影響与えませんと。

0:48:38	ということの後半部分がないんだと思ってるんです。
0:48:43	そこは説明できるもんですか。
0:48:52	日本原燃の石黒です。
0:48:54	衛藤。
0:48:59	すんなり飛来物が防護対象区域内に、
0:49:05	入ってしまったときに、
0:49:10	守れるかどうかっていうと、それは守れる手だてが我々思いついているわけではなくて、
0:49:16	常に入らないような設計にするということで、
0:49:23	先ほど 10 ページの真ん中にあったような図を用いて、
0:49:28	当たるという説明をちょっと差し上げたという認識すみません、古作です。それだとやっぱりラビリンス構造の説明として足りなくて、
0:49:36	今回、
0:49:38	追加改造する。
0:49:40	ことを言われた際にも、この部分に限定させてもらえませんかみたいなことを言われた際に、
0:49:46	1 回当たったら、もういいですよっていうようなことを言われていて、でもはね返りとかをどう説明するんですかと。
0:49:54	いうことを話した結果、ラビリンス構造というのを徹底しますというふうに、
0:49:59	話をされたんだと思うんですよ。結果とすると、1 回当たった後、どう動くかっていうのがあまり立証できないので、定量的に立証しなくても済むようなラビリンス構造を設置しますと。
0:50:14	ということと理解をしてたんですけど違います。
0:50:39	言ってなかった。すいません。音声にちょっとオフのまま話してしまいましたすいません。
0:50:47	サクサ認識の通りでと思っておりまして、そういう意味ではですね、定性的な説明が難しくなっているこの 10 ページのラビリンスの構造についても、
0:50:59	少し考え直したものをまた提示させていただく必要があるという認識しております。以上です。
0:51:05	はい。規制庁コサクです。おそらくもう 1 枚付ければですね、そういったことは否定できるんじゃないかなと思うんですよ。
0:51:13	具体的には瀬、防護対象施設の位置関係っていうのを説明いただくということで、この図であれば、答申ってことですよ。

0:51:27	まずは、日本原燃石黒です。答申というかですね左側に図がありますように、
0:51:36	青い字で書いてあるところがありますんで、
0:51:42	中に入れば、
0:51:44	今日排気塔の管理建屋があつたりとか、換気設備とかといったところがある空間に入るといふ、そういう理解でございます。
0:51:53	はい。規制庁コサクです。その意味だと、まずはと言わあ、これも投資委員会いるってないのは何でだろう。
0:52:03	門田イングロです投資につきましては、みずからの強度であつていう、はい。そういう扱いをしておりますので、どうのってないという形だけ規制庁コサクですわかりました。そうすると、
0:52:19	ここから進入してしまったものが、上から降ってくる。
0:52:25	という形になってて、
0:52:29	降ってくるぐらいのものであればちゃんと受けとめますっていうものが何かあるってことですかね。
0:52:36	或いは、手前で入らないように止められるようにしとくのでなければ、そういう説明が必要だよっていうふうに、
0:52:44	考えていただいてもいいんですけど。
0:52:50	日本原燃の石黒です。
0:52:54	はい。おっしゃるように、落下して、大丈夫かっていう状態もあるかという、そこまで言い切れる状態にない。
0:53:04	かなと思っておりますんで、その辺も含めてちょっと検討はさせていただきます。以上です。
0:53:10	規制庁谷です。ちょっと自分の頭の整理さしてください 10 ページの緑をかさってまだついてないですよ。今まで言ってきてなかったやつをこっち付けるって話を今回はしてるんですよ。
0:53:24	日本原燃の石黒ですまだついておりません。これからの話になります。
0:53:29	規制庁、佐治です。であれば自由度幾らでもあるので何かどどっとでもありやなんか、こいつを前提にしないで何か別にこうやってもっと大きくすればとか何かいろいろいえるような気もするし考えりゃいいような気もするのでや重量との関係があるのかもしれないんですけど。
0:53:43	タナハシ 6 ページのところとかD建屋と総合対策設備のところ入ってこないように確認しますよっていうIIIに近づけることだって別にできる話だと思ってるので、古作です。私もそう思ってる、

0:53:57	中に入ってというよりは、今、傘をかけている周りに堰を設けるような形で、もう1枚、反対側につければ、
0:54:08	現状の加工の中に入らないっていう説明がきくんですよ。
0:54:16	なのでそういう設計を今回提示されるのかなと思っただけでこなかったの、まだ入らないようにっていうこと意識が足らなかったのかなと思ってこれまで話をしました。
0:54:29	日本原燃の石黒です。
0:54:31	はい。
0:54:34	おっしゃる通りちょっと、
0:54:36	資料が不足していた部分があるのはおっしゃる通りだと思いますので、その辺含めて再考させていただきます。
0:54:45	はい。規制庁の館です。
0:54:48	なので、ちょっと話戻りますけどラビリンス構造というふうに言った時は
0:54:53	やっぱ中に入れないようにしますよと、メール構造っていうのをどこまで表してるかってとこありますけど、基本原則はまず入らないようにしますよと、配慮入る可能性があるっついうんだとしたらもうオクとかのやつも踏まえながらちゃんと整理をして持っていくよっていうのがまず形基本思想ですか。
0:55:09	前半に寄せてしまえばいいんじゃないかと僕ナガタてやったところもあって、どうこうじゃないところが多少あったんですけど、今の再処理に関しては、今言ったように入らないようにしますよっていうのが基本ですかね。
0:55:21	古作です。何そう大変についてはっていうことだと思うんですね。空気とリレーとかの開口部についてはMOXと一緒にあって、開口取らなきゃいけないわけだから、入れないってことはまず無理で、
0:55:34	そうすると配置上の考慮が出てくると理解をしています。
0:55:43	日本原燃の石黒です。
0:55:45	そういう意味ではですね、ごめんなさい。
0:55:50	入ったところに、防護対象設備が、
0:55:54	どうしてもあるものっていうのがどうしても存在してしまっているというのが実態のところございまして、13ページ、
0:56:03	見ていただくと、風土の図があって、今回
0:56:08	ラビリンスを設けることで、仮に、あ、すいませんコサクですね、これと言うとですね、これラビリンスって言わないよって思っていて、

0:56:20	守るべきもののところにもう一つ邪魔板を置くことによってラビリンスになるんじゃないのかって思ってるんですよ。
0:56:28	うん。
0:56:31	日本原燃石黒です。
0:56:34	はい。フードの中に、左から右に向かう抜けたような、
0:56:39	邪魔板とか、この赤い棒をもう防ぐようなものをもう1枚要るんじゃないかという、そういったご示唆という理解をしました。
0:56:48	コサクですけどこれ何を守らなきゃいけないんですか、機能って何ですか。
0:56:57	論議ねイングロです。
0:56:59	こちらフードのすぐ左側に書いてます、主排気塔の管理建屋、
0:57:05	管理建屋って何の機能があるんですか。
0:57:15	こちらはですね主排気塔を監視するモニタリングする、訳せじゃおかしいですよ。なんで中にそういうのがいるのはわかってるんですけど、建屋自体に機能があるのか、家庭の中のそういうのが防護対象であるのかって言ったらまずどっちですか。
0:57:39	日本原燃の石黒です。
0:57:41	内側になります。
0:57:43	これはそのもので、古作ですであれば、ここの壁を
0:57:48	邪魔板だって言えばいいんじゃないかかっていうことなんですよ。何を守りたいのっていうのが、
0:57:54	あの辺に、
0:57:57	なんつう限定してるというかですね。
0:58:00	実質のことを考えてない整理をしてるような気がしていて、
0:58:03	まずはそこら辺がわかるようにしていただきたいと、いうことです。その上で、許可でこういうふうに言っちゃっててちょっととかっていうのであればそういうふうに、
0:58:13	明示的に言っていただいて、こちらが許容できる範囲がどこなのかと、いうことを話をできればいいんじゃないかなと思います。
0:58:24	日本原燃石黒です。
0:58:26	はい、了解しました。
0:58:28	周知は同じです。その時に、管理建屋内のどこに防護対象がいるかっていうのを多少関連してきて、極端な話壁際にいるんだったら二名剥離も考えなきゃいけないですよんですけど、結構離れたところにいるっていうんだったら、裏面剥離で飛んできませんよって貫通だけしてればい

	いレベルなんですっていう話なのかもしれないし、位置関係とかよくわからないし、何までを
0:58:48	期待できるのかっていうところもよくわからないので、位置関係とそれぞれ結局防護対象なのかってところはっきりしてくださいねっていうところで、よろしくお願いします。
0:58:59	野辺修吾です。了解しました。
0:59:03	はい。規制庁館です。今のお話調査官から見ていただきましたけど三つ目のルールの話に関しては福土と今日の考え方一緒だと思っているので、
0:59:13	僕の考え方もその人と相談したらちょっとフードの位置とかが建屋の屋上にくっついて飲むと違うんですってところは当然ありつきりだと思ってるんですけど、大丈夫ですよっていう時の考え方は別に変わらないと思ってるので、その点踏まえた上で整理をお願いできればと思います。
0:59:33	荻野イシグロです。はい、かしこまりました。
0:59:36	規制庁谷です。一番最初の話に戻ってくるんですけど、こういうのを検討する等、設計が吸収されてくるんだと思ってるんですけど、こういうのを、現代でやってるわけじゃないんですかね。
0:59:54	規制庁館です。
0:59:56	ちょっとだけ補足すると、さっき言った基本設計方針があって
1:00:00	MOXと同様って言った時も結局引っかけたんですけど、それは大本正は竜巻に対して機能損なわないうところは一緒なんだけどそれ具体化するっていう時になったら、じゃあ実際どうしましょうか。
1:00:10	どういったところまでしていきましようかっていう話をして、設計の固まってるもんだと思ってるんですけど。
1:00:16	そこって今どういう状況なんでしたっけ。
1:00:19	規制庁コサクです。
1:00:24	これまで聞いた範囲における、
1:00:27	感触からすると、MOXで議論したほどの認識を持っていなく、検討は浅かったと。
1:00:35	いうことは現実なんだと思っておりますけど、
1:00:39	少なくとももう、
1:00:43	将来的に共通 12 の資料 2 で、ちゃんと設計上の配慮が書けるように検討を、
1:00:52	浅井にしろ、していたということでもいいかと。
1:00:58	いうところはいかがですか。

1:01:01	日本原燃の石黒です。
1:01:03	いろいろ
1:01:06	その理解でいろんなあれですね、いろいろ答えにくかったのがあったのが実態なので、
1:01:12	はい、その通りだと思います。はい。コサクです。ここまで話をしたところ検討が浅かったっていうのは認識をしていただいたと思いますので、
1:01:22	しっかりとMOXの時にどういうことまで話をしたのかっていうのをキャッチアップしていただきたいと。
1:01:28	いうことなんですけど、前回それを踏まえて話をしたつもりなんですけど、今回の市、テンプでしたっけ。
1:01:37	アベしか、別紙3のレベルになっているのは、MOXの担当者にちゃんと聞いてないと思えないんですけど。
1:01:46	どういう。
1:01:47	ように検討してこの資料作られたんですか。
1:01:59	日本原燃の就労にする。
1:02:02	すいません再処理側で作成したものを、日本原燃の失礼、MOX側の担当者にはレビューするという形で、
1:02:13	ここ詳しく中身までは、聞いてなかったんだというふうに思いますので、そこはしっかりとちょっと聞くような動きをしたいと思います。
1:02:22	はい。コサクですレビューっていうの原燃のレビューってほとんど意味ないんですよ。
1:02:27	レビューとかっていう形式をとるんじゃなくて、最初からちゃんと聞きに行けと。
1:02:33	膝突き合わせて議論してどういうことなのかというのを話をし、再処理ではこういうふうに考えてるってことをちゃんと説明し、
1:02:41	合ってるのかってないのか違いはどこにあるのかと、いうことを具体的に認識し合うと。
1:02:47	いうことが、体育館で両方とも集まってる場所の利点なんだと思うので、利点を全く生かさないのでは体育館なんかやめてしまえと。
1:02:55	いうことになってしまうんで、改めて、ちゃんと議論をしていただき、
1:03:02	大分今日の話で認識していただいたと思いますので、
1:03:07	コミュニケーションをとってやってください。
1:03:09	そのアウトプットを共通12の資料に手を入れる前に、概略でいいから、サッとまとめて、

1:03:19	今日議論したようなことはこういうような方針で、方針、設計上の配慮でやることに整理をしましたというのを次、まとめて提示いただけたらいいのかなと。
1:03:32	思いますけど。
1:03:33	イメージ合ってます。
1:03:37	日本原燃石黒です。
1:03:38	はい。イメージをよく理解できました。しっかりとちょっと僕側と議論して、対応、どうしてもまなきやいけないものであるならその辺が論点なってると思いますので、
1:03:50	しっかりと考え方を示していけるようにしたいと思います。
1:03:55	以上です。
1:03:56	はい、規制庁コサクでその上で1点私ずっと疑問だったんですけど、
1:04:01	例えば15ページ。
1:04:05	外気取り入れのフードですけど、
1:04:10	これ既設なり、追加で設置したものを撤去して新たにフード付ますって言うてるんですけど。
1:04:19	そもそもフードってどれぐらいの強度じゃなきゃいけないっていう話はM OXのときやってましたかね。
1:04:32	入園者でございますすみません途中からやっておりました。ルールがあって中に物がある穴井も含めて、フードにある程度期待する場合はこういう強度を持たせます。
1:04:44	ない場合あと邪魔にならないかとかですね、あと、
1:04:48	それを期待しないとした場合入っていた議員者がぶつかからないとか、そういうことでいろんな面で議論をしたと記憶をしています。はい。
1:04:58	古作です。いろいろと議論をして、
1:05:02	結果配置上の考慮も含めて総合的に
1:05:08	ナカの機能が維持できればいいというジャッジをしたような気がするんですけど、違いましたから、そうですね、おっしゃる通りそれも含めてちょっと前に議論だったかもしれない基本設計方針の書き方も、
1:05:22	強度を確保するか配置上の考慮することによって機能を損なわないって書いたのは、合わせ技もしくはどちらかっていういろんなパターンがあるのでそれを総合的に判断できるように、基本設計をしていきたいも、
1:05:33	最終的には工夫をしてさせていただいたということでした。
1:05:37	はい、古作です。そう思っていてですね、
1:05:42	現状だと何カー。

1:05:45	強度を確保しなきゃいけないんだっていう、至上命題のようにして対応されてるような気がしていて、どっかにほころびが出ないのかなっていうのがちょっと心配だったんです。
1:05:55	特に耐震上の負荷になったり、施工上の無理が出たりということがないかなというのが心配だったので、
1:06:05	まっさらな状況で何をすべきかをよく考えて、設計をしていただきたいと思いますし、トータルとしての説明をまた聞きたいと思ってます。以上です。
1:06:20	日本原燃の西尾です。趣旨、理解しました。
1:06:26	成長の度です。
1:06:28	ちょアノこのままはいっぱいあるところですけど、今回、してきたようなところを踏まえ、全体見直すってどこだと思うので細かな話だけしないようにしたいんですけど、ちょっと1点だけ違う。
1:06:39	だって、
1:06:40	20ページなんですけど8月1日資料の20ページなんですけど、
1:06:46	ネットのスキームあげますよっていうのと検討中の案って書いてあるんですけど、
1:06:53	これネットをキヨセワイヤーっていうので引き寄せて隙間埋めますよって言うんですけど、ネットってたわみとかそれ、いろいろなもん絡んでOKになってるもの電中研の試験結果になるようなところだと思ってんですけど。
1:07:07	だからワイヤーとかのところで、どれぐらいの引っ張りにしてますよとかっていうのを、他見てたりすると思ってんですけど。
1:07:16	何か引き寄せるために別ワイアつけたりした悪影響があるないとかも含めて今検討中ですか。
1:07:24	日本原燃の石黒です。最終的にどのぐらいのワイヤーをどの程度かっていう、細かいところにつきましてはまだ検討中ではあるんですけども、
1:07:34	ただご懸念いただいているような、電中研のネットとしてのたわむことによる機能っていうのを阻害しないように、強すぎないワイヤーにしないといけないというふうに考えておりました、
1:07:47	そこをですねどの程度にするかといったところにつきましても、またちょっとご説明差し上げないといけないかなというふうには考えておりますので、これも準備してまたご説明差し上げたいというふうに思います。以上です。

1:08:02	町のタジリなんですけど、そういう強すぎない場合やとかっていう議論をせずには何か他に何か、この板野で考えれば隙間を持ったんじゃないかとか何かいろいろ思うところはあるんですけど。
1:08:14	ここのワイヤー作戦に行くのっていうのでいや別に
1:08:18	工事が不要とか足場付与とかは別に考慮されるのは置いとくとして、
1:08:23	これ何、何でワイヤーの方にイマイこうとしてんだっけ。
1:08:33	日本原燃の石村でございます。
1:08:36	ワイヤーん、今、ワイヤーにしようとしたという理由についてお聞きされてるというふうに思うんですけども、
1:08:47	目視で、
1:08:50	10センチぐらいの隙間、最大であってるようなところにつきまして、その新たな防護盤で埋める。
1:08:57	というよりも、
1:09:01	隙間を埋めるという意味ではですね、強度さえ
1:09:06	間違わなければですね、
1:09:09	合理的な設計になるのではないかというふうに考えて、選んでいると。すいませんちょっと取り外し学よとかいったのはちょっと余計な表現だったので、そこはちょっとあまり気にしない。
1:09:20	していただきたいなというふうに思います。失礼しました。
1:09:23	長の丹治です。今考えておられるのはだから、この引き寄せワイヤーってやつは、強度とか全然関係なしに、隙間を埋めるためだけのものだから、負担し別にワイヤーでもね、本当の細かい場合でも何でもいいから隙間を埋めるための対策っていうのがないかっていうの検討の中で出てきてるものってことですか。
1:09:44	人間を一緒にする。その通りです。
1:09:49	成長の2人ですが、衛藤。
1:09:53	基本的にこのネットの評価ってスタッフの話が話し出している。電中研報告の絡みになってくるので、本当に使えるんですよ。要は余計いかほど強い弱いのはいいのかわかんないですけど、
1:10:07	pHを与えないってところはどうしても確認しなきゃいけないかと思うので、
1:10:11	マイヤーっていう場合はその点も考慮した上で説明できるようにしていたらと思います。
1:10:19	去年の1月はい。
1:10:20	了解しました。

1:10:22	あと、規制庁オダです後、そもそも何で1点だけ聞きたいんだけど、なんでこんな無駄に隙間分でしたっけ、何かもっと近くに寄せときゃよかったのになって気もしないではないんですけどこれっていうのは、何かこれは必然的に開いちゃう仕組みなんでしたっけ。
1:10:42	隙間に、日本原燃石黒です。隙間につきましたは
1:10:48	やはりちょっとたものでございますので、場所によっては、
1:10:53	を訴えてるものもありますし、場所によってはですね、もうほとんど空いてないところも目視で確認しておりますので、そういったばらつきがないような形にはちょっとしておくべきだったんですけども、
1:11:04	今のちょっと後からなるんですが、対応しようというふうに思っている次第です。
1:11:10	規制庁の館です。今の度によって空いてるところ空いてないところっていうのがちょっと理解しきれなかったんですけど、トルクのかけ方で、金井が決まるんだったらそれ保守の話な気がする試設計の問題なのか、今の菊田の話だと、
1:11:25	今空いてなくても時間たつて、多少頼み始めると開くんですけどかかっていうんだったらそれでいいのって聞かなきゃいけないんですけど、
1:11:32	今のはどういう話でしたっけ。
1:11:39	イノウエタナカでございます。衛藤。今の説明に対して補足しますと、隙間が、今回4時点もですけども、C学校に直接取りつけるネットっていうものを第1回の方で説明してもらって
1:11:53	それを採用させていただいてますと、その取り付け方の仕組み上、ワイヤーのロープが入るところがどうしても支持架構と密着することができないっていう構造上も、
1:12:06	ところ、そういう構造になっておりまして、隙間というものは構造上どうしても多少開いてしまうっていうものとなっているという認識でございます。以上です。
1:12:17	規制庁の田尻です。ハウジョウ開かなきゃいけないっていうんだったらたわみ力とか要は自家張りの方のネットに関してはそういう特性があつてで、
1:12:27	変わったときに、そのワイヤーが引っかかったりしないどころって話は第一課の時もやってた気がするんですけど、さらにその隙間部分をしっかり埋めるべきなんだっていうのが今の状況ですか。
1:12:42	日本高でございます。はい。その通りでございます。

1:12:47	規制庁の館です。ちょっと、実際の構造を見ながら、今度教えていただければと思うんですけど、ワイヤーって取り付けがちゃんと固陋のどの部分ではあるかってやつでそれをもうちょっと下降側で張ったりしたら大丈夫とかそういう例でもないってことなんですよね、今の感じだと。
1:13:08	すいません日本原電、すいませんちょっとうまく聞き取れなかったんですけどもう一度お願いします。要するにパッチ状態ですけど、要するに緩衝材がいて、そこに取り付けてるワイヤーがいると思うんですけどそれを加工場にもっと近づければ張れるあの近場に入るっていうレベルのものではないってことでいいんですよね。
1:13:24	日本原燃金岡でございはいそういう類では、募集もできなかったというところがございます。それじゃ私その辺り今度教えてください。
1:13:37	はい。表現タナカです。資料をまとめて、はいご説明したいと思います。
1:13:42	はい、規制庁の谷です。
1:13:45	衛藤。
1:13:47	ちょっとずっと細かく言っではいろいろあるところなんですけど、
1:13:52	何かいっぱい出すと、最初言ったやつ消えちゃいそうな気がするんですけど、経験ねんて、最初の方に話したような修正、
1:14:00	結局途中の早めのタイミングで、こういう方針でやりますよっていうのを示してくださいって伝えたと思うんですけど。
1:14:06	どれぐらいで作業できそうですか何か。
1:14:09	今後ろの方言うとそっちに力入れ始めそうでちょっと加えた方がいいんですけど、規制庁コサクです一旦休憩して振替ここまでの振り返りやりましょうか。
1:14:20	人間のイングロです。
1:14:22	はいその方がいいかもしれません。了解です。
1:14:25	十分ぐらいです。いいですか。
1:14:29	はい。10分お願いします。
1:14:33	規制庁横山です。それで今、11時15分ですので、11時25分から再開します。一旦の合計します。
0:00:00	はい、日本ヤマシタ規制庁ヨコヤマですね振り替えの方お願いします。
0:00:06	はい日本原燃の石黒です。ちょっと画面に掲載させていただいてますけれども、いろいろちょっと今回おっしゃっていただいて
0:00:16	特に1番目、ちょっとまとめて書いてしまってますけれども、大きな宿題をいただいたというふうに考えております。

0:00:24	まずはちょっとモック数側の設計というのをしっかり我々把握する必要があって、その上で議論するというのがまずあって、その上で、冒頭から、我々、
0:00:38	行政経営方針の中身ばかり話をして思想的なところが十分できてなかったといったところ、この辺をですね整理して、お示しできるようにすると。
0:00:48	その中にはですね、2行目にはありますけれども、開口部の必要性とか条文要求とか、ラビリンスの話もその考え方も含めてですね、
0:01:00	埋めてちょっと説明させていただくと、その中の議論の中にもありましたけれども、どの程度の深さの議論が求められてるかという意味では、この2番に書いてある、この一番の内数だと思うんですが、
0:01:12	相対変位の話をするときに、答申と防護版と、
0:01:17	いったものが、もう一体物でやったらそもそも相対変位考えなくていいんじゃないかと、なぜそれを選ぶんでら選ぶ必要があったのかといったところ。
0:01:26	検討のスコープに入ってるよという、そういう理解です。
0:01:31	また
0:01:33	ちょっと徳田させていただきましたけれども、引き寄せワイヤー、こちらの設計の考え方、こちらですね、構造をしっかりと示した上でですね、どういった要求があるのかといったものをしっかり説明させていただきたい。
0:01:46	いうふうに考えております。
0:01:48	ちょっと大きい大きなくりで説明させていただきましたけれども、振り返りは以上になります。
0:01:56	成長のタジリですけど、①番でこれで作業期間②③は個別の話としてまとめますけど①で作業できそうですか。
0:02:09	日本原燃の石黒です。
0:02:12	はい。一旦作業させていただきたいというふうに考えております。
0:02:17	規制庁の館です。若干振り返りもコンビで少し振り返ってなんですけど、今回の話っていうのは、共通 12 で資料 123 といって、
0:02:27	資料一度絡むものとして分類の話とかもあって、その分類に関しても、とりあえずこの五つでやってるけど、なんでこの五つにしたかの考え方も含めて整理して、こうやりましたって分類の話を書かなきゃいけないですし、

0:02:41	今基本設計方針資料 2 とかの絡みに関していうと左側にある基本設計方針ぐらいの内容しか書かれてないけど、よく資料 2 の右側に関わってくる構造設計の話を整理していかなければいけない形になるので、
0:02:54	その構造設計も結果だけ書いても意味ないから、今そこに書かれている設計思想の話になってきていて、基本設計方針を踏まえながらどういう設計にしますよと。
0:03:04	ベースの設計があるけれど、その中で、例えば今回の開口部ですけど、イレギュラー無能のはなCがここにいる中で、そこに対しての設計するのか、その前段で、なぜ必要なのか別の開口部に限った話っていうふうにやると多分その部分しかできなくなっちゃうと思うんですけど。
0:03:22	今回は防護対策設備を例にやったっていう形なので別にどれもこれも 1 相なので、
0:03:29	そそういったなんか今日やったようなところ、録音もされてるんだと思うのでそこ気しない会社がやられるんだと思うんですけどそういった点も含めて大丈夫そうですか。
0:03:40	はい。日本原燃の石黒です。聞き漏らしがないようにですね、ちょっと今日の議論につきましては、改めてしっかりと咀嚼して
0:03:50	やっぱり落とし込ませていただきますので、はい問題ないと思っております。以上です。
0:03:56	規制庁の 2 人です。
0:03:59	石黒さんが大真下さんがちゃんとつきられれば大丈夫なのかもしんじゃないんですけど
0:04:04	結局牛尾さんが咀嚼した上で、
0:04:08	展示中でしたっけエンジンチームの人たちに作業をしてもらって、まとめてそれが合ってればどうかっていうのをちゃんと整理した上でやっていただく必要があると思ってるので、
0:04:17	下野さんの的に今日のヒアリングでの疑問点とかはなさそうですか。
0:04:29	米野イシグロです。
0:04:34	手作業できると思っておりますのではい、現時点で質問はございません。
0:04:40	以上です。規制庁コサクです。なぜタジリが不安がってるかっていうとですね。
0:04:45	この文言で原燃のエンジンチームは、理解ができるわけがない。
0:04:50	ということで、

0:04:51	理解できない状況を石黒さんが1人1人当たって理解を確かめていかなきゃいけないと。
0:04:58	ということですけど大丈夫ですかということをお聞きしているということだと思ってます。
0:05:05	一番心配なのは、①の文章の本文では、設計方針って書いてあるわけですよ。
0:05:13	この設計方針って何ぞやっていうのをエンジンチームは基本設計方針だと思い込んでるわけですよ。
0:05:20	そしたら、違うよ、ここまでだよっていうのをわからせるためにどう言います。
0:05:28	他日本原電の石黒です。
0:05:30	設計方針はもうすでにもう書いているものとして存在しているので、そんなことを説明改めてする意味は全くなくてですね。
0:05:40	現状設計を、ものとして具体的な構造を決める上でですね、
0:05:47	背景にある考え方なり、なぜそれを選択したのかといったような、その技術的な
0:05:56	思想といいますか、その考えていったところに囲って、それを言葉にして、
0:06:02	説明していく必要があると。
0:06:05	いう説明をするというふうに考えております端的に四つというそのような形だと理解しております。以上です。
0:06:12	はい。
0:06:13	コサクです。それがわかるようにここまとめておかないと。
0:06:17	振り返りにならないと思うんですよね。なので今言われたので、終わってからもいいですからちゃんと文字に起こして展開してください。
0:06:28	で、それを言い換えると共通12の資料2の設計上の配慮とか、
0:06:34	ていうことうだと思うので、用語もそういうのを使っていきながらっていうことじゃないかなと思います。
0:06:40	その設計上の配慮にいくと、関係条文との関係っていうのも整理をすることになっているし、
0:06:47	その関係性、関係条文ということで、耐震の方で相対変位っていうのが出てくるでしょうし、
0:06:56	メンテナンスっていう意味では、安全機能を有する施設であったりと、
0:07:00	いったところの条文要求ということになるでしょうし、ということで、繋がってくるんだと思います。

0:07:08	その上で、
0:07:14	等開口部がなぜ必要なのかはその一つになると、その次の条文要件もそれとの関連でということになると思いますので、
0:07:25	整理をしていただき、その際の注意事項として②があって、
0:07:32	単純にそっちの要求っていうだけじゃなくて、何でその要求で開けなきゃいけないのかっていうのを、もう一段ちゃんと深掘りして本当にそうすべきなのかと。
0:07:42	いうことをちゃんと説明できるように検討していくことと、
0:07:46	ということだと思うので0には何も
0:07:50	耐震の相対変位だけじゃなくということ認識していただきたいんですけどよろしいですか。
0:07:58	はい日本原燃の石黒です。この②に関しましてははい。
0:08:03	議論の深さの程度として、コサクさんから、このレベル感の深さが必要だというふうにおっしゃっていただいたというふうに理解しておりますので、これだけを、にとどめて、議論するつもりではないという理解です。以上です。
0:08:18	はい、古作です。よろしくお願ひしますそれで言うとメンテナンスもちよつとせ、これから具体聞きながら、またレベル感を認識していただければいいのかなと思いますけど。
0:08:30	同様に、説明性を上げていただく必要があろうかと思ってます。
0:08:37	あと、①の方に戻りますけど、ラビリンスとはどういう構造趣旨なのかっていうメモでは、今日の議論はわからないと思うんですよね。
0:08:48	で、すこれはそのMOXとのコミュニケーションを取りっていうのがセットものになってようやく生きてくるような気はスルーので、MOXでの
0:08:59	設計方針の整理、或いは具体の設計の考え方と、
0:09:05	いうことを踏まえて
0:09:09	設計のあり方というのは改めて考えるということだと思ってますし、それは
0:09:15	フードの設計、
0:09:18	の考え方っていうのも、
0:09:21	その一部だと思ってますけど、よろしいですかね。
0:09:27	はい日本原電の石黒です。振り返りの前の議論で、まさに今おっしゃっていただいたことを話していただきましたので、も空での考えっていうのは、
0:09:40	我々と同じというような言い方を最初してしまいましたけれども

0:09:45	違いがあることを明確にした上で、基本的には同じ設計をすることが前提かなと思うんですけども、違う場合は、しっかりとまたご説明差し上げないといけないというふうに理解しています。以上です。はい。
0:09:56	今、追記いただいたところだと考え方を整理だと、モック数の整理を改めてするわけじゃないので、
0:10:02	MOXでの考え方を踏まえて整理にしといてもらえますか。
0:10:13	了解しました。今直っております。
0:10:23	細井。
0:10:29	はい。規制庁の田尻です。
0:10:32	ちなみに、スケジュールカーンは先ほど言われなかった気がするので一応改めてお願いします。
0:10:41	の下のイングロです。
0:10:48	来週の
0:10:51	木曜日ターゲットデー。
0:10:55	田尾だし、
0:10:57	できるようにしたいと思います。
0:11:00	ちょっとタイトかなと自分で思っはいるんですけども、まずはそこを目指していきたいと思います。
0:11:05	規制庁の館です。ハッタイトウであいつも木曜日にだして、
0:11:10	いつヒアリング。
0:11:13	木曜日に出してヒアリング、
0:11:15	例えばコサクです。
0:11:18	一応お盆休みはヒアリング機を入れないようにしていて18は入ってますけど、
0:11:25	という状況だとう。
0:11:28	アリマ18って結構埋まってるんじゃない。
0:11:34	天田。
0:11:36	進め方費やの。
0:11:40	それから10
0:11:41	進め方とあと教授に竜巻関係のやつがもともと入っているのが18ですね。
0:11:49	なるほど。それに乗せるってことですか。そうですね。はい。

0:12:02	はい、規制庁谷です。その場合、もともと急に出す予定だった竜巻の、他十分要件の整理等とかもあわせて出して合わせてのヒアリングですかね、それとも絞るって言うこと言ってましたっけ。
0:12:16	日本原電の石黒です。一旦今日いただいたことの方を整理しないとですね、前に進まないというふうに思いますので、本日の振り返りで、
0:12:27	いただいた中身をですね、しっかりとお出しすることに注力させていただきたいと思っております。以上です。
0:12:39	規制庁の田井ですけど、ちょっとすいません、さっき確認してくれたんですけど、整理するって言うのは保護対策する時にカラーかかわらず、竜巻関連の
0:12:49	今日の教授には8月1日の資料だと(1)から(5)のような話を整理して、考え方を示しますよかったですっけ。
0:13:02	もともと日本原電の石黒です。もともと、その次にやろうとしていたものというのは、
0:13:13	他条文のからの要求というのが今、我々、
0:13:17	必要性性のみをちょっと追求する形で、その思い厚く物をですね、書いてるというのが実態だと思っております、その辺もう少し、
0:13:29	網羅的な説明ができないかなといったところに挑戦することを考えていたんですけども、今まだちょっと具体的なアイデアがあるわけじゃないというのが実態ですので、
0:13:39	規制庁小阪です。
0:13:42	それで言うと、
0:13:44	共通中に整理前にやる必要がありますか。
0:13:49	共通12でしっかりやればそれでいいような気もしますけど。
0:13:53	遊技者でございます。はい。ちょっとスキームちょっと整理します。今、石黒さんが言った話で、
0:14:01	設計説明分類の設定のところのタスクでやっている、分類したところに入っている設備と、それぞれの条文の要求との関係の整理を今してますので、その中でも十分大枠の、
0:14:15	要求事項は、何が絡むかは見えますから、そこで共通的に橋渡しするまでの前提は整理できるかと思っておりますので、その、
0:14:24	RASSC等の関係も含めて全体整理をさせていただきます。
0:14:33	最初から言っているようにですね教授共通12の作業はしていただいて、

0:14:38	そこで論点になりそうなものっていうのを先出しで話をさせていただくということだと思うので、論点にならないようなものをわざわざ先出ってやる必要はないですから、
0:14:53	何かあれば、今日の話の踏まえた対応とあわせて提示いただければ、
0:15:00	いいかなと思います。
0:15:04	日本原燃石黒です。はい、了解しました。ありがとうございます。
0:15:12	成長のとりあえず振り返りカネダほか規制庁側から何かありますか。
0:15:21	藤。
0:15:22	規制庁の福谷です。
0:15:24	あと 20 分なので資料細かなところではね、ちょっといくつかだけ事実確認していいですかね。峰。
0:15:41	規制庁の谷です。全然聞こえますか。
0:15:45	日本原燃、聞こえております。どうぞご質問があれば、おっしゃっていただきたいと思います。
0:15:52	確認なんですけど 7 月の 27.5 で出てきたやつの資料を見てた時に、最初建屋とかが書かれていて、その中で
0:16:04	目のラビリンスの話等等、
0:16:08	東レBSの話等等、
0:16:12	扉の話とかが書かれていたと思うんですけど、
0:16:17	このアメニスっていうのは、まずあれこれフードの話ですかね。建屋って昔聞いている時はMOXはあるけれど、基本的に最初の場合建屋に浸入しないようになっていう話で聞いてきたところだと思うんですけどこのラビリンスっていうのはフードの話。
0:16:36	ページの右下 5 ページとかです。
0:16:49	青色の字で書いてあるやつ。
0:16:56	点検。
0:17:00	これはフードは、
0:17:05	こちらおっしゃるように風土になります。日本原燃首藤です。規制庁たですね 4 ページ 5 ページでDG建屋とかはそうかなと。他のやつも含めて全部不動の話ですかねラビリンスは。
0:17:19	この通り建屋に不足しているものを、なものは風洞を、
0:17:25	意識して書いたものになります。
0:17:27	規制庁土肥です。その時に、扉っていうのは何を指すんでしたっけ。

0:17:53	日本原燃の肥後です。竜巻防護対策設備内に入るときに、人の出入り等をする扉も存在しますので、
0:18:05	この扉を指して、
0:18:07	小久保大庭がついたときは、
0:18:13	規制庁館です。
0:18:16	照井ジンノは、
0:18:19	失礼しました建物に取りついている扉のことになります。失礼します
0:18:24	成長をタジリです。その場合に、プランとか支那人管理建屋とかのところでは扉の話を書いてないのは、扉があるところのさらに外側に対策設備があるか。
0:18:38	それとも非安重だから対象がないからどこですか、何か笹川かなくて、何か扉って、そもそも建屋の一部で今まで説明してきたのかなと思ってたんで、
0:19:03	日本原燃の石黒です。ここで扉と言及しているものは、竜巻防護を、
0:19:10	の機能を
0:19:15	を期待しているもののみ記載しているという、そういう整理になってございます。
0:19:20	規制庁のタジリだったらいいですけど、この扉っていうのは、今後、防護板とかナカマみたいに防護扉だって言ってくるのか、建屋の一部ですって言うのかというどっち側の人でしたっけ。
0:19:35	無限のイングリッドですけど、現状、建屋の一部という整理と考えております。以上です。そうですね。簡単にですね、状況はわかったんですけどその場合それは開口があるとも言わないんじゃないかなっていう気もするので、要は対策がどこに期待してるのかっていうところの整理だとは思んですけど状況はとりあえずわかったんで、
0:19:55	もう今後詰めるということはわかりました。
0:20:00	店長の谷です。
0:20:02	ちょっともう1点だけちょっと確認しておきたいんですけど、
0:20:05	ちょっと今日頭の方で、防護対策設備で全体を覆いますよっていう話をした中で、ちょっと勉強し忘れたんですけど、
0:20:14	正確に言うと防護対策設備と、例えば1面を建屋で終わってる場合はその建屋が、
0:20:22	飛来物を最近も期待できる場合は期待しますよっていう考え方だと思っているんですけど。
0:20:28	その場合に今回、

0:20:31	42 ページ 8 月 1 日の資料の方の 42 ページのところであるように、
0:20:38	要は衛藤。
0:20:40	防護対策、防護対象施設等の等の建屋の方で埋めて、ちゃんと期待できるもの以外の、今回のHatch香川ですかね、こういったものは、今後期待しないで説明していきますよっていうのが方針でよかったですかね。
0:20:54	はい。日本原燃の石黒です。おっしゃる通りでしないという形になります。
0:20:59	はい規制庁たりですなんて申請書上で強度が期待できて、竜巻の侵入を防止できるもの以外は期待しないということですねを返した後、建屋とかを期待するときなんですけど、今話したように、
0:21:12	ネットで 3 年困っていて、1 名、もう 1 年残ってとか建屋とかっていうのはわかりやすいんですけど、
0:21:18	建屋と防護対象の間に隙間が微妙にあってどうこうってやつは、その手前側のところのページで所々あったんですけど、
0:21:27	し、飛来物の進入角度とかも踏まえた上で、期待できるか期待できないかを整理しながら小口に説明しているでいいですかね。
0:21:43	規制庁田井です。例えば言うと別に 35 ページとか何でもいいんですけど、要は対策設備で一部負っていて 1 部分は、既存の建屋とかが、その一部、期待できるものに関しては、
0:21:56	そこんところを置きたいということですかね。
0:22:01	坂野元ニシウラです。
0:22:03	はい。期待できるものは、北井知、えっと期待できないと、といますか、隙間があるので今回はちょっと高く売れるような対策をしてるんですけども、期待できるものと期待的なものはしっかりと、
0:22:15	明示する形で示していきたいと思います。
0:22:19	今日あたりですねその時にちょっと、なぜ 35 ページ言ったかって 35 ページで何か角度の話がすごいのが書かれてるんですけど、
0:22:28	この進入角度みたいな話でまた何かしていくんですけど。
0:22:31	だけ見ると、追設することによって、
0:22:35	るんですけど、これはもともと入り得るもんだったものをついていうので角度を変えてるだけですかね。
0:22:42	日本原燃終了です。おっしゃる通り、ちょっとどういった角度で入るかっていうのを、ちょっと図面で見えていたものが載ってしの載せてしまっていて、入ることを前提に書いたものではありません。

0:22:56	蓋下に入りますので、この角度はもう議論対象にするつもりは全くございませんので、失礼します。
0:23:03	政調会長わかりました。あとすいません最後最後で言って申し訳ないけど、最後にもう1点だけ前回、進め方を非常に変え、46ページ開いていただいて、
0:23:13	今後竜巻防護対象施設、設備が居たシバンですね立場の下のところを布施フタミますよっていうふうに言っていて、
0:23:20	負担ことで田崎に対してはそれは大丈夫になると思いつつなんですけど、他のところで議員会こう開けてますよっていうための開口の話してる中で、こういったところLower人員開口が要らないっていう整理でしたっけ。
0:23:36	日本原燃の西浦です。こちらについてはアクセス数は必要だと思っております、これちょっと検討中なので、明示的なあかんですけれども、
0:23:47	人が出入りするための、
0:23:51	開講なのか、あったのか、ちょっとそれは考えていきたいというふうに考えております。以上です。わかりました。他のところも含めてなんですけど空いてるところを埋めますって言った時に上杉タナカにも入れなくなってた時に1件なんかたまに何か静的なものなんだよねってない。椎葉ちゃんとか言い出しそうかなと思って聞いただけなのでちゃんと。
0:24:09	保守性とかも考慮して対策考えるということで理解いたしました。
0:24:14	細かな話、今後詰めていこうと思っているので、とりあえずおつきなつて自分からは以上です。ほかに規制庁書きになってあればお願いいたします。
0:24:29	規制庁の谷です。なさそうであれば、最後の方は、個別個別のやつで大体理解はできたので、現在も何か気になる点があれば一応最後聞いておきますけど何かありますか。
0:24:41	質問の趣旨がよくわかんなかったとか、
0:24:50	あ、すいません日本原燃のイシイウエキイシイ
0:24:54	やる事というわけじゃないんですけれども、ちょっと一応ちょっと念のために、一つ動きがあるところだけちょっとお伝えしておきたくてですね、
0:25:03	昨日の資料の
0:25:07	50ページで、MOXとの比較をしているところにはなるんですけれども、そこで差異ありっていうふうに書いていて、機能的影響をおよぼし得る施設みたいなどころ製品たりあるんですけれども、
0:25:20	これについては、すいませんちょっと手違いで

0:25:25	解がなかったっていうのが確認できたんですけども、
0:25:29	ちょっと違う文言が入ってるものをちょっと映して来ここに記載させてしまったので、ここはちょっと差異がないという、理解いただきたいなというふうに思っております。ですので、訂正の連絡ですね動きの話は他もいっぱいありそうなのでいいんですけど、その際ありなしのところも今回の関野先清さんのやつの一つ目のところで、何か、
0:25:51	臭いありとか災害とかっていうんじゃなくて、設計の考え方とか、どういふふうに僕は検討しながらやったのかっていうところを踏まえた上で、比較しながらやってこられるというふうに認識しているので、とりあえず、
0:26:03	この場合によっては無理だったということで、まず理解をしたので本当にさえやれないっていうのは、検討した上で整理いただければと思います。
0:26:11	了解しましたこの表面上の文言でなくて、実際にどのような考え方してるのかっていうのはしっかりとキャッチアップして、議論できるようにしたいと思います。以上です。
0:26:24	規制庁横山です。それは全体通して規制庁側から何かありますでしょうか。
0:26:33	原燃の方から全体通して何か連絡事項等ありますでしょうか。
0:26:40	はい。日本原燃は特にございません。ありがとうございました。
0:26:45	規制規制庁コサクです。すいません。
0:26:49	来。
0:26:50	昨日、
0:26:53	私もさ、先ほども話したんですけど、
0:26:59	何を守りたいのかっていうのを明示してくれっていう話のときに、
0:27:03	今日のズーだとう何々施設とかって書いてあるん。
0:27:08	ですけど、本当に何の機能なのっていうところが、一つのレジューモニタリング設備ですっていうのを、建屋って言っちゃったと。
0:27:18	ということですけど、他にもいっぱいあるような気がしてですね、例えば 45 ページ。
0:27:25	開くと、これは遮へい設備って書いてあるので遮へい機能なんだなあと思うんですけど、
0:27:30	遮へい機能だとするとすると、
0:27:33	何が影響するのっていうのがよくわからなくて、
0:27:37	どういうことを考えて、どう守らなきゃと思ってるのかっていうのはもうちょっとちゃんと書いていただきたいんですけど、人シキイはされてます。

0:27:48	人間のイシグロです。
0:27:50	はいおっしゃる通り、機能によっては、竜巻の影響を受けにくい。
0:27:55	タイプの機能というのも当然あるかと思しますので、
0:28:00	何を守ろうとしてるのかっていうのが、重要な情報だとは思いますが。
0:28:04	今回ちょっと、はい。示させていただきました対象施設のところにつきましては、どのような機能かっていうのが議論できるように、提起させていただきたいと思えます。以上です。
0:28:16	はい、古作ですよろしくお願ひします。
0:28:19	先ほどの例えばの話とも関係するような気はするんですけど、44 ページ。
0:28:28	だと、
0:28:29	給油のための開口は必要ですと。
0:28:35	いうゴトウですけど、
0:28:39	給油って何ぞやというようなことだったり、それに応じて適切なものなのかと。
0:28:46	作業ができるのかっていう話をさせていただいて、
0:28:49	ここで補助防護版って出てくんですけど、これも登録設備になるってことなんですよね。
0:29:02	日本エヌイシグロです。現状ちょっといろんなことを考えている中での一つの案でありまして
0:29:11	ここを記載する。
0:29:13	この対策にするという場合においては、アポロ品
0:29:21	形になるというふうに思ひます。
0:29:24	はい。
0:29:24	そうなるだろうなと思ひんですけどそうだとしたときに、これただ差し込むだけみたいな感じになってて、
0:29:32	それで本当に説明になるのか。
0:29:35	計算できるのかっていうようなこと等は、
0:29:38	よく考えておいていただきたいと思ひます。
0:29:45	下のイシグロです。
0:29:48	はい。構造の再検討も含めて、はい。
0:29:52	しっかりと対応して参りたいと思ひます以上です。
0:29:59	はい。コサクでして、後からで申し訳ないですけどその前の 43 ページの、
0:30:07	柱脚部の隙間って、これは、

0:30:10	何で開いてて何、何で閉めてとかってというのは、これどういう意味ですか。
0:30:17	日本原燃の石黒です。こちらにつきましては中に、鋼材も、
0:30:24	あるような状況で、中に入りにくいかなということで、
0:30:30	妥協していたというのが実態なんですけれども、ただちょっとそこは
0:30:36	絶対入らないというのがこの言い切れるものではないというふうに、考え直したので、しっかり運営させていただくということを考えているというものでございます。
0:30:46	以上です。コサクですその意味だとその隙間をあけるといったと機能、レビューが甘くて、平面図、これは側面の平面図を見て、
0:30:58	AI、
0:30:59	隙間がないというようなことでやってしまったけど横から見たら空いてるじゃないかっていうことですか。
0:31:08	平たく言うと、はい日本のイシグロです。この通りですので、この場合は、中にあるものの機能がどうこうっていう問題ではないと思っておりますので、もう
0:31:19	力埋めさせていただくということだと思っております。
0:31:22	以上です。
0:31:23	古作です。それもなんですかねこの間隙がどれぐらいのものなのかにもよるっちゃよるんですけど、何も垂直に入ってくるわけじゃなくて、斜めに侵入してくることもあると。
0:31:37	ということですけど、斜めに入ってきたときに通過するのかしらないのか。
0:31:42	通過した場合に、機能に影響するようなところまで、行き得るか、ラビリンスの話ですけどっていうことなのかといったときに、通過しうる。
0:31:54	ラビリンス構造にたくない。
0:31:57	結果塞ぐっていう、
0:32:00	感じになってるんですけど、基本は塞ぐっていう方針が最初だから、まず塞いじゃうんですけどっていうことなのかなと思いますけど。
0:32:09	日本原燃石黒です。こちらは別に相対変位があるものでも、人体こうあるものでもなく、意図的にラビリンスにしないといけないっていうことではないので、
0:32:19	そう考えると、比較というのが、
0:32:23	素直な対応かなというふうに思っております、あまり悩まずにここはもうスタートという形をとりたいと思っております。
0:32:30	円規制庁コサクです。わかりました。

0:32:34	その前のページ行くとですね、この防護Hatchカバーというのが何ぞや ってというのがわからない。
0:32:40	で、
0:32:41	すよ。
0:32:45	日本原燃の石黒です。
0:32:47	こちらは、
0:32:48	ハッチカバーというものは、左タシロモリも竜巻強度不足っていうふうに 書いてますように、
0:32:55	この構造物自身の強度でもって竜巻を防ぐことができないにもかかわらず、
0:33:01	防護盤の中に入り込むような形をしていて、これを突き抜けて、飛来物 が飛んでくる恐れがあるということを、我々、
0:33:11	そのあとのレビューで、
0:33:13	見つけましたので、ここはしっかり対応が必要ということで、今回ちょっと 徳田させていただいたものになります。
0:33:21	はい、アノコサクです。
0:33:24	それはそうだ、どうなと思うんですけど、特異な形状させるということな ので、これが何物でここは移設することはできなくて、
0:33:35	こういう形状で防護盤を設置することになりますということまでわかるよ うにしていだけますか。
0:33:43	日本原燃石黒ですかしこまりました。
0:33:47	もう説明できるか。
0:33:50	共通 12 の段階で、整理しとけしておいていただければ結構ですので、 よ、その点で作業進めていただければと思います。
0:34:03	与儀の石村です。はい、了解しました。
0:34:08	41 ページに上がると。
0:34:11	より一層
0:34:15	どういう目的で何をしたいっていうものなんでしたっけっていうのがわか りになくなってくるので、整理をわかりやすくしていただいと。
0:34:26	いうところです。
0:34:28	40 ページGについては新設防護盤っていうののイメージがわかりにくい ので、
0:34:35	もうちょっとわかるように書いてください。

0:34:38	ということですけど、防護盤にぶら下げる形で穴ふさぎますみたいな感じだとすると、そもそも何でここ上げてたんでしたっけっていうのがわからないので、
0:34:50	その説明をっていうのも求めたと思うんですけど、ここはどういうことでしょうか。
0:34:56	日本原燃の石黒です。この場所につきましては、前々回の進め方ヒアリングでもお出しさしていただいたと思うんですけども、直接、
0:35:06	飛来物が、これだと、沢東になるんですけど、見当たらない。
0:35:13	ということで、当たらないというふうに思っていたので、開いていても問題ないというふうな、そういう判断をしていたという形になります。
0:35:23	はい、わかりました。コサクです。それで言うと先ほどの脚部と同じような感じで開けちゃってたってことですね。
0:35:29	その通りです。コサクですわかりました。
0:35:34	一応そういうところはそういうことでしたっけのがわかるようにしていただければ、当初何でやってたかっていうことで、塞ぐときに懸念事項があるのかないのかっていうこと。
0:35:45	判別つきますのでその点明確にしといてください。
0:35:51	人間のイングロです。了解しました。
0:35:53	規制庁コサクですそういったものが、それより前にもちよろちよろ隙間を埋めますみたいなのは、そういうようなことなんじゃないかなと思いますので、
0:36:04	まとめていただければ結構です。
0:36:07	36 ページ。
0:36:10	この例示がこれがいいのかちょっとわかんないんですけど、建物を、
0:36:17	端っこに突起物がある。
0:36:21	ものを見込むのか見込まないのかみたいなのは結局、どういうふうになって、
0:36:26	る。
0:36:27	んでしょ。
0:36:30	日本原燃の石黒でございます。こちらについては見込まないが、今のスタンスでございます。強度が足りてない、安住が足りてないので、竜巻防護としては期待できないものになりますので、
0:36:42	これはないものとして、アベを設計しています。
0:36:45	規制庁コサクです。
0:36:47	そうするとこの図今言われたのは、

0:36:51	抗生剤って書いてあるところで線引いてることの趣旨だと思うんですけど、
0:36:56	構成パイプっていう場合には見込みますみたいに書いてあるんですけどこれはどうするんですか。
0:37:04	日本原燃の首藤でございます。すいませんこのずーの
0:37:10	この線が、こんな招いてしまって大変恐縮ですお礼に、
0:37:16	これはもう今となって全く意味のないようでして、緑の右側に書いてますように、新設防護盤でふさぎますから、ここには隙間がないということなので、
0:37:26	これはちょっと防護版を付ける前の段階で、どういった侵入があり得るだろうかといったものを決算にしていたものをですね、ちょっとそのまま載せてしまったというのが実態なので、
0:37:37	そういう意味ではちょっと議論になるし、
0:37:40	すべきものでないっていうか議論に、
0:37:42	ムタでないものをちょっと載せてしまったということで、大変失礼しましたこれはもうまた、削除はする予定です。
0:37:49	規制庁コサクです。それで言うと
0:37:53	進入しえないのでけむってもいいですっていう場所はないってことですか。
0:38:03	はい日本原燃の仕事です。編入してしまえば、
0:38:08	跳ね返りとかいうことを考えることができなく、説明が難しいと思っますので、埋めるというのが我々の方針です。
0:38:24	規制庁コサクですものがなければ議論が必要ないということで、理解しました。
0:38:40	規制庁コサクです。先ほど扉の話で文言の精査ですねっていうようなことを言ったりしたんですけど、
0:38:48	次の断面ではそういったところを話をしていきたいなあと思っていて、なので
0:38:59	前回の別紙1ですか。
0:39:02	名前、
0:39:05	PCTだっけ、市田の表として、添付1、添付1ですね、表の形でエッセンスをまとめていただいて、
0:39:16	ここの部分でこういう表現が必要なんじゃないのかっていう話をしたいと。

0:39:22	いうところです。その時に、5 分類されてますけど、5 分類の中でも同じ表現にしなければいけないことっていうの多分にあって、
0:39:33	先ほどの配置上の考慮だったり
0:39:39	構造健全性の関係だったりっていうのは、同じ部分が多分にありますから、そこら辺も議論できるようにまとめといていただければと思ってますけど、認識できてますか。
0:39:56	日本原燃の石黒です。はい。同じ分類であったとしても、
0:40:02	公道で書き分ける必要があるものなんです。逆で、違う分類でも同じ設計ほの香設計上の配慮としてまとめなきゃいけない項目もあるので、
0:40:16	それぞれで違うことを言わないでちゃんと連携とってくださいねっていうことです。
0:40:23	ニノミヤニシウラです。理解しました。はい。整理するときには
0:40:30	その辺も西注意して説明できるようにしたいと思います。以上です。
0:40:38	以上です。
0:40:40	規制庁ヨコヤマセト他よろしいでしょうか。
0:40:46	それではこれで本日のヒアリングを終了します。録音を停止します。
0:00:01	はい。録音開始しました。
0:00:04	規制庁のタケダですそれではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:09	本日のヒアリングは令和年の 12 月に申請があった、再処理施設及び廃棄物管理施設の設工認申請について、資料を基に事実確認を行うものになります。
0:00:21	規制庁側本庁側の出席者の紹介をお願いします。
0:00:26	はい。規制庁会議室ですが、長谷川管理官古作調査官。
0:00:31	金キシノ
0:00:34	規制庁タケダです。ありがとうございます。続いてWEBからの出席者私タケダになります。
0:00:40	それでは日本原燃の方から出席者の紹介と、それぞれの役割、そして本日の説明範囲、達成目標について説明をお願いします。
0:00:49	はい。日本原燃のオガセでございます。日本原燃側の出席者についてまずご報告、お知らせいたします。日本原燃よりは本日、ケツクノモトオガセ。
0:00:59	あと九州電力よりアカシ様、東電設計より上野様、大林組よりイワサ三菱重工より佐藤さん。以上のC7、7 名が出席となっております。六ヶ

	所側の特に出席発言等の予定はございませんので原課は出席は以上です。
0:01:15	本日のご説明内容でございますけれども、8月2日に、本日提出させていただきました地震は干渉法による、岩盤部分の減衰定数検討の進捗状況についてということで、
0:01:29	本資料につきましては補足説明資料耐震建物082、いずれ加えていくべき内容ではありますけれども現在地震アカイシ法による減衰の検討をしている、今
0:01:42	途中でございますけれども今の検討状況について、その方向性をご報告すると。
0:01:48	ことが
0:01:52	規制庁コサクです。今言われた検討状況ということで、ヒアリングをセットしているのはその通りなんですけど、
0:02:03	先週、木曜日金曜日のヒアリングで、耐震の話も触れてますが、或いは、木曜日、面談も含めてですけど、
0:02:15	全般的に対象方針というか、どういうふうに取り組んでるんだと。
0:02:22	いう考えをまずちゃんと説明していただきたいと。はい。
0:02:26	いうことは、
0:02:28	先週だけじゃなくて、この2年間なり、ずっと申し上げてきたと。
0:02:33	いうことであって、
0:02:36	その中で、
0:02:38	特に今日お話いただく。
0:02:42	自身は、干渉法による検討というのが少し見えないところがあるということがあって、
0:02:50	31日提出資料では、
0:02:54	基本書かれていなかったところなので、それを具体ちゃんと説明するよ うにということで、ギョウシュ
0:03:01	資料提供です。
0:03:07	表付けですね、資料提示で、
0:03:10	まず、
0:03:13	その点だけ、今日はお話を聞いた上で、31日の資料については、7日 のヒアリング
0:03:21	ということにしてますけど、先週の話のときに、
0:03:26	結果だけではなくて、ちゃんとその今申し上げた方針をしっかりと説明を しその上で、それぞれの状況がわかるように、

0:03:35	説明してくれと。
0:03:36	いうことを申し上げたつもりです。
0:03:39	金曜日の進め方のヒアリングでは、決得チームリーダーからも、検討状況、
0:03:48	今週説明したいと。
0:03:50	いうことが話があったわけで、
0:03:53	その時に 31 日の資料の中で書かれるんですねと。
0:03:57	いうふうに私お聞きした。
0:04:00	ように考えていてですねその時 7 日木曜日なのかちょっと記憶が曖昧なんですけど、
0:04:05	下にもかかわらず、31 の資料では何も書いていない。
0:04:10	今日提出の資料でも、中央地盤についての結果を示しますと、
0:04:15	はい。
0:04:17	いうことで、
0:04:18	一番その話をしなきゃいけないねということで先週話をした。
0:04:23	東西の地盤についての検討状況。
0:04:27	或いは検討方針ということが説明するものになっていないっていうのは甚だ対応として疑問です。
0:04:37	これまでヒアリングをするときに資料は不適でも、状況を説明してくれば、ヒアリングをするということを確かに申し上げた。
0:04:45	ところはありますけど、
0:04:47	それはそちらの資料が余りにもひどい。
0:04:50	で、待っててもしょうがないから、漸移で聞いてあげてるという状況であって、
0:04:57	それに甘えられたのでは、一向にその審査を効率的に進めるということには全くなりません。
0:05:03	いうことでコミュニケーションの改善にもならないので、
0:05:07	ヶ年方針というのをしっかりと説明すると。
0:05:11	いうことは
0:05:13	まず最初にやるべきことということで、認識を改めていただきたい。
0:05:18	いうふうに思います。
0:05:22	もうそれ、そうしていただかないとですね審査会合も、
0:05:28	低頻度高品とか、高頻度でやっていくというのも、審査プロセスの改善の一つとして、原燃版だけじゃなくてですね、

0:05:39	主に実用炉のところから改善の議論としてあって、それは
0:05:47	ボタンのかけ違いで時間を
0:05:50	上に使ってしまうと。
0:05:51	いうことはお互いに不毛なので、何をやっているのかっていうのは、
0:05:57	明確にして、認識のずれがあればそこで是正をする、こちらの考えというのきちんと伝えると。
0:06:04	いう場をしっかりと公開で持ちましょうということでやっていることであつて、
0:06:09	原燃に対してはそれを率先してやってい。
0:06:13	そのために月1なり、カクウ月なりということでこれまでやっていて、
0:06:19	それ、その時にそちらがちゃんと方針を示していただかないと、こちらとしても言うものが言えなくなっちゃうんですよ。
0:06:27	なので、
0:06:29	結果結果ではなくて、何をやってるのか。
0:06:33	どうしていきたいのかと。
0:06:35	どういうつもりで、今何をやってるのかっていうようなことを述べていくという姿勢に改めていただければというふうに思います。
0:06:44	その点現状なんで結果を示すっていう資料のつくり、
0:06:50	固執してるのかっていうことで何か弁明があればお聞きしますが、いかがですか。
0:06:56	日本原燃能登でございます。今回すいませんコミュニケーション不足と申しますかコミュニケーションを私の方からかなりちょっと間違っちゃちょっと最初言い方をしたというのもありまして、いろいろご迷惑をおかけ
0:07:10	いたしました申し訳ございません。ですね、今お話のありました、なぜ中央地盤での結果だけの資料になってるのかという点でございますけれども、
0:07:20	これについてもう弁明では全然ないんですけれどもなぜこういう形を出すこと性という我々が考えていたことなんですけれども、今回ですね応急基盤の検討を先行させて、
0:07:34	行ってですね西ヒガシを追っかけてやっている、今そういう作業の状況でございます。中央地盤でのデータ整備をですねまずちょっとお示しいたしまして、
0:07:44	同じようなデータの整理の仕方を東西についてもやっていくといったようなちょっとご説明をできたらいいかなというふうに思ひましてちょっと資料の中では東西について今後ちょっと

0:07:56	悩みながらちょっとやっているとございませけれども、それをちょっとどうしていくかというような記載がない、なかったというのはちょっと我々の足らずといえますか。
0:08:08	認識違いであったというふうには思っております。ちょっとそういうところで社からのものであったことは申し訳なかったと思います。以上でございます。
0:08:19	規制庁コサクですけど、
0:08:25	先ほども申し上げましたが、
0:08:28	中央地盤のものを示したら東西のものを、が示されるなんてことは全くないわけですよ。
0:08:34	そういう宣言もないし、
0:08:37	その時点では書類づくりとして根本的に何か勘違いされているという気がします。
0:08:44	そもそももう、
0:08:48	中央地盤では、何となくまとめりそうだけど、東西、同じようにやったのでは、無理そうだということがあるというふうにも、
0:08:57	これまでお聞きしてますから、そうだとすると、
0:09:00	中央地盤を示しているの、それを踏まえてどうだよっていうのではそもそもないわけですよ。
0:09:07	なので、そこでその、
0:09:09	うまくいってないところが何でどうしてこうかと思ってるのかということをお話をするのに、
0:09:15	単純に中央地盤を示しましたっていうのは、
0:09:19	そもそもが論点が抜けるじゃないですか。おっしゃる通りでございます。
0:09:24	なので、何でそういうことを議論しようと思うヒアリングにおいて、資料としてちゃんと示してこないのかというのは、
0:09:33	先ほど言ったように口頭でっていうことに甘えてるとしか思えないということですから、ちゃんと書類で、立場を明確にしていきたい。
0:09:44	います。
0:09:45	で、ただその個別具体をですね細かに入れ込まなきゃいけないということでもなくてですね、まずは方針なり、方法ということを、
0:09:55	それなりに書いていただければ論点を明確になるわけで、
0:09:59	それぐらいはですね、一両日でも書けるはずなんですよ。
0:10:03	その努力をしていないということなので、ヒアリングに値しない対応の仕方なんじゃないかなというふうに思わざるをえない。

0:10:13	いうところなので、これ、改めてもらわないと、次の会合とか、或いはそれまでのヒアリング、その後のヒアリングというの、対応を変えなきゃいけないってきちゃうんで、
0:10:24	その点よく考えて、資料提示をしていただき、
0:10:31	それで言うんですけどね、その一両日出かけるという程度のものについては、しっかりとし、技術的知見を持った方々が議論をして、書き込むと。
0:10:42	いうことをすればよくて、今日も先行しての事例で、知見を持たれている旧出野アカシさんも来ていただいていますし、
0:10:53	これまでの地盤の検討されている東電設計、
0:10:57	いらっしゃるわけで、
0:10:59	そういった方々はしっかりと
0:11:02	議論すればですね、直接の技術的知見をノモトさん思っていないのかもしれないんですけど、
0:11:09	協力して作業すればできるはずであって、
0:11:13	なんでその作業しないっていう気がしてるんですけど、その辺りアカシさんはどう思われてます。
0:11:19	はい。九州電力の明石でございます。
0:11:22	まず何でしなかったかっていうのはまずちょっと私の方は母体の方の審査でバタバタしてたところもあってすみません。特にちょっとこの紙が今日に向けた資料の仕上げは、
0:11:35	先週末から50年にかけてやってたんですけども、そこをずっとし、私ヒアリング対応等にはまっていたもので、見えなかったと。ただしこれも割れながらの反省なんですけども、昨日ちょっとこれでという、
0:11:47	データを夜いただいているながら、いや、ちょっと待ってちょっと待って、何でこうなってるのかっていう過程がわからないやっぱりそこを説明しなきゃいけないそこを悩んだからこそこうなんていう、
0:11:58	だったら、東西はどうすんのってそういう展開の説明の仕方をしなきゃいけないというところ気づき事項がありますよだからもう、すみませんヒアリングの使い方としては、
0:12:10	申し訳ない使い方ですけども、口頭でもいいから、こういうところ苦しんだ結果こうなってる。
0:12:15	で、今後の行く末はこういうふうになっていくであろう、こうしたいということと、ヒガシニシノ展開はこうなるとこういうことを、やっぱりしゃべるべきだろうということをおすいません、昨日の晩、

0:12:26	時間 2 時間ぐらいかけてちょっとぱぱっと描いて共有はしたところでそもそもそれをもっと二、三日前の段階でやって、紙に落とすべきであったところ、昨日の夜に、そんなことをやってたというのをちょっと反省する。
0:12:40	ところでございます。ただし、そういう議論を申し上げる意識はありますし、そういうデータがこっちに飛んできて、こっちは返さなきゃというやりとりは确实确实ってのは遅くなってますけど、やってるつもりですので、
0:12:53	それをもっと前、前捌き
0:12:56	米前前向きじゃない、前もってやっていて、おっしゃる通り、口じゃなくて紙に落として、データだけでもいいからお話できるように整えるということを改めて、今後やりたいと思います。申し訳ございません。
0:13:09	はい。補足です。よろしくお願いします。
0:13:12	午前中もですね、竜巻の関係でのヒアリングでお話したんですけど、その前のヒアリングでMOXでの整理状況を踏まえて、
0:13:21	考えて持ってこいという話をしたところ、
0:13:24	MOX等、最初に比較して違いませんと言って持ってきたわけですよ。違いがあるからこちらは考えて整理をするようにと言ったのに、
0:13:32	アノ間検討を放棄して持ってこられたので、
0:13:38	何でこうなってるんだと聞いたところ、結局は形式的にレビューだと言って、書類をボックスにぶん投げたと。
0:13:44	まともに話もせずに、
0:13:47	差異がないっていうのでいいですよというのでいいですって聞きましたっていう、相変わらずの元の対応をとっていた。
0:13:53	で、体育館で集まっ
0:13:57	ことを改め、
0:13:58	で、今明石さん言っていたように、
0:14:02	家、
0:14:03	書類のなんて結果で、レビューとかじゃなくて、
0:14:08	最初の段階計画の段階からどういうものを作るべきなのか。
0:14:12	ということを、書類づくりでやるべきかと。
0:14:16	いう入口の段階でちゃんと地権者と議論して、適切なものでの作業をしていく。
0:14:22	いうことが大事なんだろうと。こういうなことも 2 年以上ずっと言い続けたんですけど、
0:14:27	やる必要があるということであって、この地盤の関係であれば、一番中心のアカシさんの知見をしっかりと取り込む。

0:14:36	ことだと思しますので、その点で赤井さんの方が9電の方でも忙しいと。
0:14:41	ありますけど、タイミングは逃さ、
0:14:45	そのときに、なるべくそのアカシさん、
0:14:48	労力をかけないようなやり方っていうのは考えた方がいいと思えますけど、タイミング逃してしまうという意味がなく、
0:14:57	もしくは
0:15:01	とりあえず、
0:15:03	私から書類としての関係を今、
0:15:08	けど、
0:15:10	その
0:15:11	簡単に、
0:15:14	そうだね。
0:15:16	規制庁の長谷川ですけど。
0:15:18	今日提出があった資料は、
0:15:21	昨日の夕方に一度あって、
0:15:25	何かもう1回ちゃんとやった方がいいというか、
0:15:30	色おかしいとかっていう形で言ったんだよね。はい。
0:15:37	うん。20、
0:15:40	的に、
0:15:41	そこで思ったのは、実は単なるいろんな問題ではない。
0:15:46	だよ。うん。技術的にその結果をどう見たのかっていうところが、を考えていったときに、
0:15:57	何で我々はその色にこだわったというかその色がおかしい、おかしいんじゃないの。うん。いうことに気が付いたか。うん。
0:16:06	ていうところをちゃんと考えてもらえたかどうか。はい。
0:16:11	ていうのが重要で、
0:16:14	さらに、だからそういうところから考えると、資料は我々に出したものの、技術的に中身をちゃんと見てないんじゃないかと。
0:16:24	うん。見たら気づくよねと。
0:16:27	ていうふうに思ったんですよ。
0:16:31	その辺はどうなんですか。
0:16:33	日本原燃野本でございます。藤宇佐昨日、ご指摘いただいた色の違いのところなんですけれども、これ確かにおっしゃった

0:16:45	いただいた通り、えっとですね、このリニアとバイリニアと言って、この色使いの、この色、
0:16:55	使いが再現解析の比較の色使いのものちょっと異なっていた事実でございませう。でですねこれ何でそういうことになったかといいますと、もとの資料の方で、
0:17:07	もうその再現解析での色遣いと、このそれぞれの手法での重ね書きをしたものの色遣いが異なっておりました。で、
0:17:17	何のことかなというのちょっと見ていただかないとあれなんですけども、
0:17:21	今違うというふうにおっしゃっていただきましたのが、
0:17:26	そんなところ直す。
0:17:28	赤と青の、比較のところとこれとが違うということでしたんだと思ってんですけども、床の色とかですね、実は何に合っていたかといいますと、
0:17:39	再現解析の、このですねそれぞれ手法の比較のところと色合わせてしまっていたということでございませう。もともとここここを合わせるべきであったのがもともとここで、
0:17:50	違っておったと。何で違っているのに気がつかなかったかというのは、前を読んで後見て倍音で後ろ見てやってますんで、その時に、これとこれを見比べるっていうことをすいませんちょっとそこを、
0:18:01	怠っていたというのが、現状ではございませう。合わせるべきだったというのはもう本当にその通りでございましてちょっと気をつけて、
0:18:09	規制庁の芳賀ですけど、
0:18:11	だからちゃんと見てないんじゃないかと。
0:18:14	要するに、考察なり、それを見て、見比べるっていうことは、色を見比べてるわけではないんだよね。
0:18:23	ということで、黄砂なんか見たことは見たんだろうけど、技術的な考察に深みはないんじゃないかと。うん。
0:18:33	というのが、ちょっとつけて見えてるのかなあと。
0:18:37	ていうふうに思ったんだけど、どうなんです。おっしゃる通りですねこのデータの意味合いをちょっとなめるように見れば、あれって、おそらくなるはずのところを、
0:18:49	形式デッキといいますか資料の本文と図の整合だけを見ているのだと傷がつくんじゃないということもあります。今おっしゃっていただいた時にフタミがないんじゃないかという、おっしゃるのは、

0:19:01	私のレビューが深まらないっていうのはおっしゃる通りだなというふうには思っております。
0:19:06	規制庁の長谷川ですけど、それは野本さんの考察の見方に深みがあるわけじゃなくて誰かしらが、結果を技術的見地から、
0:19:16	見てるといふふうにすると、その時点で気づくんだよ。うん。じゃないかと。はい。
0:19:25	だから技術的に見た人が本当の意味で技術的に見たのかっていう。うん。
0:19:33	の西。
0:19:38	はい。
0:19:39	ええよ。
0:19:42	申し上げますことある方、日本原燃の大橋でございます長谷川谷川がおっしゃったことは次回認識はします何を問題、どう思っているのかというところは理解します。結局、
0:19:53	我々今回減衰定数複数の手法で出しましたが、結局その減衰定数の上下関係、どっちが上に行ってどの周期で下に行っていて、みたいなところを踏まえてシミュレーションを横目で見てみると、それと整合的とかかそういう観点の考察をするのであれば、
0:20:07	おのずと色ってのは当然合ってくるはずだし、それは作る時があのでデータを見て観察して考察してそれが資料として起こすってなると、必ず一貫したようになるはずだというのはおっしゃる通りです。で、
0:20:19	これはちょっと若干言い訳になってしまうんですが、ちょっと資料を作るときに、最初すいません、点線と実線とかいうふうになんて書いておまして、それでちょっとその辺の観点では同じ線のもので、考察とか深めていて、管理官がおっしゃるようにちゃんと横並びを見たような考察ができてないんじゃないかというところはなく、
0:20:35	きちんと考察をしていたつもりでございます。ただすいませんコサクのときに最後に色をつける場所私の方でのお話なんですけれども、ちょっと色を逆につけてしまったということがございまして、そして考察の事前のところについて、そういった観点を全く抜け落ちたままでやったというわけではないというのが実情。
0:20:51	はい。なのでございました。はい。すいません。
0:20:53	規制庁の長谷川ですけど。
0:20:56	原燃の中では正しくちゃんとやりました。うん。でも我々に見せる時にはいい加減な資料に確保しましたっていうそういう説明。

0:21:05	いやだったらもう見ないですよ。
0:21:08	ていうことなんだよね。
0:21:10	いや、我々に、余分な手間も含めて、こうね、こっちの機能だって、まず第一番に我々はそういう見方をしたときに、
0:21:22	あそこは量でおかしいな。
0:21:25	おかしいんじゃないのって。
0:21:27	なるわけです。
0:21:30	だから、
0:21:31	そういう配慮はない。はい。それはあえてやってるんですか。いえ。とんでもないです。
0:21:38	日本原燃の決得でございます。先ほどコサクさんの言われたことと繰り返しになるんですけども、やはり我々ですね少し
0:21:48	説明責任と、相手にわかってもらうというところですね、非常にちょっとできてなかった部分、甘えてたというか、取りとりあえずなんか出してあと口頭で補足すれば、
0:21:59	進んでいこうというのがあったというのは、イワマないと思ってます。ですからこういう資料が元に出てしまって、余計な煩わしさを怒っ、
0:22:10	なってると思ってます。決してそれが正のはずはなくでですね、やはり我々のした検討先ほど結果だけといったところもそうですけども、そのプロセスから、きっちり書いて、
0:22:22	出さないとですね当然理解が進みませんので、水村さんとで前になってですね、余計進捗が遅くなるといったところに立ち返ってですねやはり我々の説明したいことは何か、その結果だけでなくどう考えたのか。
0:22:36	も含めて、やっていけばですね、このような色のおかしな点なんかも、ちゃんと気がつくはずですので、その辺のところ非常に十分でなかったということに改めて前から、そうだと、ご指摘の通りだと思いますので、
0:22:49	今一度ですね関係者、Steeringメンバー、もう一度そこに立ち返ってですね、今日のMOXのところもちょっと私が聞いていくとその共通事業につなげるヒアリングという、
0:23:00	定例でスタートしてるにもかかわらず我々のやったことを説明するだけになっていて、どう共通中に繋がって、ゴールを目指してやってるかどうかが、どういったところちょっと食い違いがあったと。
0:23:10	いう認識に立っておりますのでそういうところが非常に我々の方の説明が不十分であるという点、再度認識しまして、

0:23:20	今一度Steeringメンバー、それだけでなく関係する資料作る人間、Dがそういうところに立ち返るように努力して参りますちょっと不十分な点は、今後改めさせていただきます。
0:23:32	また、資料も出すタイミングとかもですね資料名だけ書いて、何を示すものか書かないと、こういう、先ほどの一番最初の表の31日入れていないというような、
0:23:44	ミスコミュニケーションの我々説明が不十分な点が出ますので、それはもう今週の金曜日にする進め方ヒアリングですね、資料名だけじゃなくて何を説明する資料だといったところがわかるような工夫ですね、三角コミュニケーションが起これないところを一步一步、やっていきたいと思えます。
0:24:00	以上でございます。
0:24:02	規制庁のハセガワですけど、奇麗事ばかり。
0:24:06	てるんだと思うんだけど、昨日我々ガイドの何かおかしくてちゃんと見てるんですかって言うて、今は結構ね、
0:24:15	うん。
0:24:17	この、今日出た来たやつだって、とっても見にくいんですよ。
0:24:22	そういうことに気づいてないんだよね。昨日はいろんな話だけしたんだけど、いろんな他にまだあるんだよね。
0:24:29	それは気づいてます。
0:24:31	気づいておりません。もう正直申し上げます。
0:24:35	この見てるわけない炉だけ言ったんですけど、もう一つ致命的なやつがあって、とっても見にくいんですよ。うん。
0:24:44	これはね、誰がちゃんと見たの。
0:24:48	作ったひとうなり作ってね、これ、どういうプロセスんなってるかがよくわかんない。だから少なくとも我々が、
0:24:58	まずそこれ見てみようってところの見方は、原燃はしてないんじゃないかと。
0:25:06	うん。
0:25:07	思う。
0:25:09	ね。
0:25:09	はい。はい。我々何を見たかっていうと、少なくともこの間のね、応答スペクトルというかねシミュレーションのフィッティングぐらい。
0:25:20	ていうことだよ。はい。これが多分、
0:25:23	結構重要で、

0:25:25	今回少なくとも、ある地震観測記録というのが持っていて、これは実地盤を、
0:25:33	ある程度のところで、はい。
0:25:38	で、実際に、実際のものだよねというふうに、
0:25:42	見たときに、
0:25:44	それに今度は、様々なパラメーターを、
0:25:49	入れて再現性を見ていくというところで、今後、このデータが、特に減衰のところっていうのがうまく定まって、
0:25:59	ないんだよね。
0:26:01	そして今日のデータも、
0:26:03	あれすると、どの周波数代が、
0:26:07	どう違っているのかとかっていうのを見るんじゃないの。
0:26:12	少なくとも、
0:26:15	こいつとこいつを、はい。
0:26:18	どこがどう合ってる。
0:26:20	とか、この辺りは、三木伊井氏、このあたりは一律的に楽になってるから、もう要はね、波の出っこみ引っ込みはそんなに悪くないけど、
0:26:31	一律に、ある種、ずれているとそうするとこれはもう減衰の影響的なもので、上げたり下げたりすると、うまくフィット。
0:26:41	できそうだとかっていうのがあるじゃないですか。うん。そういう見方をしたんですか。
0:26:48	誰かがしたんですか。
0:26:53	ですね。
0:26:55	このDた、すいません、ちょっとこの、逆に言えば、イエスワノーで
0:27:03	投票はスウタイゴトウにどういうふうなフィティング度合いかというのを見たのかというご質問に対してはそれはイエスです。それは、はい。
0:27:14	イエスだとしたら、はい。こっちは秒で書いてあって、
0:27:18	両方で軸とって、こっちはさ、ね、周波数なんだよね。はい。
0:27:23	根井みんな多分いいね。いえ、おっしゃる通りですねそういう周波数体に対する、データのご提示が今これ抜けているんです。昨日見たときに、議論を周波数も違うからさ。はい。
0:27:36	ね。頭使うのよ。うん。頭でね、頭悪いからさ。
0:27:41	難しいのよ。
0:27:43	裏返してみるかとかって、さあ、

0:27:50	はい、申し訳ありません。
0:27:51	さる時使うと裏返してみると雰囲気は出るのかとかさ。
0:27:56	そんな感じ。いやだからそういう意味でね。
0:28:00	ちゃんと見たのかな。はい。
0:28:02	ていうのが、
0:28:05	ちゃんと見てないんだったらそんな人と話できない。
0:28:09	ちゃんと自分たちで見てからだまた丸投げって、うん。
0:28:16	皆さんは何をしたいのかっていう、今何をやってるのかっていうのを、
0:28:22	江藤小、
0:28:24	全然重要なところがルー切り抜けちゃってるんじゃないのと、減衰は減衰で終わって、何か色おかしいぞってあって気づいていろんな押ししましたってやっただけじゃない。
0:28:39	いやだからそんなやり方をしたら非効率も何もね、ソウノ効率を語る以前なのよ。
0:28:46	今ちゃんと科学的技術的な立場で一つ一つ丁寧にやっていきたいと思いますという、そういうふうに、原燃は舵を切ったと思ったんだけど、
0:28:58	相変わらず違ってるんじゃないかっていう、そういうふうには勘ぐりたくなるんですけど、はい。
0:29:07	はい。ご懸念はおっしゃる通りだと思います。今ご指摘があったようなその周波数に対しての、この依存性のそういう分析をですね、もしもこの前段に入れていたならば、こちらとの整合の観点でこの色の違いなんかすぐワダはず
0:29:24	っていうのはもうその通りだというふうに思います。で、そのデータがないところの、分析Dたのですね意味合いというのが、語り切れないといえますか議論が、
0:29:37	できないよねとおっしゃるのは、今、すいませんちょっと
0:29:41	認識がちょっと足りなかったんですけどもおっしゃる通りだというふうには思います。でもさっきさ、いろんなね、認識をしまして説明受けたけど、はい。した。
0:29:55	したとしたらよっぽど頭いいよね。
0:30:00	だからそうそういうね、どの区間が、ね、いいとか悪いとか、もともとデータだってこれね、外挿してみたりいろんなことですね、やってるわけだから、信頼性のある部分とそうじゃない部分っていうのは、

0:30:16	こんなにたくさんあるわけですね。はい。そういう中で、そのフィッティングとの兼ね合いでね、こうね、どの区間が、は、そこそこいいとか悪いとかって、
0:30:28	そうやってミナミていくんじゃないんですか。はい。
0:30:31	そういうわからないところがあるんでね、おっしゃる通りで推定で言うてるんだけど、そういう見方をし、
0:30:39	技術的にしない。
0:30:41	おっしゃるそういう見方をもちろんすべきでありまして今このグラフがですね途中はすみません、九州電力の明石でございます。当庫そもそもこの検討は、当社九州電力でやったことを踏まえて、
0:30:56	原燃の方でも取り組んですることで、その結果に至る前にどんなことをやってそれをどう見方をやってってまさにさっき彼がおっしゃってた、技術的に誰がどう見るのってこれはもう実に私が見るべきところであったと。
0:31:09	いうふうに認識をしております。ただ、先ほど申し上げた通りちょっとバタバタしてたところもありましてすみません。先ほど野本さんはこの周波数で音スペクトル法と照らし合わせてみましたと。
0:31:22	言っていましたけど、すみません私は見れておりません。ただ、九州電力の検討の中で、この減衰の検討結果、これを踏まえて、応答スペクトルから要は最後の要の地震観測事実とのフィッティングはどうなるのかと。
0:31:35	いうところに結びつけゲームだからこういう見方をしなきゃいけないということであったり、まさに当社九州電力の審査の中で、例えば減衰ではないですけども、伝達関数は周波数で表示してて、
0:31:48	応答スペクトル量で表示してて、それをひっくり返して流れない間でそれを余りにも分析がしにくいでしょうみたいな話もあって、そういう経験値は当然私は持つてる。
0:31:58	はずなんですけどすみませんが、そういう指摘まで至り至っておりませんで、なんでそんなことになってたかといいますと、そもそも私の原燃さんへのお願いというか指示も、
0:32:10	間違ってたなとか相変わらず間違ってるなと反省してますけども、今日ヒアリングがあるっていうふうにお聞きしました。で、資料を整えて資料が整ったらくださいとコメントしますからと。
0:32:22	いう言い方をしてました。もうそれが間違ってたなと思います。もう、資料を作り始める段階で、こんな話しなきゃいけないよね。だったらこんなパーツこんなパーツでこんな説明をしなきゃいけないからこのパーツは、

0:32:34	こうしなきゃいけないよねっていうようなことを、まずスタートやっぱ話をしなきゃいけなかったと。
0:32:40	いうふうに思ってます。そこは、すいません私1人が責任をつもりがあるわけではないですけどもでも、技術論として、私はそこ責任を一部持たなきゃいけないと。
0:32:50	何より多分、この地震アカン処分も含めて原水一番知識、経験があるの私だと思ってますので、
0:32:58	ちょっと戦争の責任は多分にあったと思ってます。そのでき上がったのをコメントするからという姿勢では、支援になりませんのでそこはちょっとすいません改めて反省の上、
0:33:09	入口の理由は、いいですよ。規制庁の浅香ですけど。だから、そこ素直にできてないで、やらなかったことがわかってれば、それ直しよくなってよくてもう1個さっき、
0:33:21	大橋さんが何か説明したのは、ウダとするとあれは一体何だ。
0:33:27	大賀さんの説明
0:33:29	あの表はずで、確認していろいろさっき説明1回しか発言してないからさ。
0:33:37	わかりやすいんだけど、
0:33:40	なすいません。何だったのかって、おっしゃってるちょっと移動。私今副会長入ってない。はい。
0:33:47	ていうことを明らかにしてるわけですね。その中で、大橋さんは、ちゃんと分析ね、ちゃんと見ました的なね、説明をしたんだけど、だからあれは何だったんだって。
0:33:58	だから。そうですね。僕いろんなことが素直になれないと。
0:34:04	この問題は解決できないんですよ。はい。
0:34:09	ちょっと、九州電力の明石でございます多分、この資料にある結果をくれって、私に言う、そのベースとして、大橋君以下担当で、3から検討してるところが、
0:34:23	あるというふうに認識してますんでお母さんのパソコンだけ手元にはパーッとありますので、規制庁の長谷川ですけど、資料もたくさんあるんだよ。
0:34:34	ね、それ相撲わかってるんだけど、その資料を適切にちゃんと見てるのかっていうことなんだけど、適切に見てたら、大体、
0:34:44	ね、その資料を適切に見れる人であれば、
0:34:48	気づくんだよ。

0:34:50	これが技術者なんだよね。
0:34:53	技術的に見ればね、どうしたってこうやってやった時に見にくくなんでもう向こうね瞬間的になってなるんだよね、何かを。
0:35:04	てさんなんてさしょうがねえからさ、まず雰囲気的にこう見るかみたい に、
0:35:09	なってくるわけだよね。
0:35:13	いや、だから見なれてる人はそんなもんじゃないですか。じゃない。
0:35:19	おっしゃる通り、
0:35:21	当然過去にもあったわけで、だとすると、
0:35:26	長く誰が何を見て、結局誰がこのね、
0:35:30	説明なりが、何か僕らはね。ええとね、今日ん給電そうだし、当然設計 大林に来て来てもらってるんだけど、
0:35:39	説明できる人が説明していただければいいですよっていうスタンスなん だよね。
0:35:47	だからそういうところで、何か中途半端な説明を受けたくないんですよ。 それが無駄なんだよね。
0:35:55	だからそういうところもうはっきりして、はい。
0:35:58	根井さんから自信を持ってちゃんと、うん。
0:36:01	見てばれる。
0:36:05	でつけて見えたりするんでそそれは我々との信頼関係は、それでい一 方向に進むとはやっぱ思えない。
0:36:14	今日一番議論したいところが、
0:36:17	何がそこだったんじゃないですかっていうことなんだよね。
0:36:23	はい。そういう意味で一番議論したいところの一番大切なデータがね、 ものすごく見にくくてね。
0:36:32	もう最初わざとやったんじゃないかと思った。
0:36:38	たまには何か困らせてやろうぐらい家々
0:36:42	ね。
0:36:48	もういずれにしろ、もうこれ以上言ってもしょうがないから、次から、こう いうところ、要するに、
0:36:55	色が問題とかそういうことではないんだよね。ちゃんと見たかどうか見み たものを、じゃないと、我々レートを確認できないじゃないですか。
0:37:05	そうすると時間の無駄だから、もうしませんよ。はい。
0:37:09	ということ。

0:37:13	で、
0:37:15	その話が一旦終わって、さっき言ったところで、中央のやつは出てきてるけど、当座はまだこれからなんですと言って、この間の計画、
0:37:27	語られた計画通りにすでに行っていない。
0:37:34	次回の会合がある程度こうセット、このぐら이다よねという見通しを立てて、こうやっていきたいけどすでにそれ破綻してる。
0:37:45	衛藤。
0:37:48	果たしているのかっていう、そこというそうですねはい。はい。
0:37:52	えっとですね、1週間で、
0:37:55	今の現状を包み隠さず申し上げますと、今の中央の手ではこれ最後のデータのようなこういう顔つき出ておりますんで、当座につきましても、
0:38:08	同様の分析は今進めておまして、この強ほどのですねこの信頼所管で高周波数やじゃないすみません、周波数体として、
0:38:21	広川取れないんだけれども、なかなか新らしいの取れる区間というのが、ちょっと狭くなるといいますか離散的になるかなというふうなところであるんだけれども、
0:38:31	だけれどもこの数字としては、今の検討を支持するような結果がどうも出るのではなからうかと、思いながら今ちょっとデータの
0:38:44	分析を進めているところでございます。規制庁の長谷川ですけど、結局わからない。
0:38:52	そうですね。今、
0:38:54	これですという形で、私どもとしては規制庁さんに、ファイナルアンサーとしてお示しできるデータとしては今まだちょっと持ち合わせていないというところでございます。
0:39:05	見通しもわからないっていう見通しとしてはちょっと非常に離散的な数字だけれども、そう悪くはない数字がお出しできるんじゃないかという見通しを持ちながらやってるわけです。
0:39:15	規制庁の世良ですけどそういうことを聞いているわけですよ。ないんですよ。だから、例えば離散的であっても、それが使えるんなり、部分的だけれどそれでやる方針だから大丈夫なのかって言うと、
0:39:30	離散的になってしまっているから使い物にならないんですよって言うてるのかもよくわからないし、
0:39:37	ちい
0:39:37	結局今聞いているのは、タカギという、ある、次の審査会合である議論をしようということに、

0:39:47	してるわけで、その議論を、のために、今、一つ一つ確認をしてるわけで、そうすると、
0:39:57	そういうものをちゃんと間に合ってやりたい議論が、
0:40:01	できるような状態に、
0:40:04	はなれるんですか、っていうことで、
0:40:09	される見通しがだんだんなくなってきたら、
0:40:12	やっぱりそれなりに計画を変更しないといけないんじゃないかっていう。
0:40:19	いうことなんだけど、そういうのは、
0:40:24	先週 1 週間でもこういうふうな状態になってるから、
0:40:29	お尋ねして、
0:40:31	はい。日本への受け取るアノ、つまり私ちょっと中身的にですねこのアプロでもね出ないので言ってることを少し間違ったらまた補足していただきたいんですけども、中央地盤である程度の値が出ましたと信頼区間をとって、
0:40:44	同じような信頼区間をとった場合に、少しデータが離散的になると。ただし、離散的になるけど同じような信頼区間をとった場合は、値として 5% を支持するような与えている。
0:40:55	出るであろうと。ですから、我々これをもって審査会合でご説明してですね、少し離散的でデータの不足分があるかもしれませんがけれども現時点で 5% 否定するような、
0:41:06	話がないといったところで、5% で議論を進めていただきたい。当然、たたらじまいというのが、ヒガシではありますのでボーリング等でですね、
0:41:16	保管を今後もし、進めて参るので、
0:41:19	5% の設定で
0:41:22	やっていただいて継続してし、審査をしていただいて、ボーリングデータ等で保管ををしていくといったところで進めていただくということは方針を今のところ、現時点において変わってるものでございます。
0:41:36	少し中央より綺麗に個線が引ける離散的になるという情報が入ってきておりますけれどもその値自体がおかしなものではないというのを聞いておりますので、
0:41:48	ストーリーを変えるようなことまでは、少しですから計画変更するところまでは行ってないという認識ではあります。当然、もまだ名前しか見えないので、規制庁の羽田です。責任者がそういうのであれば、それはそれで、
0:42:07	ただし、今の発言の中で、

0:42:10	気になったことが、
0:42:12	自分たちが使いたい数字が支持できるっていう、それが最初にあるのっていうのは、あまりどうなのと、いろんなデータを見てた時に、
0:42:26	その結果としてこうだっていうことであって、データがちゃんとない中、そういうふうに語るのが、
0:42:37	どうなんだろうと。はい。
0:42:41	まさに、そこが影響でそれは今までの原燃の失敗した考え方で、なんじゃないかと。
0:42:53	だから、ちゃんと根拠を、
0:42:57	根拠があった中で会話をするというので、
0:43:03	こういうふうにしたくてその根拠を探してるみたいに、そういうことになっちゃうと、
0:43:12	そもそものデータ解析の信頼性が恣意的にされたんじゃないかとかっていうそういう、
0:43:20	もうちょっとうがった見方なりそういうふうになってしまって、やっぱりそれは適当なあれではないっていうふうな気がするんだけど、どうなんですか。
0:43:35	いいですか。九州電力の明石でございます。
0:43:38	その答えが欲しくて、それを目指してやってるわけではないんですけども、先ほど野元の方からちょっと離散的と申し上げたところ、
0:43:49	若干補足させていただくと、今日の資料も書いてあるんですけどこの地震は干渉法の検討は、350 という数の地震は、スタックしてやりました。
0:44:00	何でかという、これ、当社九州電力でやった結果と見比べてやっぱりびっくりしたんですけど、かなり暴れがあると。
0:44:10	暴れがあるということはそれがほとんど離散的って表現だったんですけど、なので、少ない数、地震の数で九州電力が 19 地震だったんですけど、
0:44:20	その程度の数で地震をやってもある意味、会が収束しない。
0:44:24	だとすると、上昇する波よりも下降する波の方がでっかくなったり、
0:44:31	これは何の結果だったのの結果になっちゃうのでまず地震の数をとにかくできるだけふやしてスタッフの数をふやして、ノイズをできるだけキャンセルすると、いうことをやった。
0:44:44	で、その結果として、350 という地震が集まり、それでも暴れてます。結果、上昇する波よりも確保する波をがおっさい。

0:44:56	これ、なんでやねんというのはありますので今ちょっと瀬並行してその分析、例えば、地表に何がしかの振動限があって、貸すレベルの振幅レベルの低い記録、
0:45:09	こうジャンプしてるんじゃないかと、その分析を今流行して進めてますけども、その
0:45:14	反射はね返る方がおっきいってやつを除くと、ほどほど九州電力で、多様な結果と同じような上昇反射の関係が獲られて、なるほどという結果が出てきてます。
0:45:27	で、それを今西ヒガシにいい展開してやってますけどもこれまた西ヒガシが暴れが多く、より大きい。
0:45:35	そうすると何か違う進藤元があるのかもしれない。その方有効してやってますけども、
0:45:42	その上で見てこっからちょっと見通しの話なんですけど仮にその進藤元、
0:45:47	映画除けたとすると、
0:45:50	反射のほうが大きくなるという原因がなくなりますので、今獲られている減衰よりも、実際問題はもうちょっと減衰は大きいだろう。
0:46:00	いう方向が示せると、
0:46:02	いうふうに思ってますので、
0:46:04	であると、信頼性という言いにくいですが、現時点アノヒガシオオニシヒガシオオニシヤマダちょっと途中経過ではありますけどもられてるデータから、より大きめの減衰がえられるだろうという期待値は、
0:46:17	持てると。
0:46:19	で、その上でちょっと今後、深度減の影響なんかを突きとめることは、引き続き並行して必要なところがありますけども見通しとして、
0:46:29	現状やられてもそんだけの数の地震をスタップしてやったノイズがキャンセルできてるという信頼性と、今後の期待値も込みで、見通しとしては示せると。
0:46:40	いうふうに考えてはおります。
0:46:43	規制庁浅川ですけど。
0:46:45	話は大体わかった。
0:46:48	そうすると、中央も同じだっていうことだ。
0:46:52	逆に言うとそうですね。
0:46:54	吸収力ナカシマだからすべてが今そういう状態にあるっていう、

0:47:01	当然ね、データ数が多ければ、それだけだんだんノイズっていうかそういうものがうまくキャンセルできていくのかも、収斂してキャンセルできていくのかもしれないんだけど、
0:47:13	そこにはすずは今度同じことをしないと、やっぱり科学的なっていうか、にならないっていう。
0:47:22	だからまだまだやらないといけないことがたくさん、
0:47:26	今の話を聞く時、かなりなんていうのかな。
0:47:30	下のシライ的な部分の、
0:47:36	ていうところが、たくさんいる。いきなりこれやってみただけどさあと。
0:47:44	やっぱりもうちょっと、
0:47:45	たっっていうかやる前の下ごしらえがいるんじゃないかっていうそういうのが全体像なんですか。
0:47:55	下越ししました。九州電力の明石でございます下ごしらえと言われればそうかもしれません。最初限られた数の地震観測記録でやって、
0:48:06	親という結果になってそのスタッフ自身の数をふやしていきながらやってるで今それを西ヒガシに展開しながらやってる。
0:48:14	で、あとでその中でもまだ見えてきたのがどうも何か乗っかってないかというのが見えてきたのでそれを除去するという検討をまた平行して進めている。おっしゃる通り、出した後シライとしてやるべきことがありそれにもうちょっと時間かけなきゃいけないところがあるというような、おっしゃる通り実態、
0:48:31	だと思えます。ただし、先ほど申し上げた通り、それが除去できたとすると、という牧田市北井、喜多市のご説明するのが会合の場ではないのかもしれませんが、
0:48:42	見通しとしてのお話はできると。
0:48:45	いうふうには考えております。
0:48:52	9月の審査会、規制庁のハセガワですけど、
0:48:56	久我通で予定している審査会合の議論をするには、
0:49:02	しっかりした下支えをする、現状あるデータを使って、最善を尽くした形で、できることはちゃんとやるっていうことだったと思うんだよねその上で、
0:49:14	一定の見通しを得てでさらに今後、追加的にそれをさらに、
0:49:22	支えるようなこともすると。
0:49:24	ということだとすると、現状あるものはしっかりやってもらわないといけないと。

0:49:32	今の話だけ聞くと、
0:49:35	かなり困難なんじゃないかっていう。
0:49:40	気がむしろしてきたんだけど、それ、時間的にね、もう少し時間が必要なんじゃないかと。
0:49:50	うん。
0:49:53	昨日ちょっと私も整理させてもらうと、耐震建物 08 で今回整理を、改めてこれまでバラバラ出したものをまとめたというふうに、
0:50:04	それでもまだ別紙 2 の、今回であれば別紙 2-3 と、
0:50:08	いうことでまとめる範囲と。
0:50:11	さらに追加ボーリングをしてってということで、とりあえず別紙 3 としてまとめますと言ってる世界があって、
0:50:18	別紙 3 の方は、追加 D アノ武将を深めていきますと、いうことでそれまでの試験についてで、
0:50:29	ある程度下流を押さえをして評価を進めていきたいと。
0:50:34	いうことでお話を聞いたと思って、そうすると、どこまでの範囲それをしていくかっていうのは、現状 2-1 から 2-4 とやっているもの。
0:50:44	の話であると、いうことであり、現状言われているその地震は干渉法による半ものは、2-3 に入っているわけで、それが出てこないと。
0:50:56	仮押さえとしての整理はまだできないと。
0:50:59	いうことだと思ってるんですけど、なのでその、
0:51:04	5 っていうのはありきで話してるのおかしいよねっていう管理官の話は、このデータがあって、ようやく 5 っていう話が出てくるんでしょ。
0:51:12	いう順番なのかなと思ってたんですけどその理解でいいですよ。その通りだと思います。
0:51:18	す。
0:51:19	5 という話は、今あるデータを全部評価した結果、5 が見通しがあるというのがあるって、ただ、さらにボーリングをする。
0:51:29	だけれども、とりあえず 5 で走るっていうのは一定の見通しがないと駄目だと思いますんで、この地震監査法の答えがないと、なかなか前にいけないと思いますので、
0:51:39	我々すいません管理課も今厳しいなと、工程ありきでおっしゃっていただいたので我々はでき、できるだけ間に合うように努力、
0:51:50	最善の努力をしたいというスタンスでおると。
0:51:53	何とか間に合うように、

0:51:56	今、明石さんが言ったような説明がきちりデータで話できるように、そろえてへ持っていきたいなど。
0:52:02	会合までには持ってきたいなという考えがあります。ただ、当然難しい話でも、技術的な話でもございますので、無理からに、それがなかった場合に無理か何なしでもOKですよというような話をするつもりはございませんので、
0:52:15	そうなった場合は当然、次回、またできた段階で会合していただくということになるかと思ってます。はい。規制庁の瀬川ですけどそういう意味ではだからその9月に予定してる審査会以降は、
0:52:28	やっぱり、
0:52:30	これに間に合わなかった場合に、どういう部分について、
0:52:34	とかっていうのは、ちゃんと、
0:52:37	オプションプランをとった方がいいんじゃない。わかりました。はい。
0:52:42	言いますと、間に合うという日本語に間に合うという約束はこれまでできない状態ですので、もう一つのパターン。
0:52:50	ちょっとそれだと思います。あとは、
0:52:53	規制庁のハセガワですけども、今皆自身は過小校が云々っていうところ。
0:53:01	だけを防止。
0:53:02	論点僕言ってるけど、
0:53:04	減衰全般の話なんですよ。
0:53:07	だから、いろんな方法、こうから見てみて、総合的に、
0:53:15	判断して、
0:53:18	多分、
0:53:20	現時点では、
0:53:24	確固たるあれはないものの、最終的には、暫定的な致死地盤モデル、
0:53:31	を策定、要するに地盤のパラメーターを、のデータセットをしていくということだと思って、そそのために最終的にある程度まず、
0:53:45	地震観測記録にフィッティングがされたような、
0:53:51	パラメーター、
0:53:53	ていうのが、を多分示してもらった上で、
0:53:58	それを総合的に見て、最終的にモデルとしてのデータセットは今こんなふう、
0:54:09	暫定的に動きませんからそんな多分ね、技術的な

0:54:16	になるんじゃないかと思ってるから、だから、
0:54:20	そこだけじゃなくてここにもね、
0:54:23	幾つか入ってるわけですよ、12345。
0:54:29	そのデータがあってちょっと総合的に、
0:54:34	見て、
0:54:35	行くわけで、
0:54:37	最終的にはどれかを選択するみたいなね。
0:54:41	世界なのか。
0:54:43	島津シミュレーション的なんで、
0:54:47	合わせるとすると、
0:54:49	こういうものから総合的に歩く短期間で減衰を、暫定的に新しいものを線引きするっていう、
0:55:00	やり方があるわけです。
0:55:06	要するに、自分たちで作っていく、フィッティングできるように作っていくところのデータを見つつ、
0:55:15	必ずどっかの選択しないといけないっていうことではないんだよね。だからそれぞれのいろんな特徴を踏まえて、
0:55:24	ていうのが大切なんじゃないか。
0:55:27	で、
0:55:28	いうふうに、
0:55:30	は、だからそういうことの説明がされるんですか。
0:55:35	やっぱ選択問題なんですか。
0:55:43	辨野でございます。ちょっと私理解が浅かったら申し訳ないんですけども
0:55:48	今おっしゃっていただいた話は、
0:55:53	選択問題なのかというふうに、薄センター問題なのかそうじゃないのかというお問いだとすると、
0:56:00	総合的に全部見て判断するという意味ではどれか選ぶということではなくって、
0:56:07	今おっしゃっていただいたようにそのフィッティングしたものを、我々が適切なところを選んで行った時に、それに対して、
0:56:18	他のデータで、それが裏付けられるのか裏付けられないのかということを検証していくっていうのがそんなイメージがちょっと発生長コサクですけど何を言ってるかわからなくて、

0:56:28	はい。もうちょっと、
0:56:30	されてもわかるという大変ですけど、すみません、端的に言っていただいた方がいいかなと思うんです。はい。今日の資料だと、
0:56:39	図第 4、7 ポツ 4 ポツ 3-4 図ということで、周波数を横軸に減衰がどうなっていくのかということいろいろな手法で、
0:56:51	検討したプロットがされていると。
0:56:54	ということですけど。
0:56:56	余りにも挙動が違うデータのプロットになってるわけですよ。
0:57:01	リニアのものからバイリニアにするや、物についてはSR検層で、周波数が高いところについてのデータがあるので、それに合わせてみる。
0:57:14	と。
0:57:15	こういう、何だろう。リニアの場合だと、今
0:57:20	減衰が小さいといってるところについて補正がかけられると。
0:57:25	ということでやられたんだと思いますけど。
0:57:28	なのでそ赤は 1 回置いてみたとしてもですよ。
0:57:33	ええ。
0:57:34	周波数が低い。
0:57:37	領域については減衰がとれると。
0:57:40	いう絵になっているわけです。一方で自身は干渉法はそういう、
0:57:46	共同になってないわけですよ。
0:57:48	そうした時にどういう理解をどうですか。
0:57:52	いうことを、
0:57:54	話をさせていただいて、だからこういうモデルにしたいんですということと言わなきゃいけないとっていてですね、その時に選択。
0:58:04	そして、この領域についてはこういう挙動と考えるのでこれが適切ですと。
0:58:10	というようなことを行っていくのかどうなのかと言うのを、単純に総合的とかって言われちゃうと、何考えてるかわかんなくなっちゃうんです。うん。そのデータをどう解釈してんですかということ述べなきゃいけないと。
0:58:24	そういう観点からすると、周波数の 4Hz ぐらいのところっていうのを、
0:58:31	地震干渉法で、ここのデータから国交だからここに済ますなのか。
0:58:37	観測記録からのシミュレーションの関係から、
0:58:44	減衰がとれるということは明確なのでこういうふうにしますなのか。

0:58:48	そのあたりどう考えてるんですか、どうしてくつもりなんですかっていうことだと私は思ってます。
0:58:56	日本原燃、私はもう、
0:58:58	当然 4%前後の、周波数 4.5 のところがメインになるので、5%一律っていうか、5%減衰を 5%。
0:59:07	規制庁、瀬川ですけど、だから、問題が、ちょっとおかしくなっちゃって、化学的なりそういう、要するに、こういう様々なデータから、
0:59:22	実際はこういうふうに変化してってるかもしれない。
0:59:26	ていう、うん、だから周波数依存性を持った減衰の設定っていうのはあり得るんだけど、これはこの中の選択をするわけじゃなくて、少なくともある観測記録を、
0:59:38	にフィッティングすると、こんなふうになってくるといって、一定の周波数依存性は多分あるんじゃないのと。
0:59:46	だから、一律とかっていうのが最初から決められない。だからこそ、たくさんのデータが、
0:59:53	あることが、
0:59:55	それぞれ信頼性を高めて最終的には設計という世界に入るんで、ただ単にシミュレーションのフィッティングっていうだけではなくて、
1:00:06	最終的にそういうのを勘案しながら、設計的なモデルっていうのが構築されていくっていうそういう世界なんじゃないかなと。
1:00:20	しょうがないんですよ。こういうものはね、やっぱりやる手段とかいろんなことで、ある区間は比較的信頼性が高いけれども、
1:00:31	この区間はちょっと信頼性が落ちるとか、こうだとかだとか、
1:00:36	この間もまあまあほぼ、もうちょっと信頼してないけど、
1:00:40	データの的には信頼性ないから、もう合わせに行きますよと。
1:00:43	とかね、そういうのもあってだからそういうことが大事なんじゃないのかと。
1:00:50	いう。
1:00:51	そういうことを今皆さんをしようとしているのか、この辺はだから野本さんあたりがちゃんとしゃべっていただけると。はい。それは多分、例えば地震は干渉法の
1:01:04	手法が難しいとか、からわかりませんかかっていうのはちょっと別。はい。高額てきいなものの考えみたいなところだと思うんですけど、どうなんですかね。
1:01:17	はい。

1:01:18	日本原燃野本でございます。はい。
1:01:21	阿藤。
1:01:23	おっしゃっていただいている通りですねそうですね。ちょっとはい。規制庁土佐です。
1:01:31	まだ十分練られてないようなので、無理にやる必要はないかなと思うんですけど、結論的には規制庁のハセガワですけど、だから最初から一律5%を目指すとかそういう、
1:01:45	ことには決してならないんじゃないかとおっしゃったんです。だから、そそれが入っちゃうから、データの見方が、うん。
1:01:53	そういう見方になっちゃうんですよ。うん。だから、
1:01:56	もっとちゃんとフラットで2なね。
1:02:00	忖度なしの、うん。フラットにこう見て欲しいんですよ。うん。
1:02:07	はい。
1:02:08	コサクです。あえてフラットに言った感じで、このデータを見るとですよ。
1:02:16	よくやる、原燃の言い方で言えば保守的に設定しますと。うん。うん。ていうスタンスでいけば、いろんなデータを見て、保守的に見マツダとこれも全部下が劣るわけですよ。
1:02:29	とすると、
1:02:30	データが取れる場合、空白の部分どう考えるんだっていうのはありますけど、とれた範囲を厳しいとこ取りますっていう言い方をすれば、
1:02:41	1Hzから3Hzまでは、7、
1:02:45	6%ですか。
1:02:48	6、
1:02:49	%ぐらい。
1:02:50	を設定し、4から、
1:02:54	7ぐらいまでは5を設定し、
1:02:59	その以降は3設定してみたいな、
1:03:04	ことの言い方になってくるわけですね。うん。
1:03:08	でもそれは本当ですか。うん。ていうところを、
1:03:12	モデルとしてどうあるべきかといったときに、考えて提示をしてくださいねと。
1:03:19	ということなんだと思います。我々は何でもかんでも保守的ということではなくて、トータルとして適切な応力の算出ができればいいわけで。うん。その考えを整理をして持ってきてくださいって言ってますから、

1:03:33	そこら辺をしっかりと考えてくださっていうのが今日、言いたかったこと、ネットマークスはですね、言った通りね。
1:03:41	保守的保守的なデータでっていうのは、いつも原燃の口癖なんだけどだったら、こんなことやる必要は最初からないし、
1:03:51	我々はだからまず、
1:03:53	今やろうとしてることは、保守的とかじゃないんだよね。
1:03:58	今あるデータの中から、実際に近いようなところをまず探しに行っていて、
1:04:05	それをちゃんと考察をすることによって、次の見方につなげていくということだから、この世界で保守的ということも一切今出てこないはずなんですよ。
1:04:19	でも何か会話では出てきてるらしいんだよね。
1:04:25	今おっしゃっていただいているようにですね今やろうとしてることは、実現象をちゃんと表現といいますか工学的に使うに使う時に適切に表現できる減衰定数を、
1:04:38	決めることだと、いうふうには思っていますので、この減衰のこのプロットの中で保守的に取る取らないっていうそういう議論ではないんだから、我々の
1:04:48	見方っていうのが、
1:04:50	そもそも結果としてどういような、合っていないもん物を見たときに、まずこれが減衰以外というのはそれほど今おかしくないという、
1:05:01	それが前提なんだけど、下水がいいにも何かここにあれば、うん、そうなんだけど、これが補減衰で、
1:05:12	この差が決まってきたりするならば、こうやってみるよね。
1:05:19	で、この区間はもっと、例えば、はい。下げないといけない。さらについていうことになるよね。うん。
1:05:26	になるじゃないですか。それを見るときに、そうですね。はい。
1:05:30	だから、こういう見方をしてるこういうところっていうのは、随分差が出るよねと。
1:05:35	何なんだろうと。
1:05:38	いう。
1:05:39	ふうになってこの後に行くよね、そんなに悪くないよねっていう、うん。
1:05:46	だからこれ、区間ごとにやっぱり微妙に違ってるのかと。
1:05:50	とかっていうふうに、

1:05:53	例えば合成だとかね。ただね、山の根でコミコミを細かく見ていくと、そんなに、
1:06:00	あれだから、ある種減衰で調整できちゃうかもしれないよねと。うん。
1:06:07	要は、よくわからないものを、
1:06:10	世界があつて当然そうなんだけどそれは減衰を調整することで、吸収していくっていう、
1:06:18	みたいな、これは表層の地盤特性みたいなものも、ちょっとやっぱり、
1:06:23	かなりね、何て言うノモトからあつた、がんとは、人工的に何かねいじくつたとのね、ものっていうのは大分違ってるから、その差も当然出てきて、
1:06:36	ばらつくよねっていう、そういうものとかいろいろあるんだけど、総合的に、そういうのをまず調整していくっていうところから入ってるのかなと思う。
1:06:48	だから僕はだからもう瞬間的にこれを見て、
1:06:52	ペロペロっとう見ながらこれ見て、これ持ってきてって言って、比べたら、まず、おそらく青田米みたいに、
1:07:02	やっててしまいには、このファンでさ、言ったら、ほぼ周期秒と書いてあるこっちHzって書いてあるし、何でも連続性がこれ。
1:07:12	そうなったわけですよ。
1:07:15	ただ、
1:07:17	結局わからない人でも、そのぐらいは多分わかるんだよね。はい。
1:07:23	あと、こっちは、お前の方がこれちゃんとやってるかどうかとかっていうそういう問題でそれはさっき言った何かノイズがあるんですよ。
1:07:32	本当にこれ大丈夫なのかっていうところはまた別問題だけど、
1:07:39	どうなんですか。はい。
1:07:43	話少し戻して話をしちやって申し訳ない。
1:07:46	あんまりだから、
1:07:49	あ、すいません。
1:07:50	ちょっとちゃんと言ったらすべて止めてください。自身は干渉法について
1:08:00	の、
1:08:01	検討が完結しないのかというのに対してちょっと今考えてる。
1:08:09	新野さんの中の世界では、データとして提供、一定の答えは出す形になるのかなと思っていてそれはどういう形になるかという、先ほど明石さんからもおっしゃっていただいたように、
1:08:23	入社母と比べたときに反応がでかくなるっていう変な、

1:08:28	結構出てきてるといのは確かなので、そいつらをはぐったデータで、減衰をとにかく1回出してみるということをやって、1度この数字は出してみると、そうすると
1:08:42	そういう
1:08:44	データがですね減ってくることになるので、ちょっと信頼度としては、若干落ちる形にはなるけれども傾向としては、見える形になるというところで、
1:08:55	このデータ、一旦はお示ししつつですね、ただでも、先ほどの話もありましたようにやっぱりそのノイズの扱っていうのを今後検討していつて、ちゃんとこの信頼を上げないといけないといったようなところは、
1:09:09	今別紙3の方に入れている常時微動の検討っていうのも入れていますがけれども、ああいうものも踏まえてこちらの別紙3の世界で、データの確度を上げていくと。
1:09:22	いったようなたてつけで、今回の会合のときにはお示しするような頭を私は持っておりました。ちょっと間違っただことはちょっと皆さん提示いただければと思います。
1:09:35	あと補足ですけどその意味では別紙3って
1:09:38	するのがおかしいというのを、先週も申し上げましたけど、
1:09:42	別紙2-3の一部ではやはりあると思っていて、そのときに、段階的にやっていきますと、いうことなんだと思ってたので、
1:09:52	それはその何も段階的にやるのが追加ボーリングだけっていうことではないというのはそれはそれで理屈は立つんだらうとは思いますが。はい。
1:10:00	ただ、今さ、資料数別紙3にしちゃっているというのが、その論理をちゃんと整理をしていないと、
1:10:09	いうことが問題だと思ってお話をしているので、本件をそういうふうにして言いたいのであれば、ちゃんとその整理をして、どういうことで、現状、
1:10:19	こういうデータで仮置ができるんだで、それを後させたりする或いはそのデータの適切性っていうのを、説明をしていくという、いうことでの活動を、こういうふうには厚みを増し、
1:10:32	対応していきますと、いうことなのかと。
1:10:34	いう、整理をですねしっかりしていただく必要があると思っていて、
1:10:40	そういうのを聞きたいから、資料でちゃんと書いてきてくださいと。
1:10:46	いうことを申し上げているのに、書けてないっていうことで、ちゃんと議論ができないということなので、

1:10:53	まさにそういうふうにしたければ、なおのこと東西の話をしっかりと書いてきてください。
1:10:58	ということになるんじゃないかと思います。
1:11:08	規制庁浜崎です。よろしいですか。
1:11:11	私自身、先週出てきました耐震 08 を拝見しまして、今、東です。
1:11:17	非常に緊急してます。
1:11:24	ね。
1:11:27	今日の話の
1:11:29	処方に関してもですね、先週のヒアリングで、ノーリツさんとの中で、
1:11:35	干渉法の東西のみが、今ちょっと、
1:11:40	ちょっとペンディングだお話をされたんで、
1:11:43	中央は問題ないというふうに理解してましたんで、出てきた資料が、この資料、
1:11:50	これって何かレポートが出てきただけになって、はい。本当にそこを、
1:11:56	で、先ほど言った菅さんも言ってるように、
1:11:58	の体裁にしても、
1:12:01	最初に、細見長さんがやってるんですね。
1:12:05	この方法にしても、その条件にしてもですね。
1:12:09	この本編の方にも書いてないこの来資料もない中で結果だけは持ってきて、はい。
1:12:15	ということで、
1:12:17	中央であってもこんな状態でとても東西なんてまだ時間かかると。
1:12:22	思ってます。
1:12:23	で、
1:12:24	これは
1:12:26	地震観測記録に基づいた減衰を待つ。
1:12:30	一つ、手法であって、もう一つ本大アクセル、周波数特性、減衰の周波数特性、バイリニアがいい商品しやすいようにした結果、
1:12:40	これはそれについては今回増えてますけども、これヒアリングでも言いましたけれども、あくまでも今、12 地震とかですね、ミヤモトしかないですよね。で、
1:12:51	以前ヒアリングで、もっと指針案を数ふやします。
1:12:56	という話をしたんだろう、まだ反映されてない。
1:13:00	ということはまず、

1:13:02	これから増えるのか或いはもう、周波数依存の話に関しては、これ以上増えない話を今考えられてるのか、そこが見えません。
1:13:12	08に関しては来週月曜日、いろいろ確認をさしていただきたい。
1:13:18	これから人を、地震動をふやす。
1:13:22	その当時がまた変わるんで、それも踏まえて、この会社法についても、今かというふうに思う。
1:13:30	で、
1:13:31	というのは、
1:13:32	先行もそのまま。
1:13:34	去年の資料見ればわかるように、19 地震使われて、全部それシミュレーションしてるわけです。
1:13:39	ところが、
1:13:40	では元の資料って、311 とその余震だけです。
1:13:45	それで、すべて、5%5%という展開になってますので、
1:13:49	いやこの状態でとても 9 月は迎えられないというのが私の感想です。ですからちょっと来週月曜日の段階ですね、
1:13:57	そこら辺はしっかり準備した上で、
1:14:01	今のこの資料の状況で本当にいけるのかどうかということを説明して、
1:14:07	その点現段階、今現在で何か会長というか、
1:14:11	いけない。
1:14:13	こと。
1:14:16	ございますか。はい。
1:14:18	シミュレーションじゃないすいません同定のフィッティングのところに関しましてはすいません今回説明ができていない。
1:14:26	地震をふやすという検討の方は各考えましたので考えた上で、実際にふやすとしてはどういうふうになるだろうというところで確認しましたが、いわゆる伝達関数が全然か岩谷目標、目的関数ですか。
1:14:37	というところに影響を及ぼすようなところの地震ていうところは変わらない、ふやしたところでその時間数が変わらないというところで、現段階における 19 地震とか 12 時というところで、十分に意識の特徴というのは踏まえられた。
1:14:51	反省点はつくれていること、笹倉ですけれども、確認してございますので、そこについては今の地震で十分だという結論に至りました。シミュレーションの方につきましても今全地震でやるべきではというお話がございました。そちらにつきましても、

1:15:05	社内ではすいません、現状としては中央付けでございますけれども、全地震ではやっている。
1:15:10	もございましたので、そのあたりはすみませんお見せできるようなデータというところは、はい。
1:15:16	西ヒガシも含めての時間をかけずにアノイセできるかとは思ってございます。当然それ一でいきますとハバサキさんとかよく見られているところでわかると思うんですが、当然、伝達関数で地震ごとにばらつきもありますので、
1:15:29	当然、地震ニッタウエキたりしたりというのがございますのでそれにつきましては、各地震周波数特性とかそういうような特徴、特徴みたいなところを踏まえた考察なんかをして、何でこの地震は、
1:15:40	何か短周期だけこっちに行っちゃったみたいなどところとかをちょっと個別にお話した上で最終的には、はい。
1:15:46	データとしてお見せするような形になるというイメージを持ってございます。はい。
1:15:51	野川さんそれスケジュール、あれでしょう。今、押さえてないっていうのは私は認識なんだけれども、ちょっとすいませんそのところ我々社内の中で、ちょっとちゃんと、
1:16:03	押さえてそれで、どこどこまでっていうのをちゃんとお答えできるような形でちょっとお話ししていただくかなというふうに思います。
1:16:12	市長の長谷川ですけど、だから、
1:16:15	9月っていうのは、かなりもう困難をきわめて最初からだから、やろうとしてること、我々が見たいと思ってるものと、
1:16:26	皆さんが提供しようと思ってるものに相当な乖離があるんじゃないのかな。
1:16:32	ざくです。私もそう思っていて、
1:16:36	最初に申し上げたのもその根本原因だと思ってるんですけど、
1:16:42	前々からデータが足りないと。うん。
1:16:45	結果だけを示すじゃなくて、その妥当性を示すエビデンスを一通りそろえてくれと言っているのに、一向に出さないと。
1:16:53	いう姿勢がすべておくらせてるんですよ。
1:16:58	こちらは出してくれば見るのに、なぜ出さない。
1:17:03	ということですから、
1:17:07	今話のあったやつも、本当であれば、31日提出の資料に一通り、

1:17:12	書いてあるべき話であって、我々はそれを変えてくれとずっと申し上げているのに、
1:17:18	返ってきてないわけです。
1:17:20	そんな何ですかね。
1:17:24	審査を進めてもらいたくないんだったら別に、そう言ってくれば、出してくるまでじゃあヒアリングしません、最後もしませんでいいんですけどそんなことは決していないんですか。決していないって言いながら出してこないじゃないですか。
1:17:40	で、えっとですね、どこに原因があるんですか。
1:17:44	下の図ですか。えとですね。
1:17:46	これ設計ですか。オーバーしないと思いますけど、
1:17:51	そこのちょっと、
1:17:52	私の認識では 100 名をし、
1:18:00	さっきちょっとアノオガセから申し上げたような、対カーのといえますか我々、運転お手元でやってるんだけど方みたいなことも申し上げましたけども、
1:18:09	そのところを、我々、今 31 日にお出ししてる資料で、そこまでアノたんだという認識を私はしていませんでした。今まで、
1:18:22	コメントいただいた部分に対して、あれで答えを一通りし切ったつもりでございました。で、藤先生ですね今野ハバサキさんからお話をいただいて、やっぱりちょっと足らんだよねというのを私は認識不足だということも、
1:18:38	今認識はしたんですけれども、という状況なので、なんで、それが入っていいんだよと、おっしゃってるのはその通りなんですけれどもそれはすいませんちょっと認識の足らずで、佐口には入っていなかったというのが、
1:18:53	現状だということでございます。あんまり役員になってないですけども、
1:18:58	とよ。
1:19:00	ちょっと事実関係を医師、正直なところで共有しないと話が進まないなと。
1:19:06	思いながらちょっと今あんまり飛びつかうわーにしゃべらせていただきました。
1:19:11	コサクですけど、

1:19:14	もともとノモトさんはこの領域は明るくないということ言われていたの で、
1:19:21	だけど明るくなくても専門的知見を持つてると話をすればわかるは ずだと。
1:19:27	ということ対応されてるんだと理解をされていてですね。はい。そうするとわ かる人に聞かっていうことがスタートにあるはずで、なので、今回の話で あれば明石さんですよと。
1:19:39	いうことを申し上げたところで、全般的に見ても朝わかると思いますけ ど、
1:19:45	マンパワーということを考えれば当然設計、
1:19:49	が他のサイトもやってるわけで、明るいはずですし、
1:19:53	他にもいろいろいらっしゃると思うんですよ。
1:19:56	そういうのがあるにもかかわらず、なぜ改善しないっていうことを疑問視 している。
1:20:05	こちらは伝えてると思ってるんですけど、
1:20:09	きちゃうわけですから確かにそうですね、この中央地盤のこの資料に関 しても、先週のヒアリングで、
1:20:16	私は、
1:20:19	地震、
1:20:20	は、干渉法の中央は、
1:20:24	問題ないですね。うん。問題イコール出てくるものと思ってたんですけど も、野本さん自身は、反射法地震自体の資料が21日まで出てきません と言ったら、
1:20:34	あそこミツイ町だったら、それはある意味我々が、もう少し具体的に最後 まで、確認し合わない駄目だなというのは、それは私自身の反省をも って、
1:20:46	もうただ本当にそれいちいち全部やるのかみたいなどころあるんですは い。
1:20:51	ちょっとそこを今後どうすんだという観点ではあるとコサクです。
1:20:57	こちらは明示的に細かく言っていないっていうのは、
1:21:01	事実かもしれないけど、けど、浜崎さんが言うようにですね、
1:21:07	言われなきゃ出さないのかと、いうことを問題視をされていて、
1:21:11	新基準適合の審査って全般的に最初から耳そろえて出してくるというこ とを基本にしているの、
1:21:19	事業者の説明責任っていうことを全うするのがまず、

1:21:24	基本なんですよ。それができてない状態で審査に入らされてる。
1:21:31	いうことに疑問を感じていて、それであれば時間かかりますよ。
1:21:37	いうことを認めてください。
1:21:40	いうことなんです。
1:21:42	進めて欲しいというんだったらちゃんとお出してください。
1:21:45	いうことであって、言われないと何を出していいかわかりませんっていうことじゃないはずですよと。
1:21:52	思ってますので、
1:21:54	それができないのであれば、時間がかかるということをお認めるという方向でしかなくて、どっちをいきますか。
1:22:02	いうのでこれまでは電力支援なり何なりして、みずからちゃんとできるという状況で、やはり進めてもらえるように対応しますと。
1:22:11	言われていたので、やってくださいねなんですけど、向こうにやってないっていうことをこちらとしては認識。
1:22:17	思ってますので、
1:22:19	しっかりと地権者、
1:22:22	特に作業前にですね、どこまでやるべきなのかという認識をして対応いただかないと、
1:22:27	次の会合は
1:22:30	全然足りませんよということをお言う会合になってしまうということをお認識いただければ、
1:22:35	規制庁のハセガワですけど、今のその、結局、原燃が、
1:22:41	と我々の感覚は違ってるんですけど、
1:22:44	原燃の中では、先ほど長谷さんが説明したように、これはここまででいいんですとか、そういうことをやってるみたいなの。
1:22:55	だよ。うん。そうすると一定の検討は何をどこまでやって出すべきかっていう検討がされて、
1:23:04	それが選択。うん。されてるというプロセスがあるんだよね。うん。
1:23:11	ただそのプロセスが、
1:23:13	おかしいんだよね。
1:23:16	だとすると、そのプロセスの結果を、
1:23:20	もう全部見せろっていうことではないんですけど、結局そこが最後、あるプロセスで選択された何か一覧表ができて、横からね何日までにこれやるぞみたいに、

1:23:34	なるわけだよね。その時点で耳ちっちゃいんだろうね。
1:23:39	耳そろえますって、ちっちゃいエミがちっちゃ過ぎちゃって寒いから、
1:23:44	そう。
1:23:45	なんかね。はい。
1:23:46	要するにそこと我々が想定しているものが相当乖離が多分あるんだよね。
1:23:57	でもそれをそこでさ、うん。
1:24:00	そのプロセスで、
1:24:02	いけないのかってそのプロセスはちゃんと見なきゃいけないんじゃない、判断はできないかもしれども判断しないといけないんだよね。
1:24:11	そうですけど、今1課に書いていただいたところの、うん。やったプロセスは正直に全部言うと、
1:24:18	いうことは最低限、うん。ないとおかしくて、
1:24:22	その上で、そのプロセスの中で何やったかっていう部隊、うん。エビデンスっていうのは、幾つかかいつまんなり、まとめるなりっていうことはあるんだと思いますけど。
1:24:32	やってることを言わないで、都合のいいところで説明するってのはまずありえないですよ。うん。こちらから聞いたらやってますって言っても、それは説明になってないんで。うん。
1:24:45	最低限それはしっかりやっていただかなきゃいけないのかな。
1:24:49	思います。その上で、ここまでやりとりをすると、そのプロセスの中で何か抜けがあるんですよいつも。うん。
1:24:56	言われてからやりますみたいになっていったらいいのか間違いなのか、最初っからねプロセスおかしいのかさ。うん。プロセスおかしいってことだよな。
1:25:06	なので、まず最初にそういう子、実際やってること言っていたかないと、こういうこともやってくれということをごちから言えないし、
1:25:16	言えないとどんどん遅れていくということがあるわけだから、しっかりと整理をしてくださいという。
1:25:28	今の話、多分かなり質問あるんですけども、
1:25:34	先ほど野元さんが人は干渉法に関して、当然に関して、すべての出てるのではなくて、逆転現象が起きるような波をはまればいい傾向が出てます。
1:25:47	それは、

1:25:50	県単位のプロセスだと思うんですね、我々はとにかく科学的な根拠を積み上げてる段階であって、もしかすると、はぐるはぐってしまうところに真実があるかもしれないわけで、
1:26:04	はい。おっしゃる通りでそのはぐったものの中に、やっぱりデータっていいですかそれはちゃんと物理現象の情報持つてるものなので、本来生かすべきなんですけれども、けれども、すみません規制庁小坂です。
1:26:22	とともにあまりそうなので、ちゃんと整理をしてくださいってことなんですけど、赤井さんが言われたところのデータとして使えないと言われているのは、その解析に向かないから、
1:26:35	言えないってことなんだと思ってるんです。その理由をちゃんと整理をして取捨選択しますと言われたんだと思って、そうすると、データが少なくなるから信頼性が下がるなんて言い方にならないはずなんですよ。
1:26:49	信頼性を上げるために、適さないデータを外しますなんてあって、そうですね。そう。基本的には信頼性が上がっているはずなんです。単なる統計の数字の話じゃなくて、
1:27:01	データとして意味があるかどうかですから、そういったところをちゃんと整理をして話をいただくのが最初だと思います。
1:27:09	すみません、ちょっと私が言ったことは、
1:27:13	ちょっと訂正といいますか、不適切なものを入れないということをちょっと言わしていただくと、すみません。剥ぐって言ってるのは、データがなかったことにするということを言ってるんじゃないかと、
1:27:26	入射と反射をやった時に反応が出ないっていうちょっと物理的にどうも、ちょっと説明がつかないようなものを一旦外して検討をやっぱり高圧すべきだろうと。
1:27:39	だけど、規制庁の浅田ですけど、今のところから、はい。
1:27:44	我々が言ったそれ駄目よって言って、そうです。
1:27:48	だからそこには物理的な意味があるっていうことを館さんが言ってもそれはもう最初からだから何となくいろいろこうわかって、はい。衛藤。
1:28:01	話なんだよね。
1:28:05	実は。だから、ここオダ科学的にちゃんと詰めるっていうのは、ちゃんと元はK2、
1:28:12	ちゃんと戻ってくださいっていうと、だから敷地の常時微動とか様々な振動元をしっかりと特定しておかないとこの施設は、
1:28:23	ね、運転してっていろんなポンプだ何だかっていろんなものが動いている中で、

1:28:31	ということだからそうそういうのみんな把握しないといけないんですよ。でそれなしにやっちゃうからね、Head個人になっちゃってるかもしれないけどだからそういうのをちゃんと理解しながら、
1:28:44	データを吟味していうことをだから、あんまり気安くはぐっていかって言っちゃいけないんですよ。申し訳ない。いや、
1:28:54	九州電力の明石でございます。まさにそういう、あくるという表現で分析のことはやっぱりおかしいやつを外していくというような、ざっくりした説明で今、野元さんに理解していただいているのですねなんてシマダからあんまりね、言わない方がいいですよ。
1:29:13	中身的には先ほど私も申し上げた通り、反射法がおっきくなるんで、大きくなるのはそもそもおかしいという感覚論もあるんですけども、まさに一つの波を見てみると、どうもなんか載ってんじゃねえか。
1:29:26	というのがありますのでそこはちゃんと分析した上で、もちろんそれで外して行って、さっき小崎さんがおっしゃっていただいた通りそうした結果、信頼性は上がってきてると。
1:29:37	ましてや地震アノ数が多いということで、もうランダムな文書がキャンセルできてるとお思いますので、信頼性を十分にご説明できると考えております。はい。
1:29:47	規制庁の長谷川ですけど。
1:29:49	だから、だからこそ、中央地盤をちゃんとオクやってもらいたいんだよ。うん。
1:29:54	たくさんの地震はでキャンセルができてきて、それをBCでは違うやり方なんだけど、
1:30:02	現実的にはデータ性格的にはそうなるんだと思うんだけど、だったら、一番ノイズ良い今考えている。
1:30:12	要は地盤の一般的なノイズが何か載ってるとすると、一番載ってるのは、鉛管じゃなくて、中央地盤、
1:30:22	メインだからね。
1:30:25	びこっちの両端っていうのは何かとでかい、新藤県なりそういうものが別途あるなら別なんだけれども、
1:30:34	そうじゃないとするとそこを中央地盤をしっかりやることで、そこがノイズなりがそういうので、ソネ 350 使ったものの、
1:30:45	が別の形でね。

1:30:48	最初からキャンセルできると、10 幾つで、同じ結果が生まれるんだよね。だからこそそいつをね、他にも適用していくっていう、そういうことになるんじゃないの。
1:31:02	はい。中終わってないよねと。うん。
1:31:05	むしろ中央が、
1:31:08	もっとしゃぶり尽くす。
1:31:13	うことによって、
1:31:15	岡本か。
1:31:18	これ地震動だけじゃなくて、常時微動を使ってだつて多分これできるんだよね。
1:31:25	どこまでね。
1:31:27	じゃないですか。
1:31:30	多分、
1:31:32	常時的にこうなんて、夜と昼で違ってるとか。
1:31:38	そういうものを何かいろんなことやると、
1:31:41	できるシマポンプとかいろんなもの止められないけどね。うん。かもしれないけれども、でもポンプの振動はなったらわかるよね。
1:31:50	何となくね、ここだっていう。
1:31:53	何かそういう意味で、
1:31:55	本当に何かやろうとすると、音色時間かかりそうだねって。
1:32:01	だからどうするんですかって。
1:32:08	だからやっぱりこれは元破棄をしっかりとちゃんと考察しにいかないと。
1:32:13	いけないんじゃない。
1:32:15	いうふうにはちょっと、
1:32:16	思ってるんだけど、その返答なんですよ。
1:32:19	はい。九州電力の明石でございます。まさに玄葉系発見を一つ一つ丁寧に眺めるって、おっしゃる通りで、これちょっと私も原燃さんをお願いしながらまだ見切れてませんし原燃の各メンバーにも、
1:32:32	とにかくもうはっきり言うのにらめっこしろと。
1:32:35	そっから何かにじみ出てきたものあるじゃないかこうじゃないかっての試行錯誤をやってみたことによって、ああなるほどってのが見えるので、その過程を考察として落とし、そういうことだから、
1:32:46	例えば中央はこういうふうに、

1:32:48	を見とつたらおかしいですけども、信頼性の低いやつは除くんですよ、同じ考え方でいくと、西と東もほらこうでしょ、何か同じ分析の前提に立たなきゃいけないんですけども、
1:33:00	そういう展開をしなければ駄目であるからこそ銀天一つ一つのデータをやっぱり丁寧に眺めると、いうことだと思いますので、その
1:33:09	まさに先ほどの伊佐がキャンセルできてると言いました、いっぱい記録を平均化した結果こうなってますってその結果だけやっぱ眺めてじゃ駄目だと思ってますので、
1:33:21	そこはちょっと一つ一つの派遣を眺めてこうだという考察はしっかり、
1:33:25	私やりますし、現にもさせますので、はい、よろしくお願ひします成長の発生がありますが、そういう意味ではやっぱり常時微動の、
1:33:34	記録、
1:33:35	をしっかりと理解して、そして地震
1:33:39	記録をしてきとる。
1:33:42	並べるとか、
1:33:44	ていう。
1:33:45	うこと。
1:33:48	なるほど。はい。ですか。はい。
1:33:52	コサクですそれでいうとやっぱり一つ一つで話してはいけなくて、それぞれのた分析を総合的にこっちでこうだからここはこうですよねとかっていう、相関が出てくる。
1:34:06	だと思っているんですけど、原燃の現状の資料ってそういうのがなかなか見えてこない。
1:34:13	ですよ。
1:34:14	本当にやってんのっていう気がしてしまうんですよ。
1:34:18	すいません当然設計はございますけども、
1:34:21	先ほどから原燃の清カトウで設計の成果というものがおっしゃられておりましたの。
1:34:26	地震の実際にはですね、今回の地震干渉法はですね、ある特殊な会社にお願ひしてやってるんですけども、基本的にやっぱり地震動だろうとということで、地震動からまずミナミなきゃ駄目だよということで東電設計としてはですね、
1:34:40	その地震の見ますよ、で今回、
1:34:42	中央よりも、先ほど中央が震源だとしてもですね、西ヒガシのほうがノイズが多かったんですね。

1:34:47	そういう傾向なんですわ。それはだから、実際に震源はそうなのかもしれない。結果いいけども、それを伝達する時にその位置としてこう大きくなって、
1:34:56	そういうふうなことがあるかもしれないんで、例えば地震の引き伸ばしてスパイクがあるのかないかとかですねそういうことを、やるとすると当然設計が今そういうデータを持っていますし、その上の地アノ地地域というエリアの情報持っていますから、
1:35:10	そういうことですね地震動の方のその分析は当然設計の方で、費用ということで、指示をしてたという段階でございますで、こちらの方につきましては申しわけないんですけども、
1:35:21	ここに県の方ですね、出していただいているんで、それでとりあえず中央の方は、こういう結果で出ると、西ヒガシの水が多いんで、この辺もちょっといろいろと規制庁さんとお話されて、水の処理をちゃんとしなきゃ駄目なんじゃないかっていうこともあってですね、
1:35:35	常時微動観測するとかですねそういうものも含めて、そういうものがキャンセルできるのか、でもキャンセルできるか、その値増し、データの質を上げてって、うまく、
1:35:46	このこの表はちょっと逆さまになってますけども、
1:35:50	大体今やってるような、地震者が、干渉法でどのぐらいの減衰が出るのかということですね、出していくというふうなことは考えております。
1:36:01	コサクですありがとうございます。
1:36:04	それで言うんですね、いろいろと発注の体系があって、主体が違っているというのはそれは他の
1:36:12	業務でもあり得る話で、
1:36:15	そのときに、その連携をとるなり、調整してくってというのは発注元が本来責任を持つところではありつつも、本件のタスクでいうと、
1:36:26	そんなことも言ってもらえないというようなこともあって、それぞれ連携してやってくれということで、機器であれば、三菱が他の各社束ねながら調整をしているということですし、
1:36:38	建物は大林が対応されていると。
1:36:41	いうこともあるんで、そこら辺をうまく連携をとってやっていただきたい。
1:36:47	と思います。その情報をしっかりと元は拳、赤井さんがスーパーバイズしていただくと。
1:36:54	というようなことで

1:36:56	やっていただければと思いますので、我々に対してはそういった全体を踏まえて、資料を整理をして、
1:37:04	説明をいただきたいと。こっち、
1:37:07	それぞれのタスクについての相関というの、話をさせていただけるように、それぞれ議論してやっていただきたいというふうには思い
1:37:17	少なくとも資料で、それぞれが分断していてこっちとこっちで整合していないみたいなことはやめていただきたいと思いますので、
1:37:25	そんなものが作るとですね一つ一つしてきてまた検討のタスクが立ち上がったっていうので、そちら望む方向じゃないはずなので、
1:37:34	よろしくお願いします。
1:37:38	今の話は、大体そういう形でもう1個さっきちょっと話がちょっと別なんだけど、もう1個先、気になったのがちょっと、
1:37:48	忘れないうちに言うと、長谷さんが説明したときに、す。まず、
1:37:56	のは、
1:37:57	各地震の、要は性質とか震源
1:38:02	でって言った方がいいのかな、新到来方向とか、そういう話によって、大きく、
1:38:08	かくあるところで大きくなったりちっちゃくなったり、何かいろんなのがあるんですよそれを考察しますと、それはそれで大事。
1:38:17	んなのかどうかなんだけど、
1:38:20	ものすごく泰平ん。
1:38:22	なるよね。今やりたいことは、地盤モデルを作ることなんだよねそれは、
1:38:28	だからそういう考察をして何かしらやるっていうことは、
1:38:33	最終的には、
1:38:36	各地震でカスタマイズするんですか。
1:38:43	というふうになるんだよね。カスタマイズは多分しないんだよね。うん。そうすると、
1:38:49	モデルだから。うん。最終的に設計に使うモデルということになるわけだから、
1:38:56	もともとでかい基準地震等っていうのは到来方向とかそういうのもわかって、震源が特定できて、特定できてねえやつがいるからさ、またちょっとあれなんだけど、
1:39:08	基本的にはそういう、だからそういうカスタマイズするわけでは決してないとする、
1:39:14	そういうところの考察だこれもだから、9月の審査会合いるんだよね。

1:39:22	それでそそういうのをもってどういう意味で言ったんだろう。
1:39:27	そういうものの優先順位をどうするんで、何をどこまでやるんだっていうのはきっちり吟味しないと。
1:39:34	意味ある。
1:39:36	ことに。これもだからね、ここまできるとね、我々、グレーデッドアプローチじゃないけどね。
1:39:42	どこに資源をぶっ込むか問題。
1:39:46	あるよね。
1:39:49	でもいいから資源ぶっ込んでね、もう期間は、
1:39:54	ね。うん。変えないからです。
1:39:57	根井期間は金で買えないからさ、まあしょうがないよねかけるしかないよね。
1:40:03	なんかああいう話が突如として出てくるっていうさ。
1:40:10	どういうつもりだった。
1:40:11	いいですか。うん。はい。日本原燃のオガセです。申し上げたときに、一応これを使ってどういう話到最后持っていけるかなという話も考えて、
1:40:21	ましたので、すいませんどう最終的にどうなるかともかくとして、今まで規制庁さんからもご指摘いただいている通り、各手法の特徴とか物理的な意味とか、長所短所みたいなところの話があると思うんです。
1:40:36	ねえ。徴収たんすよな。何とか、各種手法ごとに、例えばこのやり方だとこの周期で見れないよとか、方向性がキャンセルできるやり方です止めないやり方ですとか、いろいろあると。
1:40:48	思うんです。
1:40:49	もうありますよね。そうなったときに、今って先ほど申し上げたようなやり方のところで、地震観測記録を使ったフィッティングのやり方というのは大体 12 地震、19 地震それぐらいの 20 地震程度で、
1:41:03	実施しているところですので、ちょっとこれからの分析になりますけれどももしかしたら方向性の偏りみたいなところがあるかもしれないと。ただ一方で今の今回ちょっといろいろ足らずですけども出している地震は干渉法というのは、データの母数非常に、
1:41:16	多くとっておりまして、いわゆるそれをスタートしてやっていますので、方向性もかなりキャンセルした数字になるわけなんですよ、物理的にだからそれと比較することによって、何かこう、いわゆる高校生の

1:41:27	ないデフォルトなものに対して、それぞれの地震で出た値がこういう傾向を持っているっていうところの分析ができるのかと思っております、最終的には我々のさっき長谷川さんもおっしゃって、
1:41:38	市民の位置とか特定しないような地震なんかも考慮しておりますので、設計に用いる上ではそういうふうな方向性の特徴を持たないような、管
1:41:47	ど評価結果のところは責任の中では近いのではないかとかそういうような話ができるかと思っております、ちょっと、はい。だからそういうところはまだ結果がないんですけれども、そういう規制庁セガワですけど、
1:41:59	それを含めて我々が、要するに、審査会合で、そのあたりも含めて議論する。そうするとその来週間前に見せてもらいます。
1:42:11	やるってもう決まってないことですけど、やるとまだない。決まってないことをちょっと思いつきでしゃべってるんでちょっと内部で持っていたので。はい。規制庁の長谷川ですけど、だからこそ、
1:42:24	しっかりした計画が立てられてないんだよ。
1:42:29	だからそこをね、結局常に言っているんだよね。で、やるべきことをしっかり1個1個さ、かみ砕いてこれでそうするとそれにかかる期間とか、
1:42:38	ねいろんな根資源かけ方、やり方方法っていうので、こう積み上がっていくんだよね。
1:42:46	それがなくて、結局、結果ね、5%という目とか、あとモデル全体の結果ありき日にね、期間ありきで、
1:42:56	そういうことやってるからいつまでたっても、これ終わらない。
1:43:03	でも全然変わってないんだよ。
1:43:06	よく考えもせずね、こういう場で無理だっていう、というところだよ。
1:43:15	2なんてだからさ。
1:43:17	なんていうの。
1:43:20	一枚岩になってさ。
1:43:22	何かやってこうっていうふうになってないんじゃないのっていう。
1:43:29	すいませんちょっと結束力が1.2倍ぐらいにはなるんだよね。
1:43:34	今日いただいたコメントちゃんと、何をすべきか、ちゃんとやってそれで書けば、9月の学間に合う間に合うそろそろ見えてくるみたいな、思います。ちょっと今ここで、ここで明言するのはちょっとやめてですね、ちょっと持ち帰ってもらってたんですけど、もう無理だよ。
1:43:52	今日話を聞く限り、かなりね、コサク、私も31日出てくる資料で、一通り出してくる雰囲気を行っていたので、
1:44:02	であればと思っていたぐらい。

1:44:05	それがタイムリミットだと思ったので、
1:44:07	そのときに全然違うレベルのものが出されている関係から私も管理課と同じような意識を持って、いやいやって言うんだったら、そうすると、
1:44:17	資料を更新したもので出してもらわないと。
1:44:20	全然こちらは確認する時間がないということだと思いますし、
1:44:26	議論をしてもいいけど、そのぐらゐの資料では、善し悪しを無李を、
1:44:32	で終わることだと思うけどね。
1:44:36	いや、言って我々はさ、今9月の予定だとある種の一定の判断を、
1:44:41	するような議論をしたいわけでしょ。なるほど。それに足るようなねデータ、用語、そういうものをちゃんと示してもらわないといけないと。
1:44:51	その指名するのを、その場でパッと見てもあれだから、事前に確認するのがヒアリングの場になっていて、それが事前に、要するに議論するための、
1:45:04	必要な下支えとなるデータが見れないのに、データないんですけどこれでいいですかって言われてもね。
1:45:14	駄目だよってなっちゃうよね。
1:45:19	はい。そんな状態なんじゃないかなまだ。
1:45:22	これとこれは出せるんだっけ、それで勘弁してもらえますかって言ってるわけ。
1:45:27	いえ、勘弁できないから大丈夫。そんなございませんのでちょっと。
1:45:35	規制庁さんの要求と、我々やってるところの会議っていうのもちゃんと掴めてないというご指摘だと、そこ多分ね、そこが科学的とか技術的見地から、
1:45:46	必要なデータってどれだけっていうのが、そこんところは我々が過剰なことを言ってるのであれば、それ言ってもらっていいんだよ。
1:45:59	言ってもらって、いや、多分ね、どうも話を聞いている限り、たとかって、示してもらいたい。データの量は、皆さんが考えてるより我々の方が多そうだから、
1:46:11	過剰だったら言ってください。
1:46:14	課長だったら言いますけども、まずそのの、どんだけ返してるのかもがちゃんと掴めていないというところを指摘あったので、ありましたので、そっから始めて、
1:46:24	ちょっとこの場では通過させ、9月のことはまだ言いませんけれども、ちゃんと計画を立てて持っていきたいと思います。
1:46:32	で今日、

1:46:34	過剰なことは言っていないということでもいい。はい。今私、きっかけはないので、もしあれば、また、
1:46:41	きっちりそれをお話しますと、聞いた方が、
1:46:44	林さん。
1:46:47	いろいろ、
1:46:48	何か過剰だって思ってる。いえ、地震等の分析が大変なものですから、
1:46:55	大変で何となくこうやるね、物量がこう思い浮かんでいるので、ええと、 こういう話をしてる。
1:47:03	ただやっぱり、ある程度のものを示してもらわないと、
1:47:07	何かへんてこりんなの、見せられてもねと。
1:47:15	なかなか難しいですね。
1:47:19	まだまだだから甘いんだよ。
1:47:23	監督が。はい。
1:47:28	ね。
1:47:31	なんか回は外れてないんじゃないかと思うんで、原燃の中で、
1:47:39	結構、やはり、さっきの帰りを認識してないので、それで大丈夫だと思っ てやってるんだけど、
1:47:50	資料の時と変わるんですけども、そこで別に会話が外れないわけで、大 賀公文アノ丸井もしゃべりますしゃべったんだけど、
1:47:57	この返りを掴めてないので、
1:48:00	やらないといやできないそういう意味で、1時間2時間の会話があった としても、何かもうね、本当にいえるものがえられてないんじゃないかと 我々だって十分とか15分とか、
1:48:12	ちょろっとやって、そこはれてね、みんなが、
1:48:17	一致した。
1:48:18	意見になるし、もし一致しなかったら、もっと議論するもの。
1:48:26	みんな一致してるの。
1:48:29	乖離したまま行ってきてるんで、
1:48:32	だからそこが問題だと思います。そこをちゃんと、
1:48:36	後でやっぱり全体としてはその、
1:48:38	仕事のやり方、プロセ数とか、そこをもっと改善していかないと、この話 だけではないんだよ。うん。そこはコサクが一番よくわかってるんだけ ど、
1:48:52	と同じなんてない。

1:48:56	せっかくいろんな人がやってる方、
1:48:59	携わって、
1:49:01	してるんだけど、何か、
1:49:07	これもやった方がいいんじゃないですかっていうふうに言ったら、それは何かアマヤないからやらなくていいよとかって、そんな会話が弾んでるんじゃない。
1:49:18	本当にいいですかっていや、
1:49:21	高坂ですけど、いやいやって言われますけど、
1:49:26	少なくとも他の分野では、そういうのはいっぱいありますよ。
1:49:30	それは必ず必要なことだったりする。
1:49:33	また、次のヒアリング、
1:49:36	何でやってこなかったんですか。
1:49:39	いうのがもう、現状はびこってますから。はい。
1:49:43	いい加減Steering握ってください。有井塾つなげてくださいって言うのはそういうことなので。はい。
1:49:51	原燃のプロパーにこれまでやった人は必要ないと思ってることが必要であると。
1:49:58	いうことを言うのが、フェアリングチーム所であり、或いは電力整理したことである。
1:50:04	ということなので、
1:50:06	原燃の言うことはまず間違ってるっていう、前もこれがよく言ってましたけど、
1:50:12	そういうスタンスでいっていただかないとヒアリングは続かない。
1:50:15	です。はい。
1:50:17	で、それ、
1:50:20	結局はその必要なことって何っていうのはこれまで、実用炉の方とかで新基準適合でサザンの実績を積んできたので、こういう案件についてはここまでのデータが必要だと。
1:50:31	いうことはわかっているはずであって、我々もそう、それを認識しているからこそ、ここまでは必要だということで話をしている、それ以上のことをあんまり求めてるつもりはないんで、
1:50:45	他に必要なものが原燃では必要ないってのは全くもって間違い。うん。
1:50:50	なので、しっかりと
1:50:53	ほかの例とかも確認をしてですね。

1:50:55	ええ。
1:50:57	だからこそ、着手の前にね、ちゃんと地権者にどこまで必要なのか何が必要だとかその種資料の趣旨は何なのか。
1:51:05	いうことをしっかりと勉強してくださいというところ。
1:51:09	はい。
1:51:15	あと、
1:51:16	岸田さん、角田。
1:51:18	すいません。大体終わった後、ちょっと、もうちょっと申し訳ないですけど、今日の資料の 8 ページについては、
1:51:26	社長の間で、中盤ぐらい、今後通りに料理していくってというような話。
1:51:32	思います。何が何でも指摘っていうのはもちろん
1:51:35	ないと。
1:51:38	今回の絞って、川内玄海、
1:51:42	あまりベースにしてて、
1:51:44	8 ページの図の整理して、
1:51:46	玄海なんかは、
1:51:48	それ縦軸浅香様になるんですかね、委員会のQ値
1:51:53	で、周波数依存性をいろいろいろいろな角度から見ても、
1:51:58	25Hzぐらいまで広げて、上限値これぐらいだからっていうのもあるという判断。
1:52:04	目安にして、
1:52:05	思います。8とか9
1:52:06	んで、
1:52:08	モデル化はさらにそれをやる中で、
1:52:10	というようなところも、
1:52:13	必ずしもその方法ではないのかもしれないんだけど、先ほどまでの話を聞いて、信頼区間とか、
1:52:20	いう話で、何か絞り込みをかけるような考えも最初から
1:52:26	エンドウ原価ベースです。
1:52:28	ちゃう。
1:52:29	明確に説明してくれないと。
1:52:31	それに説明された。
1:52:35	ありがとうございます。多分この辺りの説明は 8 月 23 日、ヒアリング、

1:52:39	おそらくあるんでしょうけども、そういったことも踏まえた説明ができる文書とか、
1:52:48	使われますか。
1:52:50	ちょっと言いつ放しだといつも不安になっちゃうんですけど。はい。ただ九州電力の赤津でございます。まず当社九州電力の方は先ほど岸野さんおっしゃった通り、各種をやった結果を、もう横並びにして、
1:53:05	でもこの所まで含めて、もう一律で、要は保守性という言い方、九州電力してましたけどそれで設定をするという考え方をとっております。
1:53:16	ただそういう考え方もあれば、さっきちょっと絞り込みを前提にしてるって言いましたけども、シミュレーションに対してフィッティングを考えると当社の結果当社とか九州電力の結果もそうでしたけども、
1:53:29	一律でやってるからこそ、短周期になればなるほど、シミュレーション合わなく、
1:53:34	なると、いうところもありましたのでまずは先ほど管理官からもありましたけどもシミュレーションのフィッティングをまず見てみて、そのフィッティングからコアの設計をにらみながら、
1:53:44	大事なショウガンスギタはどうするやっぱここはちょっと一定程度の保守性が必要だよねっていう考えを積み上げながら結果として設計に用いるやり方を、コースそれが結局絞り込む。
1:53:55	いうことになるかもしれませんが、もう一律こうだと、補正を持たせるということになるかもしれませんが、そこはすみません先ほどちょっと答えありきのようなご説明になってたかもしれませんが、
1:54:06	それフィッティングシミズのフィッティングを見ながら、段階を追って整理をしていって、設計に用いる考え方はこうだという整理をしてご説明することになると思います。で、
1:54:19	九州電力のパターンの場合はもう、とにかく保守性を持って、もう全部の上面をやめるんだという設定をしてますけども、必ずしもそれがもう前提かというところではないと思いますので、
1:54:31	もっと言うと、九州電力の場合は、そうしたがために、短周期がかなり保守的に、
1:54:37	んなりスギタとなり過ぎたというのが、言い方はどうかと思いますけども、そういう反省もありますので、
1:54:44	ちょっとそこは実際のシミュレーションの結果とフィッティング状況なんかを見ながら、整理をしていきたいと思います。で、先ほどのその絞り込みというその答えありきのようなやり方はしませんので、

1:54:57	そこはちょっとちゃんとご説明をさせていただきます。以上です。はい、堤です。
1:55:03	はい。よくわかりました。
1:55:05	あとは川内玄海はおそらく、
1:55:09	うん。ちょっと言い方間違ってる。
1:55:12	ちょっと目的が、
1:55:13	無かもしれない。
1:55:14	今回も目指して、
1:55:15	川内玄海の審査で説明をしようとしたものっていうのは、少しゴールというか目的は、
1:55:25	そういう、
1:55:29	九州電力の明石でございます。緊急性目指してるもの違うという言い方はちょっと間違ってるかもしれないですね。目指してる方も同じなんで、
1:55:39	もう
1:55:42	アプローチが違ってて、
1:55:45	Tも、
1:55:47	ハザードの観点で設定したからより広い周波数対応、
1:55:52	カバーできるようにしたんだとか、これは正則でも載ってますけれども、
1:55:57	一方でこちら設工認で施設ごと、グループごとのポイントでというような、
1:56:01	ことをにらみつつというようなことも、
1:56:03	っていうことなのかなと、また想像の域なので正しくないかもしれないんですがそういう、
1:56:08	目指すIIボール同じでもこの攻め方が違うよっていうことであればですね、そこら辺この原燃としては、
1:56:17	届けば、
1:56:19	それはもう試験を起こすことじゃないかもしれないんですけども、そういった現在の考え方の違いっていうのがあって、多分、基本はベースにしながらも、
1:56:28	ちょっと考え方が違うという辺りの説明
1:56:33	もしれない
1:56:36	あんまりやってないのかもしれないんですけどちょっとそういった説明もできる。
1:56:41	意識して、

1:56:44	那須はいすいませんちょっと私自身、言いながらあんまりやってるんで、
1:56:49	はい。はい。
1:56:52	九州電力の明石でございます岸野さんの意図は私も理解したつもりなんですけど、結局九州電力空の方でやったやり方が、どちらかという。
1:57:04	どちらかというのみ複数の手法で減衰を求めて、もうそれをやっと全
1:57:14	包絡するような、もうある意味超保守的だろうという減衰の数字を、
1:57:24	でも、本来的に科学技術的な議論をするとするとむしろ、設定したQ値、減衰その設定のやり方が、現実、いわゆる観測記録、事実
1:57:39	ていうのをまずシミュレーションで確認をしていって、その上で、設計に
1:57:46	やり方やり設定としてはこうしようという順番。
1:57:50	だと思ってます。それをちょっとひっくり返してもう、どちらかという
1:58:04	電のやり方が保守的だからいいでしょうね展開してしまっ
1:58:12	たところがあるので、そこはちょっと順を追ってちゃんと整理をして、
1:58:20	下の方でご説明できるようにしたいと思ってます。
1:58:24	そういう意味では、攻め方が違うといえば違うかなとは思いますが、
1:58:26	はい。同じだけど、そこら辺が違って、
1:58:32	そこら辺の考え方っていうのを、やはり計画としてですね、
1:58:35	こういう攻め方をしていって最終的にここにたどり着くんだっていう流れを、
1:58:46	明確にしてさ。
1:58:52	はい。はい。そういう説明。
1:59:02	はい、承知いたしました。
1:59:03	はい。規制庁花木です。私の方から、
1:59:04	08の資料に関しては、来週月曜日、いろいろ確認させていただきます
1:59:05	が、これを先が、会合という形になるんですけども、
1:59:06	今、実際、タナハシの資料って6月時点の資料ですよ。
1:59:07	これは公開されてるわけですね。詳しい中身の説明はないんですけど
1:59:08	も、公開されている。それと比較する限りではあまり、
1:59:09	ほとんど、
1:59:10	情報量は増えないかなと。

1:59:05	思ってます。幾つかもちろん増えてはいるんですけども、法律的なところについてはさっきの下水の話或いは日英等、そもそも減衰をどういう
1:59:16	進め方をするんだとかですね、そういったところろからやはり抜ける。
1:59:21	とにかく、5%の数字がやっぱり出てくるというふうに思ってますんで、こちら辺については月曜日、いろいろ話をしたいと思ってます。一方ですね、
1:59:33	PS検層を追加でやりますよ。うん。それと、
1:59:38	先ほど出た移動の話、岩石コアの話。うん。これを明らかにその原因としては②の、
1:59:46	上んなんですかね。ですから、介護当然、新しい情報として、9月にその範囲内ですね。うん。
1:59:55	言った方がいい話というふうに思ってます。それはどう考えたんですけど、
2:00:01	を含めてですね、来週の月曜日の段階で、この08の資料を中心に、今後どういう戦略で、はい。会合なり減衰を持っているのかというところ。
2:00:13	ちょっと、
2:00:15	事前に考えてもらえればと思ってますので。はい。はい。ありがとうございます。はい。
2:00:20	規制庁コサクです。今の点で言うとはですね。
2:00:23	今日、
2:00:24	提出を自身は、干渉法について出していたのと同じように、
2:00:31	08で書ききれてないんだと思うことがあって、
2:00:36	と思うので、その部分を口頭でと言って7日対応するのではなくて、
2:00:42	7日までに何らかのメモでもいいので出していただいて、話をするというスタンスに立っていただきたいなと思います。
2:00:52	08の改定でもいいですし、
2:00:55	何らか別ペーパーを出して、
2:00:57	今後反映していきますっていいので、
2:01:00	何らか姿勢変わった姿勢を見せてください。はい。
2:01:07	承知いたしました。日本原燃野本でございます。えっとですね、今、8月9日なり、21日に追加でお出しすると言っている資料がございます。
2:01:19	これが今お出ししてる中からは、受けてる状態、情報が抜けてる状態にございます。

2:01:26	なのでここに対してですねちょっと方向性をですね、ある程度わかるようなところをお示しするようなちょっと工夫を考えたいと思います。
2:01:40	同時にですねこれは別にリクエストいただいておりました。7日パワーポベースでの資料の更新っていうのも、表にすることになっています。
2:01:52	ですねパートのところにもですねさっきおっしゃっていただいたような今後の検討の予定とかそういうふうなところが入っていくべきだとは思っていますので、ある意味ちょっとその骨子をちょっとパワポの方でさっきお示して後からちょっとバルティックっていうやり方もあるかなと思いつつ、今、
2:02:09	ちょっとお聞きしております。ちょっと工夫して、お示しするようなことを考えたいと思います。
2:02:17	はい。来ちゃうわけです前回のこのヒアリングで、9月とする、10月以降どうするというMillstone。
2:02:24	打ち合わせができたはい。
2:02:26	で、31日の資料が出た段階で、
2:02:29	それは当然理解する必要があると、要は9月やるのかやらないのか、10月11月、どうするんだというふうな展開をですね、戦略を示してもらうのが必要だと。
2:02:41	よろしくお願ひします。承知いたしました。日本原燃の五藤でございます。承知いたしました。
2:02:53	規制庁不足です。今言われた対
2:02:58	工程。
2:03:00	ぱっ報のようなものを出されるというのは、
2:03:05	三つの予定なんでしょう。
2:03:08	日本原燃の方でございます。パワポの骨子案っていうのは、この金湯浅って右になりますけれども、アノという、今お約束になってございます。
2:03:21	規制庁不足です後、堀越。
2:03:27	進め方
2:03:31	で、
2:03:39	1031日付けのスケジュールに朝
2:03:44	資料、引っ越し、
2:03:48	31日付のエクセル。
2:03:51	ああ、なるほど。なるほど。28時で話をした上で、直せるということです。はい。

2:04:01	とあと 21 日で出そうとしていたものの骨格が入ると思うのでみたいなことだったんですけど、はい。
2:04:10	21 は多分、追加の情報が入るっていうことであって、
2:04:16	やはりその計画なり方針っていうところは、
2:04:20	今回の 08 でも薄いように、それだけではやっぱり薄いんだと思うんですよ。
2:04:26	なので、その点ちゃんと原点に立ち返って見直すってことはやってもらわないと、相変わらず足りないよって言われるんじゃないかなと思いますので、
2:04:36	その点は気をつけてください。
2:04:43	ちゃうのですそういう観点で次のスケジュールですね 31 日付けのスケジュールで、1 月 9 日提出書類は 08 リバイスで、
2:04:53	別紙 3 のリバイス版って書いてある。
2:04:56	はい。これはツジさんだけです。そちらはですね別紙 3 のうち追加ボーリング調査計画について 7 月 27 日にヒアリングしていただきましたけれども、
2:05:06	その際のヒアリングでいただいたコメントの反映版ということで、遠田別紙 3 のうちのですね微動影響についての検討計画というのはこっちは 21 日版っていう形になってます。
2:05:19	はい。規制庁浜崎です。そうすると今の話と、今日の話と、7 日の話の反映版は 21 日、
2:05:30	いいと、すいません。
2:05:35	今日のとか資本に関する
2:05:38	る検討部門はもともと 21 日にお出しするつものものだったらこれ 29 日の予定になっているんですねはい。はい。
2:05:49	支店長です。いや、08 の寺地ベースですと。はい。この度、はい。
2:05:56	別紙 3 にバスバー相当のもので、はい。
2:05:59	それ以降は 08 の見直していうのはない。今のところは出てないんで、そうするともう、
2:06:07	会合資料の中で、今日の話だとか何とかの話は反映していくという
2:06:12	して進めたかな。
2:06:14	かみ合ってなかったら申し訳ないですけども別紙 08 の 2-3 の地震発火情報による検討もこれのリバイス番号 21 日オザキする予定ですし、そちらから事務的に調整で出して、
2:06:30	もらってる資料が、はい。

2:06:32	進め方資料ともずれちゃったり何なりで合っていないんですよ。だから、これは前からずっと言ってますけど、耐震関係が、情報の反映がいつも売れる。はい。はい。
2:06:44	ので、ちゃんと提示するときに、Steeringチームで確認を漏れなくしてください。はい。じゃないとコミュニケーション取れないんです。それとすいません 08 の改定ですけども、ちょっと今、
2:06:58	ちょっと把会合のパワーポイントでわかるようにという、この会合の場はこういったことしか書かないで出るはずがどう変わるかまでは、多分表せないんで、それはちょっと別ペーパーで出したいと思います。ただ、
2:07:10	これから金曜日出すので、それでこの 2 日でできる作業になりますのでこの方向を記載とか、そういう内容を少し別ペーパーで出していると。それで、08 のヒアリングが、
2:07:24	それ、7 日ですかね、7 日にありまして、当然、中根も田嶋猪股ご指摘を受けるので、それを受けてのリバイスは必要だと思ってます。で、どこまでリバイスが必要かという点につきましてはその会合ですけどねどこまで、
2:07:40	我々が話しするか、お話できるかに、非常に関わって参りますけども、08 の改訂中の、適宜、適宜というか、そのタイミングタイミングでやっていきたいと思ってますのでちょっとそれがまだ資料にも反映できてませんし、進め方のところも考えてませんので、
2:07:54	ちょっと今からまた戻って、そのタイミングなんかも考えてみたいと思うんですから、
2:07:59	今日も受けた内容、それから別ペーパーで出すという、
2:08:04	ご指導もありまして、それを受けてるか、改善するんですけどまずは 7 日のヒアリングを受けて、また山田も来ますのでそれをいつ直すのか、それはノートもこないだ言ったと思うんですけど、ボリュームによるって言ったけどこれ大分ボリュームあると。
2:08:17	もう認識に立ちましたので、
2:08:21	それと、会合の時も、やっぱり 8 月なきゃいけないので、その関係をちょっと見ながら、必要な時には、08 オクの会というのを出しています。
2:08:32	で、最終的にはどんな会合になろうが、その時点の 0 いるんだという認識はありますので、そのように、そこを外さないようにします。はい。
2:08:42	はい。補足です。
2:08:45	その通りなので、しっかり対応いただきたくて、ほかの点も言ってますけど、21 ニチイの資料提出と言われているのは、

2:08:57	4日の会合でのタイムリミットだと思う。
2:08:59	ないですね。
2:09:01	7-D
2:09:05	なんですかね。
2:09:07	データとなりがいくつか間に合わなくても、少なくとも最初に私申し上げた、その方針なり、方法なりと、
2:09:17	或いは相互の関係性をどう考えてるかだったりと、
2:09:21	ということについてはしっかりと書き込んで、追加、今後拡充しますというところはそういうもので書いてと。
2:09:29	ということで、
2:09:31	対応するぐらいは、7日から2種、2週間あるわけで、しっかりやっていただいて提示をいただくと。で、できてる範囲において、
2:09:41	じゃあ会合はこの程度の話になるねっていうことを議論させていただくということなんじゃないかなと。はい。
2:09:52	小柳です。了解いたしました。
2:10:02	竹田さんどうぞ。
2:10:05	はい。規制庁竹田です。その他規制庁側から確認等はございますでしょうか。
2:10:12	よろしいでしょうか。
2:10:14	それでは振り返りに入りたいと思いますが、
2:10:19	振り返りに必要な時間はいつも通り10分程度でよろしいでしょうか。
2:10:29	すいませんちょっとですね、15分いただきたいと思います。
2:10:35	はい。はい、わかりました。はい。
2:10:37	それでは、
2:10:39	規制庁タケダです。今17時46分ですのでそれと18時に、状況を伺いまして、必要でしたら、の場所なりをちょっと考えたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。
2:10:54	はい。規制庁掛川です。それでは18時ちょうどに一度再開したいと思います。録音の停止をお願いします。
0:00:00	返しました。
0:00:02	規制庁のタケダですそれでは振り返りに入りたいと思います。日本原燃の方から本日のヒアリングでの振り返りをお願いします。
0:00:11	人間の方でございます本日の振り返りでございます。1番目、冒頭にいただきました結果だけでデータオダシースして説明といったようなところで、

0:00:21	今日ちょっと大変失礼いたしましたアノでそこに至る更新が大事であるということで、そういうのは口頭で説明すれば良いという考え方改めて、資料に記載的な説明を行うと。
0:00:32	ということでヒアリングに対する姿勢を見直すということでいただいております。項目について参りたいと思います。
0:00:38	2番目、検討するにあたっては、技術的な見地から検討着手前から方針を計画として定めて、説明が必要内容が整理されてることを確認してから資料提出を行うことと。
0:00:52	ということでこちらも議題でございます。3番目減衰定数の設定については、複数の手法による値を踏まえて設定する必要があると。
0:01:02	その結果をどのように解釈するかということで信頼性のある区間白根区間等の整理も含めまして、最終的に減衰定数の設定をどうしていくのかという見解を示すこと。
0:01:14	ということでございます。4番目起振破壊情報の評価におきまして、表層におけるノイズの影響等を部長計測によってデータ拡充して、ノイズ除去していくということであれば尾藤計測の位置付けについて別紙3というふうに今いきますけど、別紙3のみで述べるのではなくて、
0:01:31	別紙2-3の方からちゃんと紐づけて位置付けを明確に述べる必要があるということをお願いいたします。5番目、評価に用いる地震アノアノ数に対する、検討に関する記載の不足、数の不足ですね。
0:01:47	につきまして、ご支援いただいております。7日の建物も私どもの08の批判でも、指摘するというふうには言っております。これその時のご指摘も踏まえて交代をしていくと、ということで対応するというところでいただいております。
0:02:04	6番目各種手法による、しんどそう区間ごとの特徴を踏まえて、総合的に比木における科学的に適切な値を把握するというのが、まず必要であるということで、設計に用いる上での決議を設定の考え方、としては、そういうことを踏まえて、とせ
0:02:23	で整理を行うこととをお願いいたします。7番目、各種手法における信頼区間の考え方、
0:02:31	東亜先行プラントとアプローチが異なる場合はその違いについて説明を行うことということで、これ9電とアプローチが違う場合はということでいただいたところでございます。

0:02:42	で、8 番目、8 月 9 日提出予定及び 8 月 21 日提出というところまで申し上げて聞いたような、耐震タカノ 08 の視察資料たちがございますけども、それにつきまして、
0:02:57	その資料の目的内容というのを明確にすることということでこれ 8 月 4 日にちゃんと名簿として提出して、8 月 7 日にその内容方向性というのが機能するような形で、引き当て、確認いただけるようにということで、をいたしております。
0:03:13	また次回の審査会合に向けて定義する時については 8 月 21 日提出までの資料を受けての判断となるということをちゃんと認識し、することということをいたしておりますんでここで備忘として記載させていただいております。以上でございます。
0:03:33	規制庁のタケダですありがとうございます。今の説明につきましてコメントあればお願いします。
0:03:46	規制庁浜崎です。例えば一番なんかは、そこに至る方針、本当にもう方針っていうのは、言ってるんですけど、
0:03:55	方針、考え方、考え方、方法ですね、方針だけじゃないということで、はい。考え方方つきましよう。
0:04:03	それとすいません。宮路から申し 8 ページ。
0:04:08	8 番 8 番。
0:04:10	8 番のところはまず 31 日に出した。
0:04:16	資料で、今日のヒアリングを受けて原燃が足らんと思ってるもんを、
0:04:21	今週の金曜日にメモでええから出してくれと。うん。だから、31 日にすでもう出してるやつで、今日のヒアリングのその一番のコメントなんかを受けて、
0:04:31	ちょっとこれ書いたほうがええねっていうのを全部かけんでも、こういうことを追記しますとかこんなことが必要ですとかいうののメモを、
0:04:39	今週金曜日に出す出して、月曜日のヒアリングはその 31 ダブっというのと、その今後書くっていうのでセットでヒアリングできるようにしなさいとこれが入ってると思うんでそれが抜けてるんですけど、古作です。おっしゃる通りで、
0:04:56	最初この 9 日提出予定 21 提出予定として、邪魔で、
0:05:04	それだと間違ふよっていうコメントをしたんですね。はい。そうですね。そうですね。だからもう、つまり 7 月 27 月 31 日に出した資料で、本日のヒアリングを踏まえて、追加修正が必要な、
0:05:16	リストやね、リストしか無理だと。

0:05:20	リストを今週金曜日に出して、7日に一緒にヒアリングすること。
0:05:26	に、もう一つは、0 秋野書いては、08 の会計は適宜行い、審査会合には最新版がちゃんと載るように、必要な開示で手会計を行うこと。
0:05:39	これちょっと、面の数として今言えないんで、そういうことでその二つを8番に書いて、
0:05:44	質問に対して説明能勢のについての李清整理整理内容について整理し、8月4日、
0:05:53	4日から4日整理し、
0:05:57	管理職層や不足も欲しいね8月4日、付則で整理し、講習提出。
0:06:07	で、7日に一緒にヒアリングする。7日のヒアリング提出の小松PT、7日のヒアリングにしようと思うんですけども、使用することは、
0:06:19	でも9番で、0808-08は、耐震建物は、08は、審査会合、
0:06:30	審査会合に必要な資料であるため、コサクさんから言われたのが8月21日。
0:06:37	21日が最終バージョンとなるよう、適宜改訂を行うこと、やり方してない。
0:06:45	提出が最終バージョンとなるよう、適宜改訂を行う。
0:06:57	が最終バージョンとしては、ちょっと
0:07:00	うん。
0:07:03	8に提出が8月に提出が最終バンドとなるよう、適宜改訂を行うこと。
0:07:11	提出が最終版になるよう、適宜改訂を行うこととスズキがちょっとまだ言われへん。すいませんね。
0:07:20	行うことと、
0:07:22	そんなことで、
0:07:28	ゲスト、
0:07:30	これ向こうを取っちゃうから。
0:07:36	はいすいません、井口でございます。はい。
0:07:39	ちょっと趣旨がよくわかんないんですけど、いろいろその上で、
0:07:44	経費も中量においても、
0:07:46	言っても考え方として、何のせよ、
0:07:49	もし背景ねオガセそのイメージは先ほどの実際に科学的にとらえると周波数成分を取りになったなとかみたいなものがあるかもしれないけど最後設計でやる時はカスタムしないで準備話があったと思いますその話を書いたつもりでございました。

0:08:04	多分、
0:08:07	としてっていうからおかしいですよ。
0:08:11	奥参事の考え方、6 番目 6 番です。
0:08:17	前段の必要であるっていうのは、事実関係を明確にするっていう活動で、その上では、設計のモデルとしてっていうことだから、考え方を
0:08:38	何をもって言ったらオンダ誰かという考え方を整理すること。うん。やるわけよ。
0:08:48	10 回ぐらい。
0:08:50	はい。オカ考え方等じゃなくて考え方を、
0:08:55	何分ぐらいか、整理すること。
0:08:58	違う。
0:09:09	ちょっと冗長なんですけど、記載の不足等を説明すること。
0:09:14	そうです。はい。それと、もうこれ、他、他電力のやつあったけど他電力の違いを説明するんじゃなくて、原燃の考え方を明確にすることにも、
0:09:26	九州とこう違いますということです。どう説明するんじゃなくて、原燃の考え方はちゃんと愛大井せなきやいけないと、コサクですそれで言うんですね。
0:09:36	異なる場合だけ説明すればいいのではなくて、全部説明するんですよ。その上で、特に違いがある場所は、丁寧に説明してくれっていうことです。
0:09:48	ハヤシナカノ考え方等について、下のすごく市内保管等について減免の考え方を示した、どうも埋める大きいな。
0:09:57	その説明が、説明について等の関係はですね、考え方等点のところを頭にいつてんじゃない、考え方等についてミツイ原燃の間、原燃としての考えを明確にすること。
0:10:17	違う。
0:10:20	ツツミだけであった。
0:10:27	その際、その際ですね。
0:10:31	ね、これ、このですよ。この捨てましたっけ先行プラント、こちらについては、宇都椎名っていうのができ上がってるんです丁寧に説明と違う違う違うじゃない。
0:10:43	違う場合は丁寧に説明すること、異なる場合は点でその違いを消して、
0:10:56	では丁寧に説明を行った。
0:11:00	岩手、はい。
0:11:13	4 番、もうそれ、具体はこれですけど、

0:11:19	違う、その他の項目も含めて、ちゃんと相互の関係性をよく吟味して、トータルとして、1項目に限らず、評価して説明することっていう、
0:11:33	ことなので、
0:11:40	これも別紙3 やめても別紙2 とか、表層に入れるらしいですね、の方が私はわかりやすいと思いますけどね別紙3 は表、別紙3 は2-2、2番は加来委員、加来伊井氏に分けてそれぞれ見たりすると、
0:11:58	1-1に関する説明の中できたりすることが問題です。
0:12:04	ベッショで述べるのではなく、
0:12:06	野間社長。
0:12:09	改めて確認、改めて間で
0:12:11	述べるのではなく各因子のところですね。
0:12:17	だからサンゴミナミナカ送水環境調査については、多分市の資料に取り込むこと。
0:12:27	こと。
0:12:32	そうすると、現場の移動計測系も、そこからやったらと。
0:12:40	追加調査については組織等追加調査を理解して、わかっているから、
0:12:47	ですからビジョン計測の位置付けと、追加調査については、に書いてください。
0:12:53	杉下が言いよって、微動計測の位置付け、
0:12:59	そこに持って行ってくれます。
0:13:02	ね。
0:13:06	六ヶ所ですけどちょっと聞こえづらかった。
0:13:11	ですから、自動計測。
0:13:14	のAノダ位置付けと、
0:13:18	微動計測の位置付けと、
0:13:21	追加調査に、
0:13:25	位置付けと、等ですなど、
0:13:31	など、追加調査に、
0:13:34	については、
0:13:39	別紙3ではなく、
0:13:41	情報のみでなくて、別紙30でしたね。はい。瀬下さんではなく、別紙3ではなく、はい。どっかおかしいみたい。それ全部消したかね。はあ。
0:13:52	別紙3ではなく、
0:13:57	実際、

0:13:58	冬はね。
0:14:00	はい。相馬サイトがあるよね。ちょっとおかしいけどそしたら次はからもうであればまで消した方がいいんですかね。これ私、そう。そう。そうやな。
0:14:13	はい。すいません。4番であれば実施していくのであればまず削除です。
0:14:19	頭からね。うん。
0:14:22	はい。そうですね。ちょっと。
0:14:25	はい。はい。
0:14:33	①②をもう一度見せてもらっていいですか。
0:14:44	でも①先ほどハバサキさんの言われたのが、やっぱり至る方針、考え、方針や考え、
0:14:56	間瀬梶山1ニシウチ抜けてます。
0:15:04	新考え方法が大事であることから、
0:15:11	等、
0:15:14	はい。
0:15:17	①と②の違いは、
0:15:26	①は我々の説明で、その結果だけ六つを説明するんじゃなくてちゃんとご判断いただけるようなプロセスを示し、彦根市、
0:15:36	②の方は、我々の検討の際には、その検討をちゃんと継続、ちゃんとやりなさいよというお話があったかと思うんで、ちょっとそういうことで書き分けております。
0:15:53	それであれば、より明確にするのであれば、技術的知見からっていうところに、
0:15:59	各所の経験をよく勉強しと。
0:16:04	ということですかね。
0:16:07	技術的知見からの後に、
0:16:14	取り外してというのは、やってみる。
0:16:17	うん。
0:16:29	つってくれる。
0:16:41	はい。
0:16:42	僕、
0:16:51	ちょっとどこかな。

0:16:57	いや、最後 19 番、一番最後にします。そう。そう。10 番にちょっと入れておいて、もう総論の話だけど、
0:17:07	規制庁の要求と、
0:17:13	1 シマ
0:17:15	ショウガン規制庁の要求と、原燃のやっていることの、
0:17:24	返りを見つけて、
0:17:28	訂正するのはステアリングの役割である。
0:17:32	はい。仕事しやすいね。
0:17:36	はい。それだけでいいですか。
0:17:38	役割である本でいいです。すいません。
0:17:43	はい。
0:17:44	土谷瀬谷さん。
0:17:53	皆さん大体以上かと思えますんで、
0:17:56	はい。規制庁竹田です。衛藤。その他何か振り替えについてコメントございますでしょうか。
0:18:04	よろしいでしょうか。
0:18:06	と規制庁側から全体として何かございますでしょうか。
0:18:10	大丈夫です。
0:18:11	はい。お願いします。減免は何かございますでしょうか。はい。大丈夫です。ありがとうございます。はい。議長。
0:18:18	規制庁竹田ですそれでは本日のヒアリングは以上とさせていただきます。お疲れ様でした。
0:18:24	ありがとうございました。